

# **みらいビジョン中国21 “2009”（仮称）（案）**

**～中国地方における社会資本整備方針～**

**平成21年6月11日**

**（みらいビジョン中国21策定委員会）**

# 目 次

## 序 章

- ・はじめに・・ 1
- ・策定のポイント・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- ・中国地方における今後の社会資本整備の方向性・・・・・・・・・・・・ 4

## 第1章 中国地方の現状と課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

- 第1節 中国地方の特徴・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
  - (1) 自然・地理の特徴・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
  - (2) 社会・産業の特徴・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
  - (3) 暮らし・文化の特徴・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
  - (4) 社会資本整備の特徴・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- 第2節 中国地方における近年の状況の変化・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
  - (1) 急成長中の東アジア等との貿易額の増加・・・・・・・・・・・・ 14
  - (2) 異常気象による災害被害の頻発化・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
  - (3) 中山間地域等の全国に先行した高齢化の進展・・・・・・・・・・・・ 16
  - (4) 都市と中山間地域等の生活基盤の格差の存在・・・・・・・・・・・・ 17
- 第3節 中国地方におけるこれまでの取組・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
  - (1) 競争力のある地域経済社会の再構築に係る取組・・・・・・・・ 19
  - (2) 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくりに係る取組・・・・ 20
  - (3) 美しく豊かな自然・歴史・文化を活かした地域づくりに係る取組・・・・ 22
  - (4) 周辺地域との交流・連携と国際交流拠点の機能強化に係る取組・・・・ 23
- 第4節 中国地方で今後取り組むべき課題・・・・・・・・・・・・・・・・ 25

## 第2章 中国地方の将来像・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29

- 第1節 中国地方の将来像・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29

## 第3章 中国地方における社会資本整備の重点事項・・・・・・・・・・・・ 30

- 第1節 将来像を実現するための地域整備の目標・・・・・・・・・・・・ 30
- 第2節 社会資本整備の重点目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33

<b>第4章 重点目標達成のための取組</b> .....	36
第1節 競争力のある地域経済社会の再構築 .....	36
第2節 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり .....	42
第3節 多彩な文化と自然を活かした豊かで快適な暮らし・社会の創造 .....	50
第4節 交流・連携による一体的で活力のある地域づくり .....	61
第5節 横断的な取組 .....	65
<b>第5章 主要事業・施策の効果的な進め方</b> .....	70
第1節 事業評価の厳格な実施 .....	70
第2節 公共事業コスト構造改善の推進 .....	71
第3節 公共調達改革 .....	74
第4節 事業相互間の連携の確保（事業の進捗管理含む） .....	75
第5節 地域住民等の理解と協力の確保 .....	76
第6節 民間資金・能力の活用 .....	76
<b>第6章 アウトカム指標の一覧表</b> .....	77
<b>第7章 主要事業の一覧表</b> .....	79
<b>第8章 ビジュアルマップ</b> .....	94

## 序 章

### はじめに ～みらいビジョン中国21“2009”（仮称）の策定にあたって～

平成15年4月に「社会資本整備重点計画法」が施行され、同年10月には9つの事業分野別計画（道路、交通安全施設、空港、港湾、都市公園、下水道、治水、急傾斜地、海岸）を一本化した「社会資本整備重点計画（計画期間＝H15～H19）」が閣議決定され、中国地方においては、平成16年7月に「みらいビジョン中国21“2004”」を策定しました。

この度、計画期間を H20～H24 として今後の社会資本整備の方向性をとりまとめた「社会資本整備重点計画」が、平成21年3月に閣議決定されました。一方で、国土の形成に関する方針を定めた「国土形成計画（全国計画）」が、平成20年7月に閣議決定され、中国地方においては「中国圏広域地方計画」が平成 21年〇月に策定されたところです。

新たに策定した「みらいビジョン中国21“2009”（仮称）」は、「社会資本整備重点計画」、「中国圏広域地方計画」との整合を図りながら、概ね 10 年後を見据えた社会資本の整備目標を設定し、重点的に取り組む主要施策・主要事業についてとりまとめたものです。

策定にあたっては、「みらいビジョン中国21策定委員会」において、十分な意見交換を行いながら策定作業を進めるとともに、「中国地方みらいビジョン懇談会」、パブリックコメント等で寄せられたご意見を反映して策定しました。

今後、行政、企業、NPO、地域住民の方々が、本ビジョンを各種の地域計画・事業計画策定にあたっての1つの目安として活用され、中国地方が持続的に発展・成長し、多様で豊かな生活を楽しめる地域となることを願うものです。

みらいビジョン中国21策定委員会

中国地方整備局、中国運輸局、大阪航空局、第六管区海上保安本部、第七管区海上保安本部、第八管区海上保安本部、大阪管区气象台、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、岡山市、広島市

## 策定のポイント1：見直しにあたっての3つのポイント

### 1 的確なフォローアップ

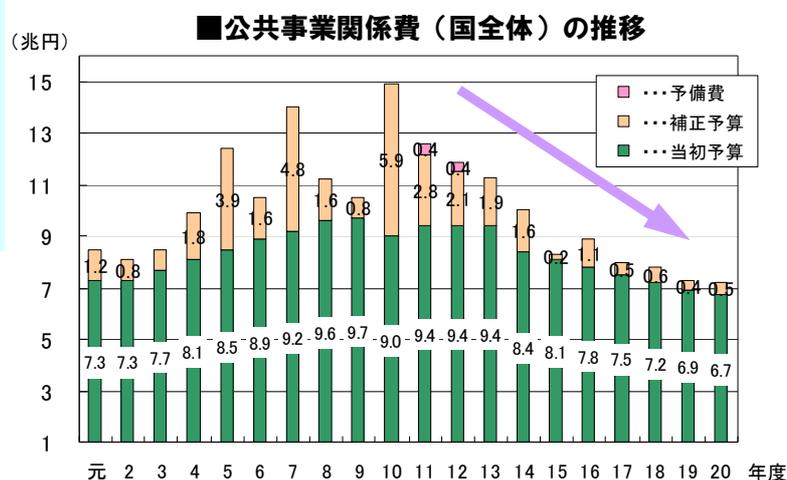
#### ▶課題を次に活かす

本ビジョンは、みらいビジョン中国21“2004”が目指した目標に対しこれまで行ってきた取組を総括し、的確なフォローアップを行った結果を踏まえ策定しました。

### 2 重点的、効果的かつ効率的な社会資本整備を吟味

#### ▶主要事業を吟味

本ビジョンは、国民生活・産業活動の基盤を形成する社会資本について、どのような視点に立ち、どのような分野に重点をおくのかといった整備の方向性を明確にし、その方向性を踏まえて、「地域整備の目標」とその実現によって国民が享受する「成果」（アウトカム指標）を示すとともに、限られた財源の中で効果的かつ効率的に社会資本整備を実施するための取組を吟味して策定しました。



### 3 地域の独自性の発揮

#### ▶新たな動向、社会情勢を反映

中国地方ではここ数年で、集中豪雨や台風などによる災害リスクの増大、中山間地域の課題の深刻化、東アジア地域の成長による社会経済情勢への影響、地域に大きなインパクトをもたらす中国横断自動車道姫路鳥取線、尾道松江線の進捗など大きな変化が生じており、これらの状況を踏まえ策定しました。

#### ▶中国圏広域地方計画との連携

中国圏広域地方計画の策定と緊密な連携の下に作業を進め、広域地方計画で示される中国地方の将来像を実現させるための社会資本整備の具体的な方針を策定しました。

#### ▶多くの方のご意見

「中国地方みらいビジョン懇談会」「パブリックコメント」等により、様々な立場の多くの方々からのご意見を踏まえて策定しました。

## 策定のポイント2：とりまとめにあたっての3つのポイント

### 1 目標体系の組立て

みらいビジョン中国21“2004”策定後に策定された中国圏広域地方計画をはじめとした関連計画等で示される新たな課題・着眼点を踏まえ、目標体系の見直しを行いました。具体的には、地域整備の目標ごとに、みらいビジョン中国21“2004”策定時点に掲げていた課題に対し、新たな課題・着眼点を加えた上で、既存目標の見直し、又は新たな目標の追加を行い、さらには地域整備の目標の体系についての組み替えを行うことで各目標が示す概念や方向性を明確にしました。

### 2 アウトカム指標

地域の将来の姿を具体的にイメージでき、生活実感に見合ったアウトカム指標とするため、数値の変化によって、生活の改善を肌で感じられるような、国民にとってわかりやすいものとししました。

### 3 ビジュアルマップ

「現状」「5年後」の社会資本整備の整備状況をわかりやすく表現したビジュアルマップを作成しました。

## その他

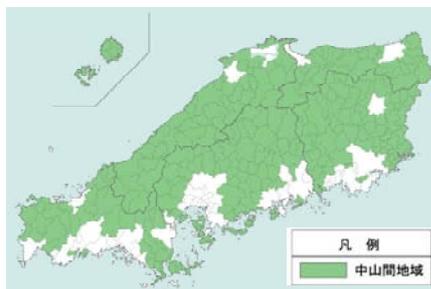
①本ビジョンで取り扱う“中山間地域等”は下記の通りとし、離島および島嶼部を含めていません。

本ビジョンで用いられる「中山間地域等」のデータは、農林水産省が統計に使用する農業地域類型の中の「平地農業地域」「中間農業地域」「山間地域」として位置づけられている地域のデータです。

農林水産省の地域類型	面積構成比		本資料の地域類型
		合計	
都市的地域	18.7%	18.7%	都市的地域
平地農業地域	3.1%	81.3%	中山間地域等
中間農業地域	35.5%		
山間地域	42.7%		

※出典：「農林業センサス2000」農林水産省

#### ▼中山間地域等の範囲



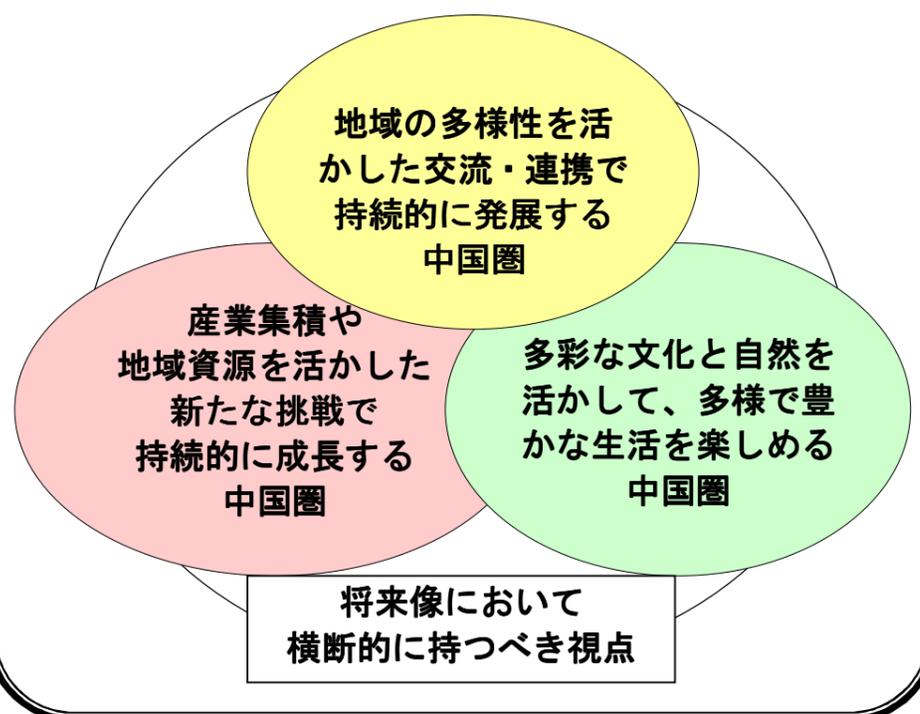
※中国地方整備局により作成

②本ビジョンで取り扱う都市の区分は、定住自立圏構想研究会資料の定住自立圏の形成イメージに記載された、生活に必要な基礎的機能、高次な都市機能が整備されている目安となる人口規模区分に合わせ、右記の通りとしています。

区分	人口
大都市	30万人以上
中小都市	5万人以上30万人未満
小都市	5万人未満

中国圏広域地方計画

【中国圏の将来像】



- 他省管轄の計画・事業
- 農林水産業の振興
  - 医療・福祉機能の充実

広域地方計画を実現するための社会資本整備

- 他省管轄の計画・事業
- 新たな産業創出
  - サービス産業の高度化
  - エネルギー・環境対策

【地域整備の目標】

I. 競争力

競争力のある地域経済社会の再構築

- ◆シームレスな輸送ネットワークの確立
- ◆産業競争力強化のための高速交通ネットワークの整備
- ◆都市再生の経済活動の支援 等



III. 暮らし・環境

多彩な文化と自然を活かした豊かで快適な暮らし・社会の創造

- ◆自然環境の保全・復元
- ◆中山間地域等の交通基盤、生活基盤の確保
- ◆循環型社会の形成 等



II. 安全・安心

安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり

- ◆防災基盤の整備
- ◆地域防災力の強化
- ◆交通安全の確保 等



IV. 交流・連携

交流・連携による一体的で活力のある地域づくり

- ◆ブロック内外の連携強化の推進
- ◆都市と中山間地域等の交流の拡大
- ◆国際交流拠点の機能強化 等



V. 横断的な取組

- ◆計画的かつ効率的な社会資本の維持管理・活用の推進
- ◆地球環境問題を視野に入れた社会資本整備 等

中国地方の強み

- ものづくりを中心とした高度な産業集積  
山陽側を中心に、基礎素材型産業等、ものづくりを中心とした高度な産業が集積しています。
- 急成長中の東アジアとの地理的近接性  
対東アジア物流を行っていくうえで、地理的に近接しており優位にあります。
- 多様・多彩な地域資源  
自然・歴史・文化的資源を多く有しており、それらの地域資源を有効に活用します。
- 世界遺産3件を含む豊富な観光資源  
原爆ドーム、厳島神社、石見銀山の3つの世界遺産をはじめとする多くの観光資源があります。

中国地方の弱み

- 小規模集落、高齢化集落の増加  
中山間地域等には多くの小規模で高齢化が進む集落が分布しており、そのうち一部の集落は消滅が危惧されている状況です。
- 分散した都市をつなぐ交通基盤整備の遅れ  
中小の都市が分散した地域構造になっており、各都市をつなぐ交通基盤整備が遅れています。
- 急峻な地形、かつ河川の氾濫区域に人口や資産が集中  
河川の氾濫区域に、人口や資産が集中しています。
- 中心市街地の空洞化などによる地方都市の活力低下  
中心市街地の商店街は、シャッター通りが多く、地方都市の活力が低下しています。

外部要因 地球環境問題の深刻化

外部要因 高齢化した社会資本ストックの増大

強みを活かし 弱みを克服

着眼点① 地域の産業競争力の強化

着眼点② 生活の安全・安心確保

着眼点③ 多様・多彩な地域資源の活用

着眼点④ 交流連携軸の形成

中国地方の現状・課題(社会資本整備関連)

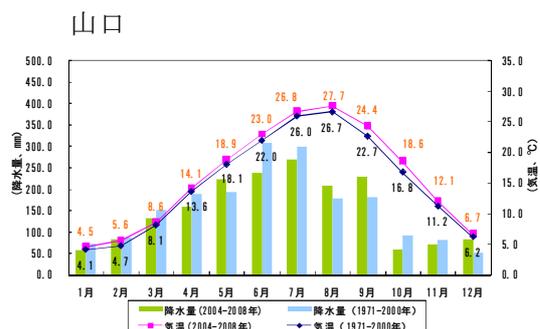
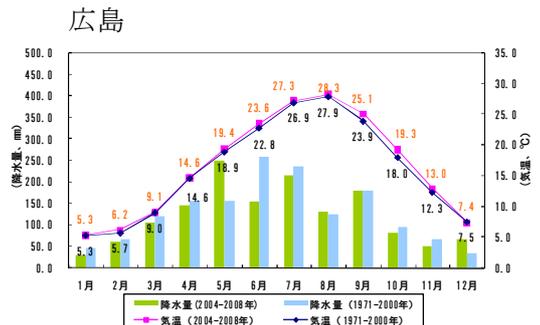
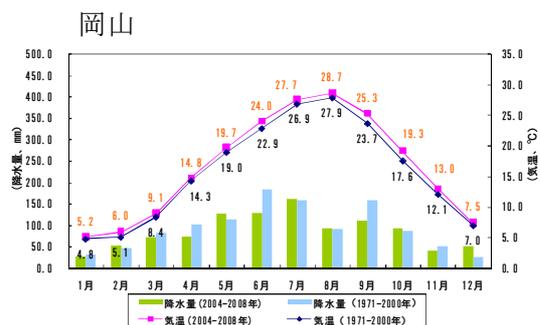
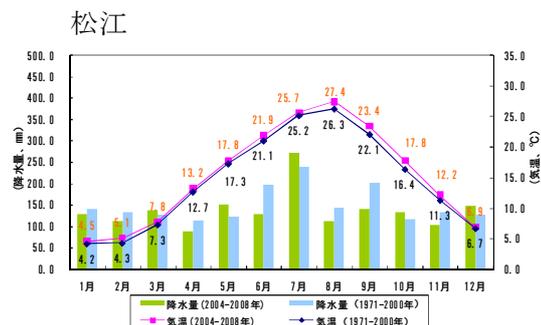
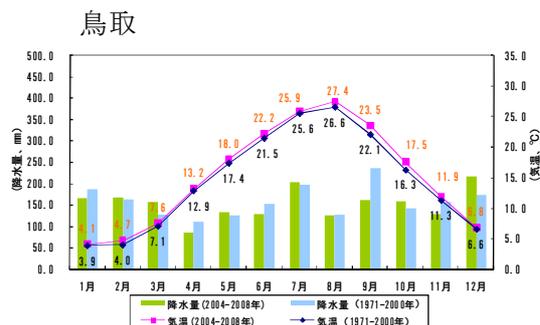
# 第1章 中国地方の現状と課題

## 第1節 中国地方の特徴

### (1) 自然・地理の特徴

中国地方は、大きくは山陰の日本海岸式気候と山陽の瀬戸内式気候に分かれ、気温は、山陽が年平均で1～2℃程度高く、降水量は山陰が多くなっています。また、2000年以前の30年間の平均と直近5年間の平均を比較すると、気温はどの都市においても上昇しています。

■中国地方県庁所在地及び主要都市の月別平均気温・平均降水量



※出典：気象庁HP（平成20年時点）  
 ※降水量は、各年の月合計の平均値  
 気温は、各年月の日平均の平均値

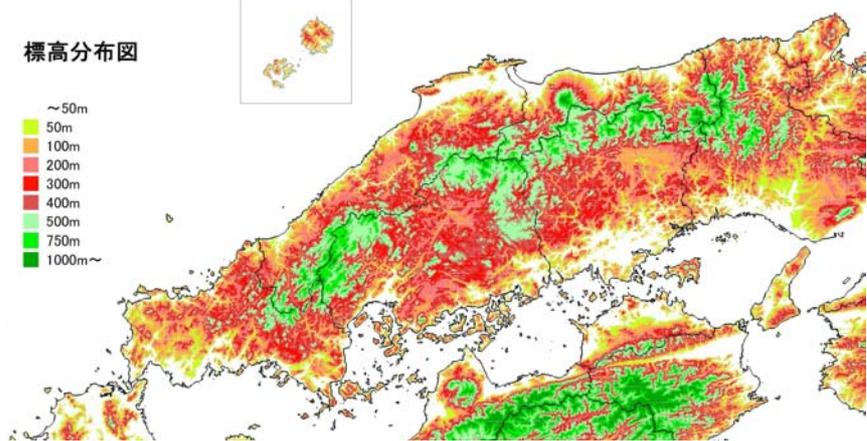
地理的には、近畿と九州の間に位置し、東西約 350km、南北約 140km の横長の地形で中央部には山陰と山陽を二つに分断する中国山地が東西に貫通し、日本海と瀬戸内海に面しています。

また、面積の約 74%を山地部が占めるものの、比較的なだらかな地形であることから、離島・半島、中山間地域(以下「中山間地域等」という)に多くの集落が分布しています。

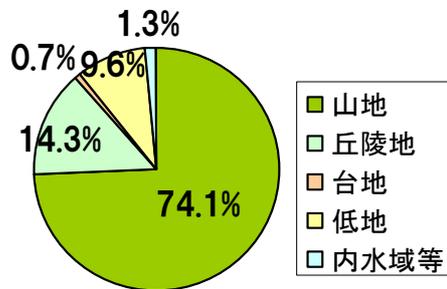
一方、総面積の約6%程度の河川の氾濫区域に人口の約 66%が集中し、洪水や高潮による水害リスクの高い地域で生活や経済活動が営まれています。土砂災害危険箇所数は、約9万5千箇所存在し、全国の土砂災害危険箇所数の約 18%を占めています。

■中国地方の概要

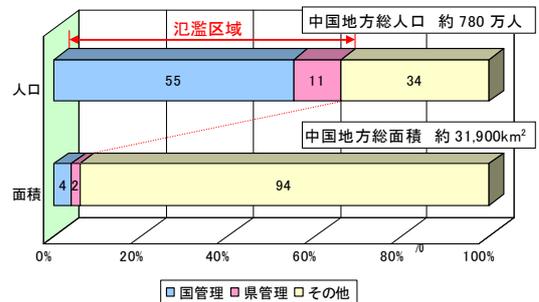
標高分布図



■中国地方の地形別面積比



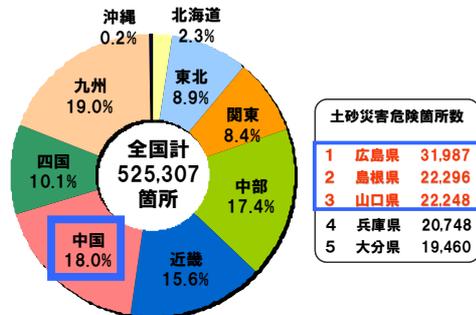
■面積・人口における氾濫区域の占める割合



※「河川氾濫区域」：想定氾濫区域とも呼ばれる、河川の氾濫水位よりも低い河川周辺の地域。  
※総務省国勢調査（平成7年）に基づき中国地方整備局で試算

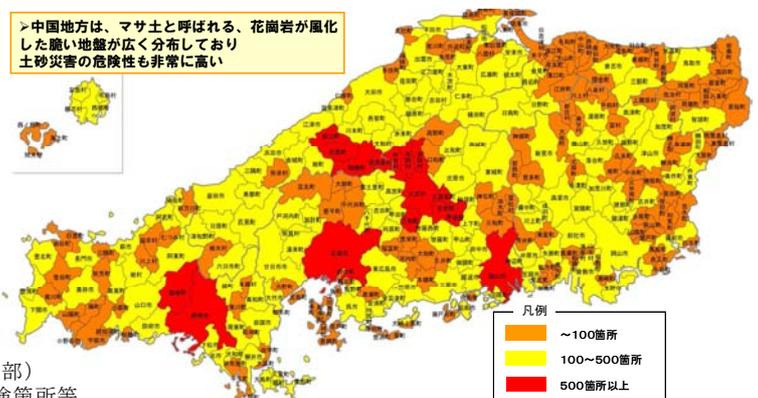
※出典：「昭和 57 年国土統計要覧」（国土庁長官官房総務課）

■土砂災害危険箇所の全国比較



※出典：「都道府県別土砂災害危険箇所」（国土交通省 砂防部）  
※土砂災害危険箇所とは、土石流危険渓流等、急傾斜地崩壊危険箇所等、地すべり危険箇所の合計値  
※土石流危険渓流等、急傾斜地崩壊危険箇所等は、H14公表値  
※地すべり危険箇所は、H10公表値

■土砂災害危険箇所

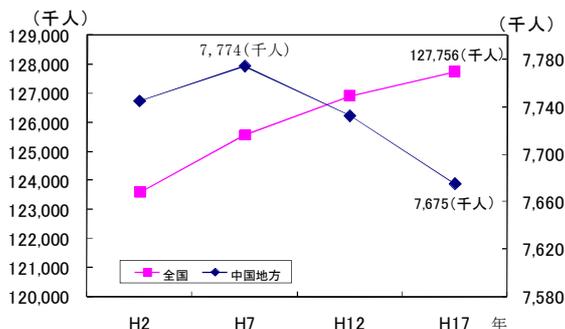


※市区町村境界はH12年時点

## (2) 社会・産業の特徴

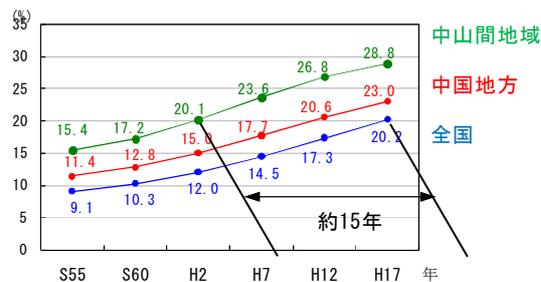
中国地方は、1995年の777万人をピークに人口減少に転じ、2005年には768万人となっています。また、全国に先行して高齢化が進展しており、島根県の高齢化率約27%をはじめ各県で全国平均を上回っています。今後、高齢者人口は引き続き増加する一方で、特に生産年齢人口が大きく減少すると見込まれます。

■全国及び中国地方の人口の推移



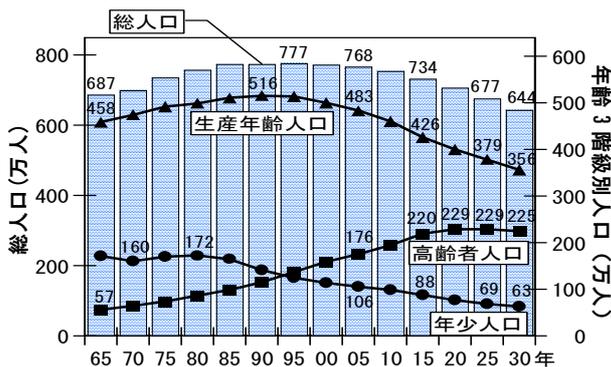
※出典：総務省国勢調査（平成17年）

■高齢化率の推移



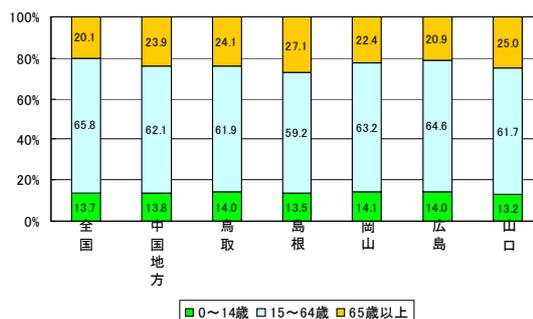
※出典：総務省国勢調査（平成17年）  
※高齢化率：65歳以上の割合

■中国地方の人口の推移と予測



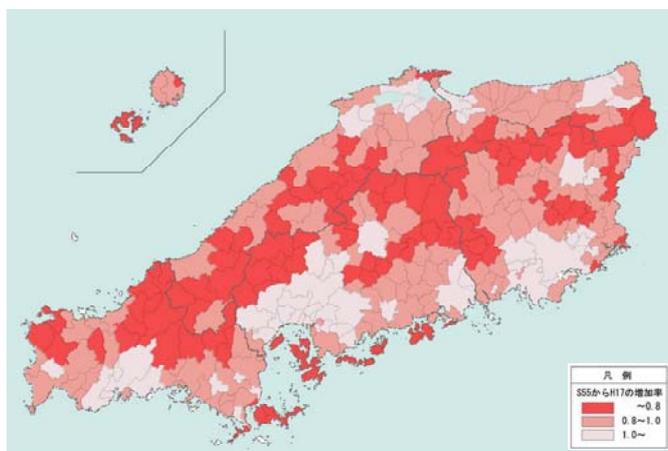
※出典：総務省国勢調査（平成17年）（将来値は中国総研推計）

■全国および中国5県の3区分人口割合



※出典：総務省国勢調査（平成17年）

■市町村別人口増減率



※出典：総務省国勢調査（平成12年、平成17年）  
※市区町村境界はH12年時点

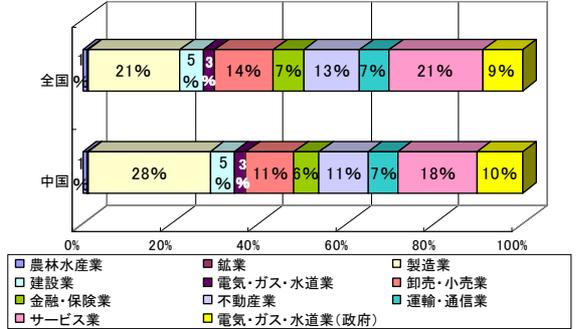
産業の特徴として、化学や鉄鋼などの基礎素材型産業や輸送用機械などの組立型産業が瀬戸内海沿岸に集積するなど、ものづくり産業に強みをもっています。域際収支

を産業別にみると、商業、サービス業では約 2.5 兆円の赤字ですが、ものづくり産業では約 2.5 兆円の黒字で、全体ではほぼ均衡している状況であり、中国地方全体で見ると経済的自立が可能なポテンシャルを有しています。

■産業集積状況

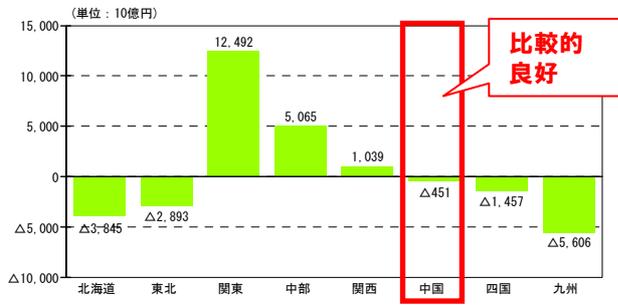


■全国と中国地方の総生産額における主産業の構成比率

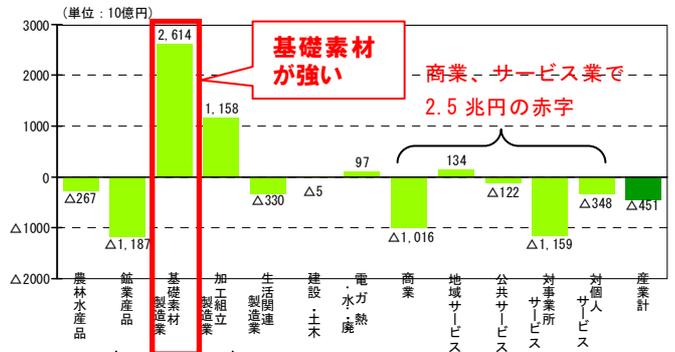


※出典：県民経済計算年報 平成 18 年版

■各地方ブロックの域際収支額(H12年)



■中国地方の産業別域際収支



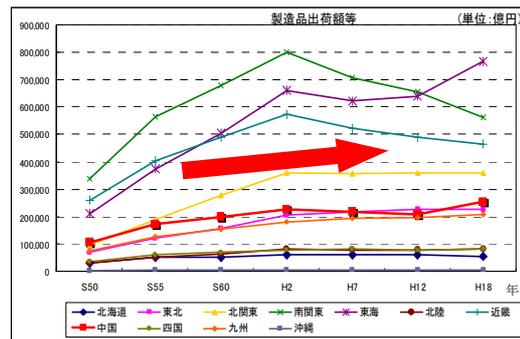
※出典：中国地方の経済圏・生活圏調査（財）ちゅうごく産業創造センター

※域際収支：各地域内の域内生産額（域内向け生産、移出・輸出向け生産）から域内支出額（民間消費、民間投資、政府支出）を控除して算出したもの。

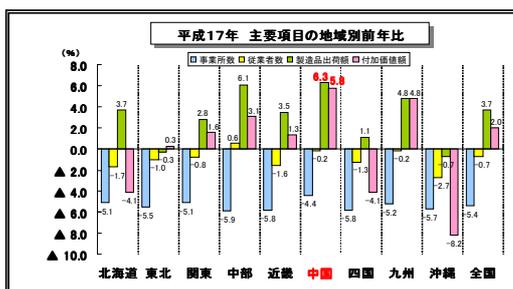
ものづくり産業で 2.5 兆円の黒字

中国地方の製造品出荷額等は、三大都市圏を除くと比較的高い地域となっています。中国地方の各県別では、山陰側に比べて山陽側の県で大きく増加しています。有効求人倍率は全国と比較して高い水準ですが、県別で見ると山陽側が高い水準であるのに対して、山陰側の有効求人倍率は低く、山陰側と山陽側の格差が拡大しています。

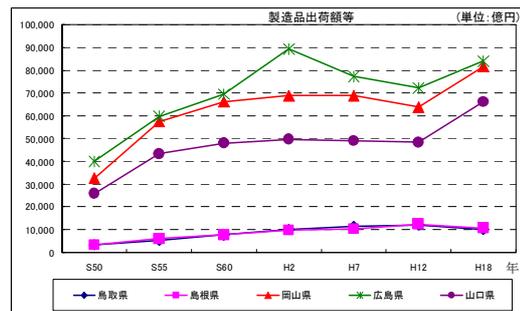
■製造品出荷額等の推移



■主要項目の地域別前年度比

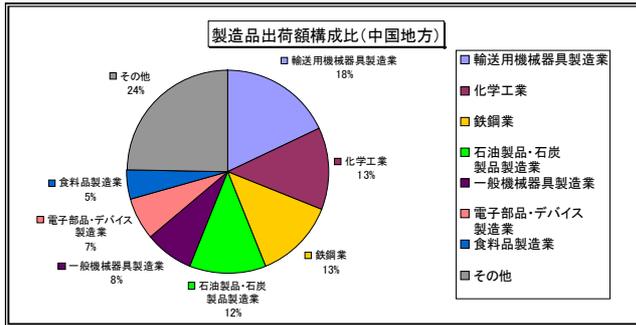


※出典：中国経済産業局「平成17年工業統計調査（速報）」



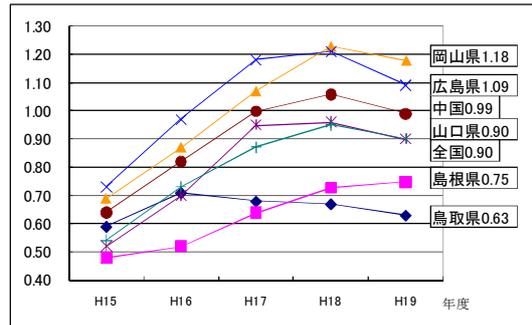
※出典：「工業統計調査」／経済産業省  
※平成18年度については工業統計速報値

■ 製造品出荷額構成比(中国地方)



※出典：経済産業省「H18年工業統計資料」

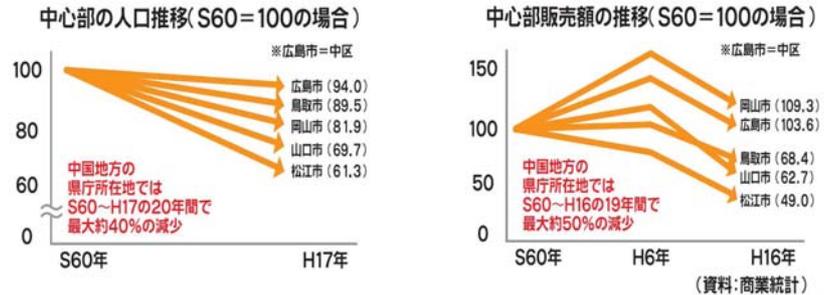
■ 有効求人倍率の推移



※出典：厚生労働省「職業安定業務月報」

また、多くの都市では、中心市街地の空洞化が進んでおり、県庁所在都市の中心部においても人口及び小売業年間商品販売額は減少傾向にあります。

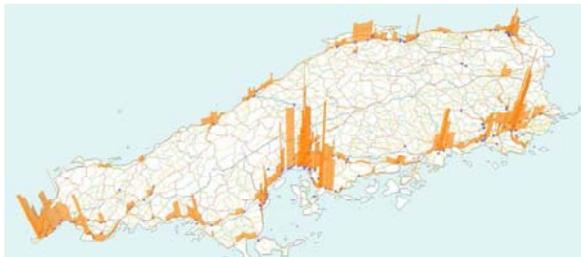
■ 中心部の人口及び販売額の推移



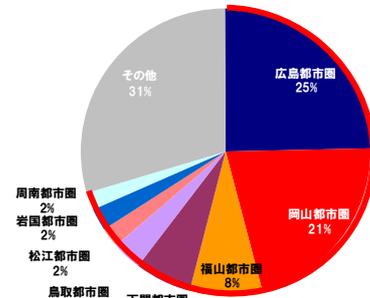
※出典：中国経済産業局「目指そう!!コンパクトでにぎわいあふれるまちづくり」  
 ※中心部とは、中心市街地活性化基本計画で策定された中心市街地を示す。(広島市以外)  
 ※販売額は、小売業年間商品販売額を示す。

特に山陽側の都市部における渋滞損失が著しい状況です。都市部への交通の集中により、走行性の低下を招いています。

■ kmあたり渋滞損失時間



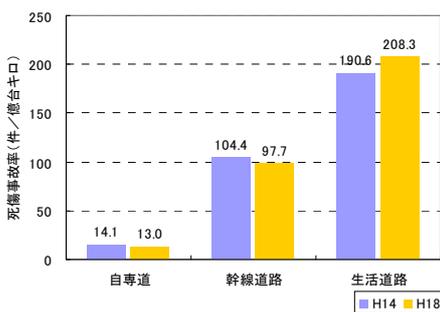
※出典：H17渋滞損失時間確定値(直轄国道のみ)



※出典：H17渋滞損失時間確定値(県道以上)

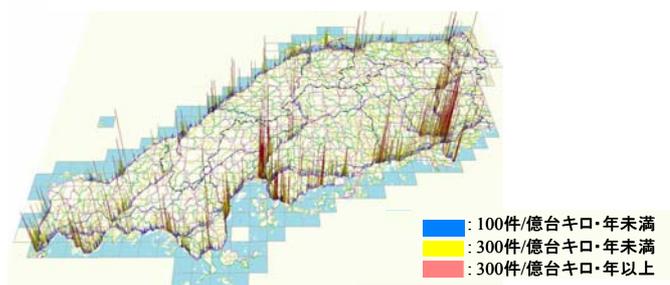
交通死傷事故率は減少傾向にありますが、山陽側の都市部で未だ高い発生率であるといえます。また、道路種別でみると、全国的に生活道路における死傷事故率が高い傾向にあり、身近な生活空間における事故の発生が高いことがうかがえます。

■ 全国の道路種別死傷事故率



※出典：国土交通省 道路局

■ H14年度-H17年度 死傷事故率3Dマップ



※出典：中国地方の直轄国道における4年間(H14-H17)の事故データから作成

### (3) くらし・文化の特徴

中国地方は、中小規模の都市が分散した地域構造となっており、小都市は大都市や中小都市と比べて人口の減少が大きくなっています。

また、域内需要の大半を占めるのはサービス産業となっており、サービス産業の生産は、人口 30 万人以上の都市圏のウェイトが高くなっています。このことから、人口 30 万人以上の都市圏は、30 万人未満の都市圏と比較して、経済的に自立していると考えられます。

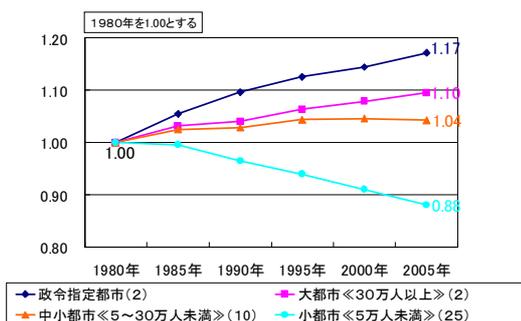
市町村の通勤状況をみると、就業機会の少ない市町村は、行政界を越えて生活圏の中心となる都市に依存している傾向にあります。

■生活圏中心都市と人口



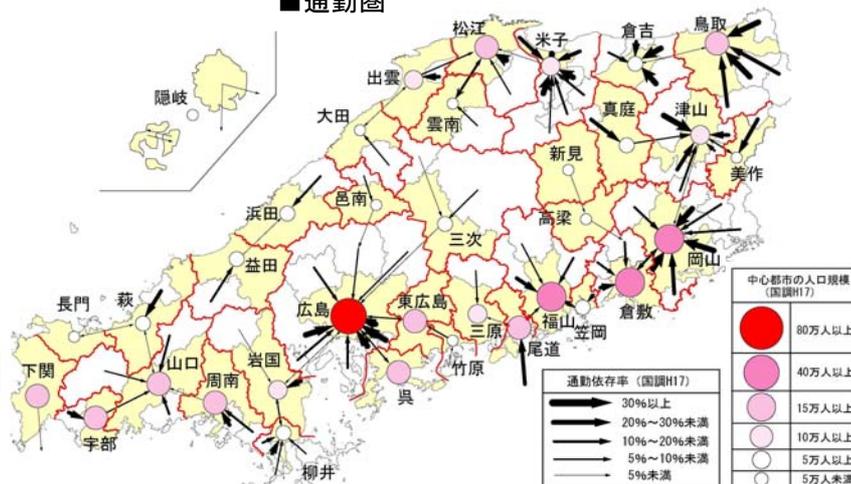
※出典：総務省国勢調査（平成17年）

■中国地方の都市規模別人口動向



※出典：総務省国勢調査（平成17年）  
 ※比率は1980年を1.00とする  
 ※合併市町村で集計  
 ※（ ）内は都市数を示す

■通勤圏



※出典：総務省国勢調査（平成17年）（人口）  
 総務省国勢調査（平成17年）（通勤依存率）

※市区町村境界はH20年時点

- (注) 合併自治体ベースで通勤圏を分析。通勤圏をベースとして生活圏を設定した。
- ①他から5%以上の通勤依存率がある場合、生活圏を設定した。
  - ②他に対して通勤依存率が5%未満の場合、単独の生活圏とした。但し、人口2万人未満の自治体は最大依存都市の生活圏とした。  
 (日南町、飯南町、吉賀町、大崎上島町、世羅町)
  - ③他に対して5%以上の通勤依存率がある場合も、人口15万人以上の都市は単独の生活圏とした。  
 (呉市、東広島市)
  - ④美祢市、美東町、秋芳町は平成20年3月合併のため、一体の都市として評価した。

また、三つの世界遺産、原爆ドーム、厳島神社、石見銀山に代表される歴史、文化資源や瀬戸内海、宍道湖などの自然資源を数多く有しています。それらの資源を活かし、年間観光客数150万人を超える、大きな観光地が複数点在しています。

また、平成20年10月1日、滞在型観光を促進することをねらいとして、「広島・宮島・岩国地域観光圏」、「山陰文化観光圏」の観光圏が選定されています。

外国人観光旅客数は、各県とも近年増加傾向を示しています。

### ■三つの世界遺産



### ■外国人観光旅客数の推移 (単位：人)

		H14	H15	H16	H17	H18	H19
島根県	宿泊客数			18,202	20,575	29,169	32,710
岡山県	宿泊客数			24,664	33,522	42,464	60,713
広島県	観光客数	374,403	349,183	383,433	416,422	503,695	548,907
山口県	観光客数				65,369	79,307	93,382

※各県ごとに調査手法が異なる (島根県と岡山県は宿泊者数、広島県と山口県は観光客数、鳥取県は公表資料無し)

※出典：  
 島根県：島根県観光動態調査結果  
 岡山県：外国人旅行者宿泊者数調査結果  
 広島県：広島県観光客数の動向  
 山口県：山口県観光客動態調査

### ■年間観光客数 150 万人以上の主要観光地

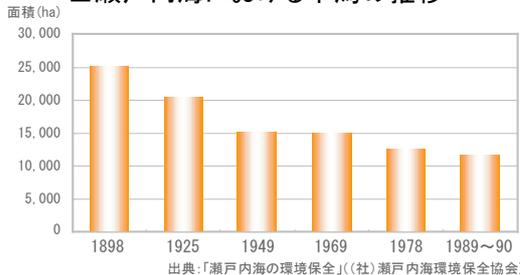


### ■歴史的・文化的地域資源

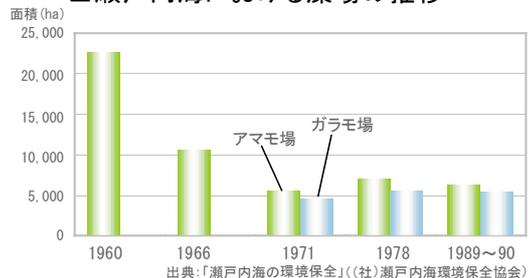


また、環境面では、干拓や埋立等により干潟や藻場の面積が減少しています。特に瀬戸内海において昭和 50 年以降に消失した面積は 1,450ha に及びます。

### ■瀬戸内海における干潟の推移



### ■瀬戸内海における藻場の推移



### (4) 社会資本整備の特徴

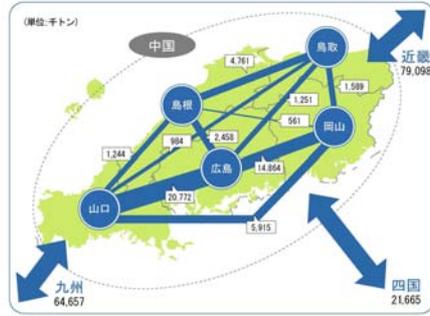
特に、山陰では、高速交通ネットワークの整備が遅れているため、山陰側の県間、山陰と山陽の県間移動に多大な時間を要しており、旅客流動・貨物流動とも、山陽側の東西方向の移動がメインとなっています。長時間を要する山陰側の県間、山陰と山陽の県間移動を短縮することで、中国地方の一体化を図るための事業を推進中です。

また、東アジア等との貿易が拡大する中で港湾の機能強化を図り競争力を高めるとともに、近年の災害を踏まえて高潮対策事業や床上浸水対策特別緊急事業を推進中です。

■ 県間及び地域間旅客流動

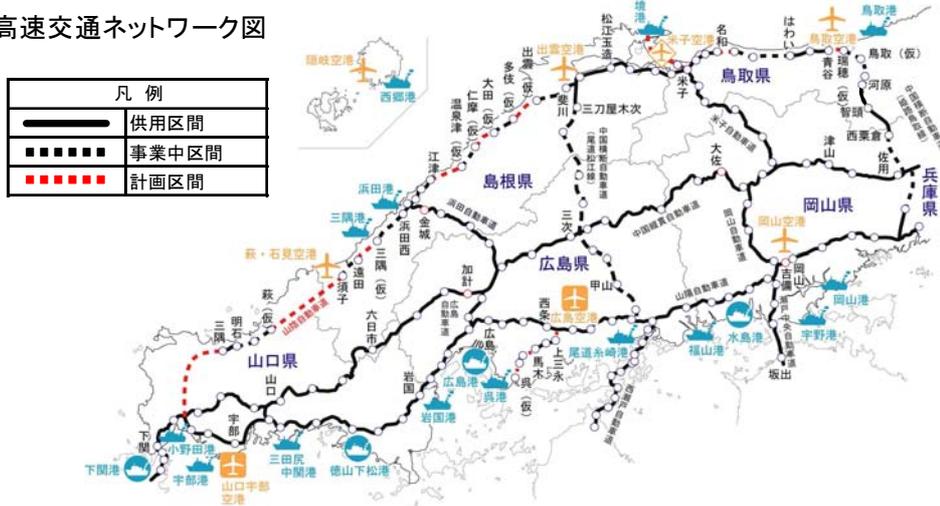


■ 県間及び地域間貨物流動



※出典:国土交通省総合政策局:貨物・旅客地域流動調査(H18)

■ 高速交通ネットワーク図



■ 尾道松江線 (尾道-三次間)



■ 福山港耐震強化岸壁

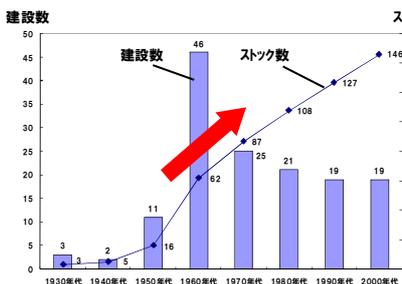


■ 太田川床上浸水対策特別緊急事業

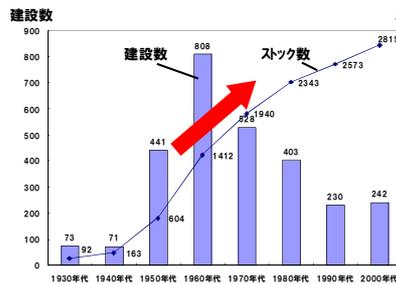


一方、高度経済成長期に建設された社会資本の高齢化が進み、今後、疲労や劣化等による損傷、それに伴う更新コストの増加が懸念されます。このため、社会資本の計画的な維持管理を行うアセットマネジメントの導入や維持管理コスト縮減に向けた様々な取組が行われています。

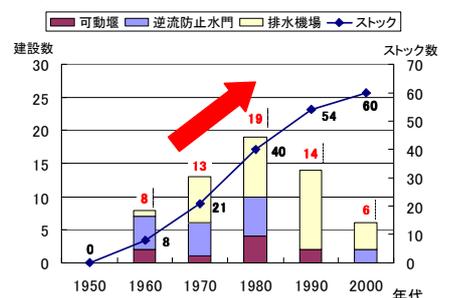
■ 中国地方におけるトンネル数 (建設年代別)



■ 中国地方における橋梁数 (建設年代別)



■ 中国地方における河川管理施設(うち大規模施設:可動堰、逆流防止水門、排水機場)数(建設年代別)



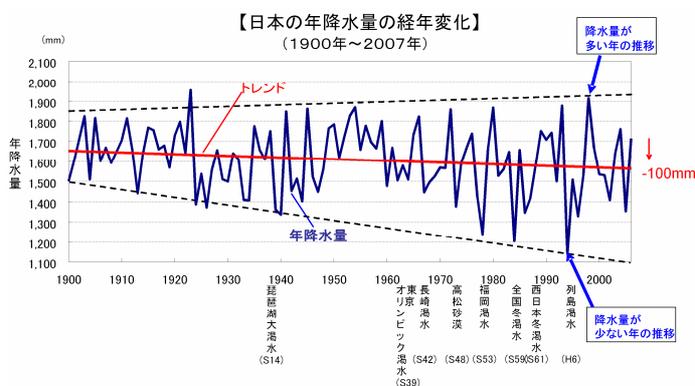


## (2) 異常気象による災害の頻発化

近年、全国的に異常気象による深刻な災害被害が発生しています。年降水量の多い年と少ない年の差が年々開くとともに、集中豪雨の回数が増加するなど、異常気象による想定外の集中豪雨が各地で発生しています。中国地方においても、平成16年9月の高潮、平成17年9月の台風14号、平成18年7月の豪雨などによる被害が発生しています。さらに、地球温暖化に伴う気候変化により、海面水位の上昇や大雨の頻度増加、台風の激化等が生じ、その結果治水安全度が低下することが懸念されています。

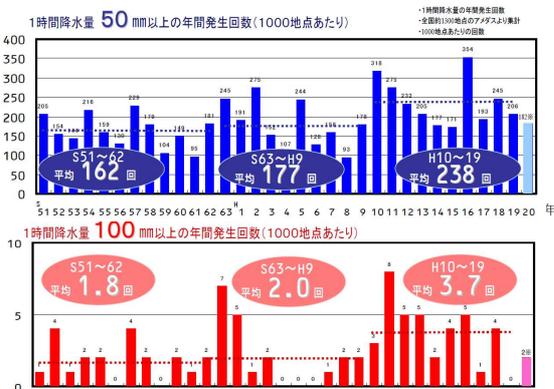
また、ここ100年の日本の年降水量の変化を見てみると、降水量の多い年がある一方で、深刻な渇水被害が度々発生しています。

### ■ 日本の年降水量の経年変化



※出典：国土交通省 土地・水資源局  
「平成20年度版 日本の水資源」

### ■ 集中豪雨の頻度

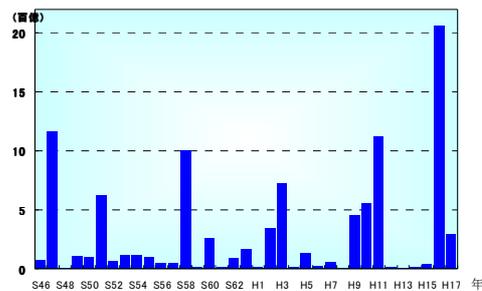


※出典：国土交通省河川局「水害レポート2008」

### ■ 中国地方の主な災害年表

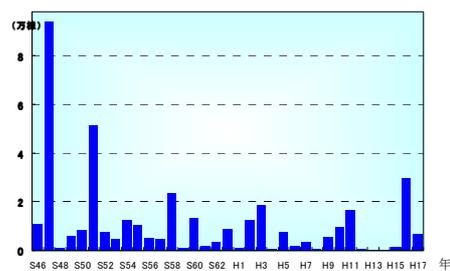
	豪雨・高潮災害	地震災害	豪雪災害
1945年 (S20年)	枕崎台風(豪雨、強風)		
1946年 (S21年)		南海地震	
1951年 (S26年)	ルース台風(豪雨、強風、土砂災害)		
1963年 (S38年)			昭和38年1月豪雪
1967年 (S42年)	昭和42年7月豪雨		
1972年 (S47年)	昭和47年7月豪雨		
1977年 (S52年)			昭和52年豪雪
1981年 (S56年)			昭和56年豪雪
1983年 (S58年)	昭和58年7月豪雨		
1984年 (S59年)			昭和59年豪雪
1988年 (S63年)	昭和63年7月豪雨		
1991年 (H3年)	台風19号(強風、高潮)		
1993年 (H5年)	台風5号(豪雨、土砂災害)		
1999年 (H11年)	梅雨前線、低気圧(豪雨、土砂災害)		
2000年 (H12年)		鳥取県西部地震	
2001年 (H13年)		広島県安芸灘地震	
2004年 (H16年)	台風16号(強風、高潮)		
2005年 (H17年)	台風14号(豪雨、強風、高潮)		
2006年 (H18年)	平成18年7月豪雨 台風13号(豪雨、強風)		平成18年豪雪

### ■ 中国地方の水害被害額の推移



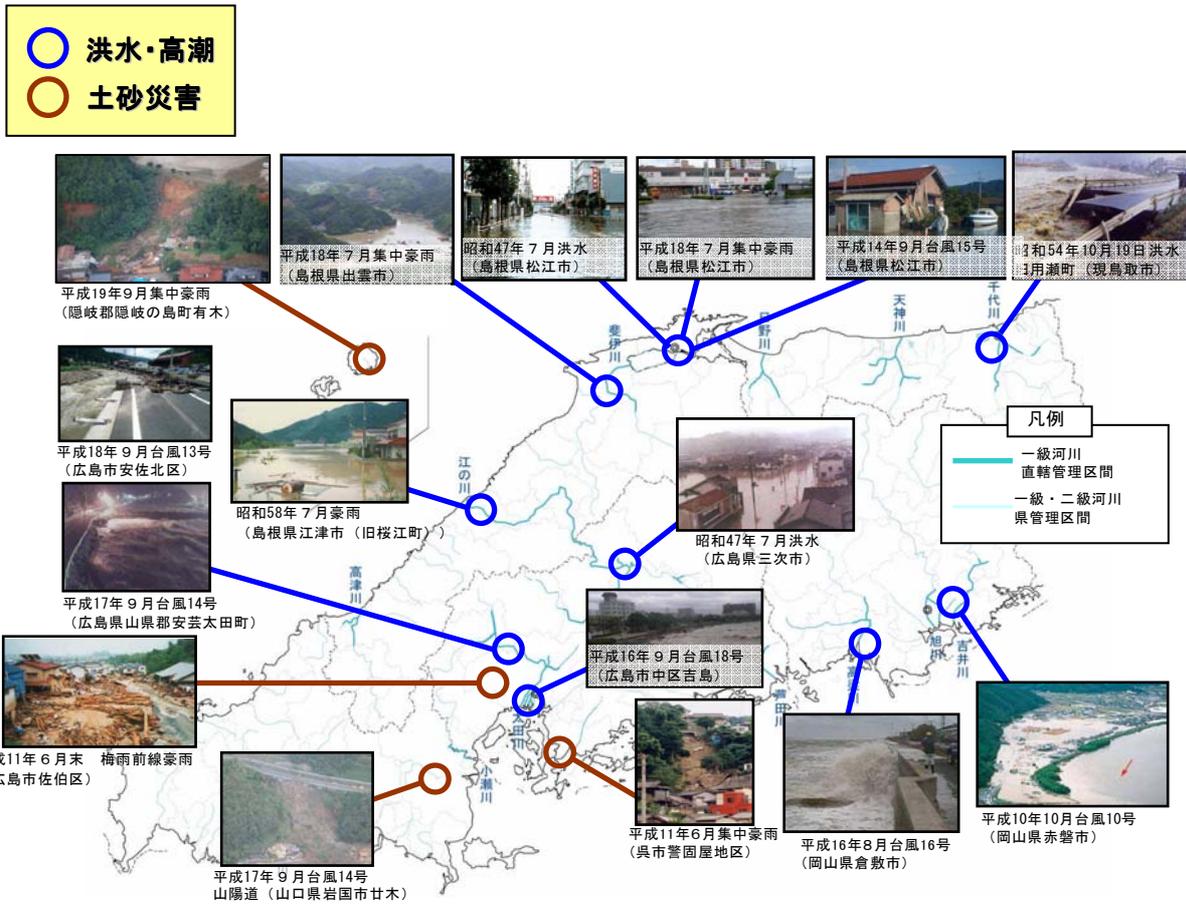
※出典：国土交通省河川局「水害統計」

### ■ 中国地方の水害被害棟数の推移



※出典：国土交通省河川局「水害統計」

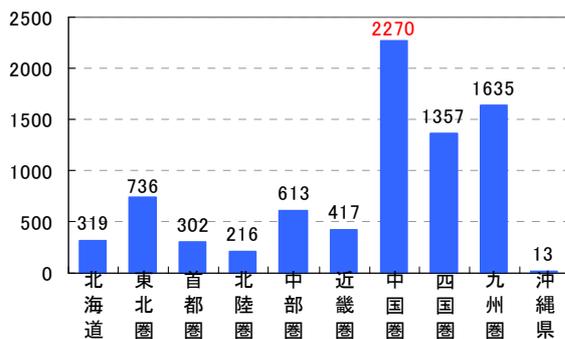
■中国地方各地で起きた水害被害・土砂災害



(3) 中山間地域等の全国に先行した高齢化の進展

中国地方では全国に先行して高齢化が進展しており、住民の過半数が65歳以上の高齢化集落及び世帯数20世帯未満の小規模集落の数は全国で最も多くなっています。人口規模が小さく基幹産業に乏しい中山間地域等では、一貫して生産年齢人口が減少しており、高齢化の進展や人口の減少と合わせて、地域経済の活力が低下しています。

■住民の過半数が65歳以上の高齢化集落数 (全国比較)



※出典：国土交通省「国土形成計画策定のための集落の状況に関する現況把握調査（2006年時点）」

■世帯数20世帯未満の小規模集落数 (全国比較)

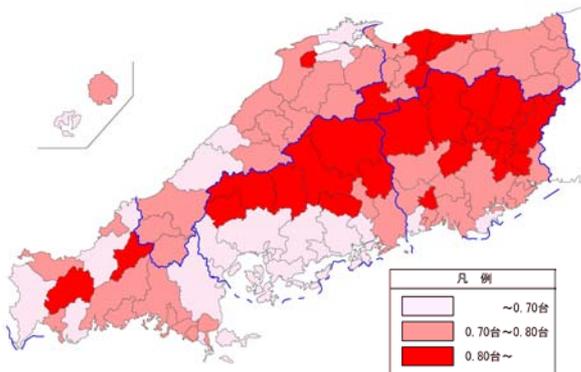


※出典：国土交通省「国土形成計画策定のための集落の状況に関する現況把握調査（2006年時点）」

#### (4) 都市と中山間地域等の生活基盤の格差の存在

中山間地域等では、公共交通サービスの水準が低く、自動車交通への依存率が高い傾向にあります。しかし、中山間地域等の道路改良率は都市的地域あるいは中国地方全体と比べて低く、さらに事前通行規制による孤立地域が各地に分散している状況です。また、医師不足が深刻であり、第三次医療施設までの到達時間が1時間を超える地域が多いことや、下水道普及率が都市的地域と比較して低く、また情報通信基盤の整備が都市的地域より遅れているなど、都市的地域と生活基盤の格差が大きい状況にあります。

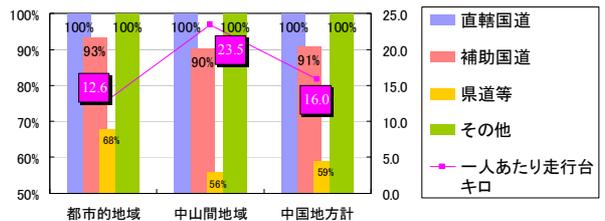
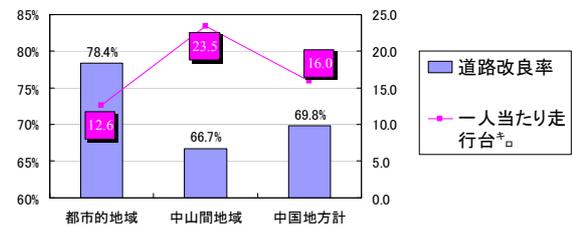
##### ■市町村別一人当たりの自動車保有台数



※出典：「平成19年市町村別自動車保有車輛数」「平成19年市区町村別軽自動車車両数」総務省国勢調査（平成17年）（人口）

※市区町村境界はH20年時点

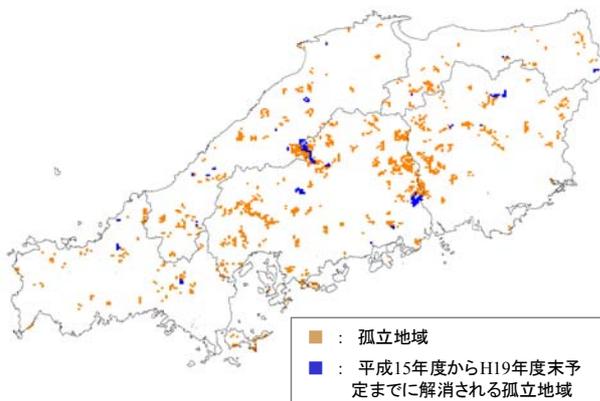
##### ■改良済延長と走行台キロ



※出典：国土交通省、H17道路交通センサス

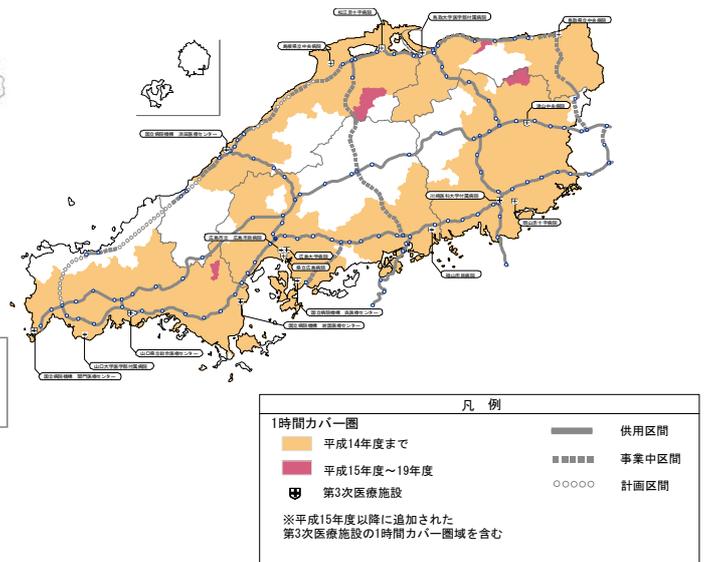
※道路改良率は、区間総延長を改良済み延長（車道幅員5.5m以上）で除したものの

##### ■事前通行規制による孤立地域の分布状況



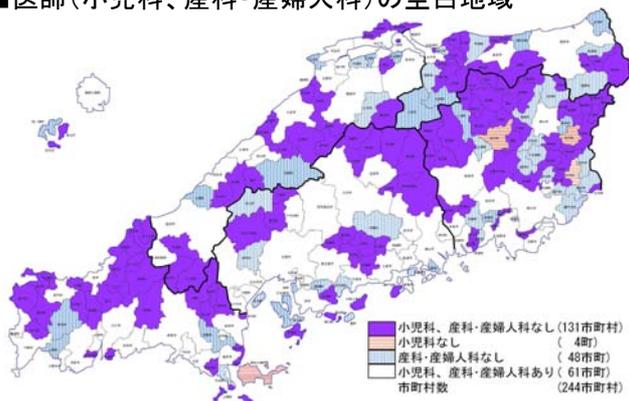
※出典：国土交通省 中国地方整備局

##### ■第3次医療施設に1時間で到達可能な圏域



※出典：国土交通省 中国地方整備局

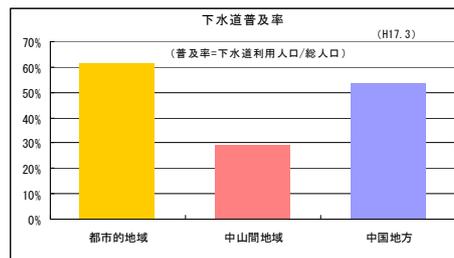
■医師(小児科、産科・産婦人科)の空白地域



※出典：厚生労働省「平成16年 医師・歯科医師・薬剤師調査」

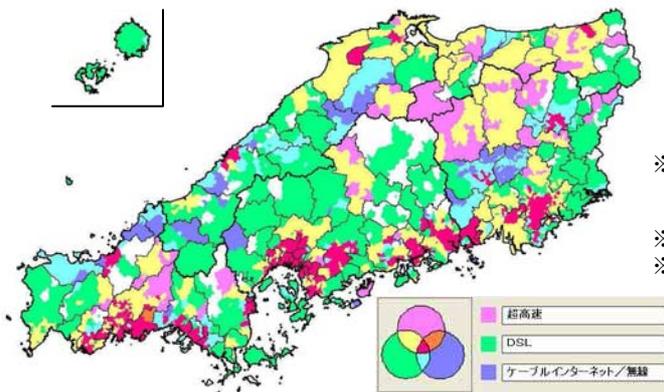
※市区町村境界はH16年時点

■下水道普及率



※出典：日本下水道協会ホームページ

■ブロードバンドサービス提供市町村



※出典：総務省ホームページ

「全国ブロードバンド・マップ(中国地方)」

- ※1 市町村の行政区界は平成20年4月1日現在。
- ※2 ブロードバンド・マップは、ブロードバンド・サービス(FTH、ADSL、ケーブルインターネット等)について、事業者情報等から、原則町丁目単位で利用可能の有無を区分し地図上に色塗りしており、色塗りした地域の全域でサービス提供されているとは限らない。

### 第3節 中国地方におけるこれまでの取組

みらいビジョン中国21“2004”では、「競争力のある地域経済社会の再構築」、「安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり」、「中国地方の美しく豊かな自然・歴史・文化などを活かした地域づくり」、「周辺地域との交流・連携と国際交流拠点の機能強化」の4つの地域整備の目標のもと 23 の重点目標を掲げ、中国地方の社会資本整備に取り組んできました。

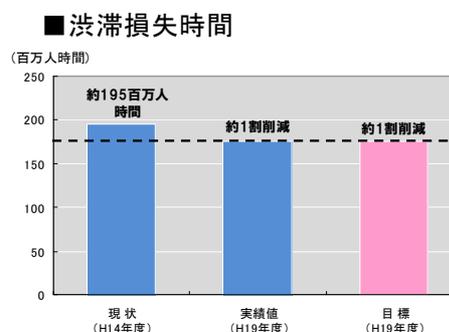
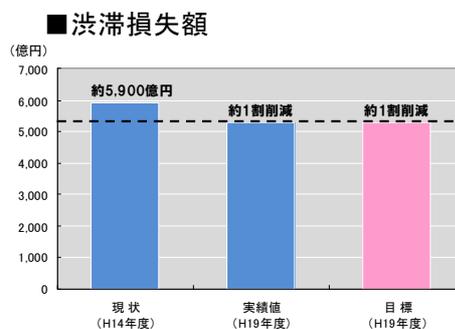
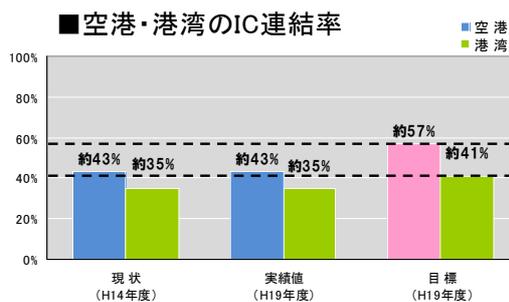
#### (1) 競争力のある地域経済社会の再構築に係る取組

中国地方の国際競争力強化と地域経済の再生、活性化に資する港湾・空港などの整備と山陰と山陽の格差是正につながる高規格幹線道路等の整備を積極的に推進しています。また、物流・業務等の経済活動を支援するため、交通容量拡大策や TDM (交通需要マネジメント) 施策、マルチモーダル施策を組み合わせ、地域の特性に合った渋滞対策を総合的に実施し、都市内における交通円滑化を図り、物流の効率化を目指しています。

しかし、高規格幹線道路等のインターチェンジから 10 分以内のアクセスが可能な拠点的な空港、港湾の割合である空港・港湾のIC連結率は、中国横断自動車道姫路鳥取線(鳥取空港・鳥取港アクセス)が供用できなかった等により、目標を達成できていない状況です。

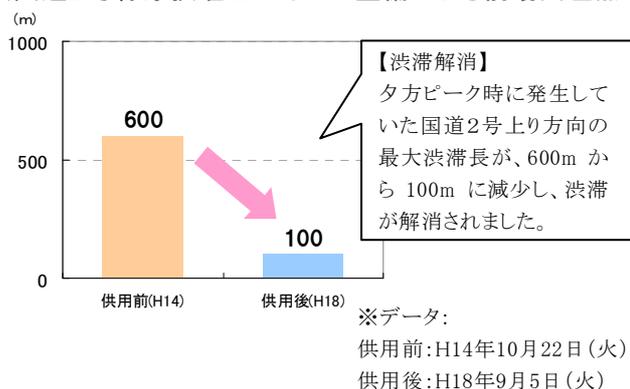
バイパス、環状道路の整備や、ボトルネック交差点の改良、立体化などのハード対策を進めるとともに、ノーマイカーデーによる公共交通機関の利用促進などモビリティマネジメント等の渋滞削減に向けたソフト対策も併せて進めています。これらの施策により渋滞損失額と渋滞損失時間は、ともに約1割削減(H14年度に対するH19年度の削減率)されました。

また、併せて CO<sub>2</sub>削減など、地球温暖化への対応も取り組んでいます。



## ■ 渋滞解消事例

(国道2号線厚狭植生バイパス整備による前場交差点での渋滞解消)



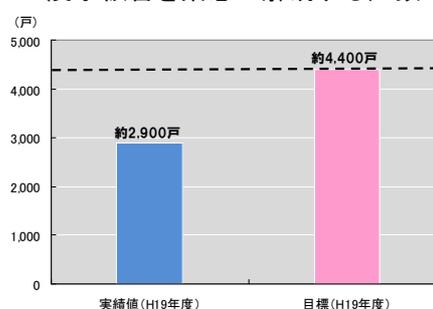
## (2) 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくりに係る取組

近年、台風や集中豪雨による甚大な水害、土砂災害、高潮災害や地震による災害等が発生しています。また地球温暖化に伴う気候変化により、海面水位の上昇や大雨の頻度増加、台風の激化等により、水害、土砂災害、高潮災害等が頻発・激甚化することが懸念されています。一方、特に中山間地域等においては少子高齢化や地域コミュニティの機能低下に伴い、防災力の低下が地域の存続に関わる重大な課題となっています。こうした状況の中、浸水対策やハザードマップの作成支援など、防災基盤の強化、地域防災力の向上に向けた、様々な取組を推進してきました。

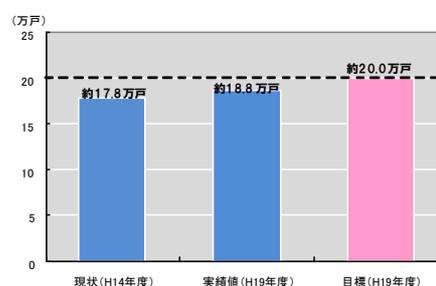
具体的には、水害被害を受けた箇所で浸水被害の解消を図るための浸水対策により、一定の規模の洪水から防御される戸数は、小谷川(島根県)や太田川(広島県)などで重点的な投資を行った結果、5年間で新たに約 2,900 戸(H19 年度)増加しました。

また、中国地方の特徴でもある弱いまき土地盤に起因する土砂災害に関しては、土砂災害から保全される戸数が、約 17.8 万戸(H14 年度)から約 18.8 万戸(H19 年度)に増加しました。災害時に自力では避難できない病院、高齢者福祉施設、幼稚園等の施設にいる災害時要援護者を守るための砂防施設の整備により、守られる施設数は、約 480 施設(H14 年度)から約 680 施設(H19 年度)へと増加しました。これら防災基盤の整備により着実に地域の安全度が向上しています。

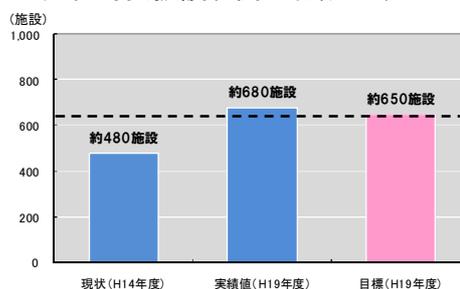
### ■ 浸水被害を緊急に解消する戸数



### ■ 土砂災害から保全される戸数



### ■ 土砂災害から保全される災害時要援護者関連施設の数

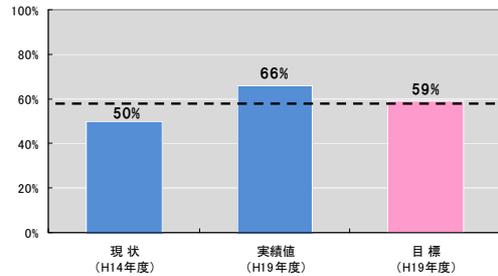


### ■ 急傾斜地崩壊危険箇所に施設を整備

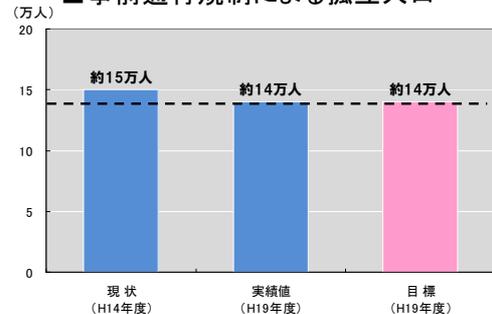


さらに、防災拠点となる官庁施設の耐震性能を確保するため、施設整備や施設改修を行い、耐震化された官庁施設の割合が 50% (H14 年度) から 66% (H19 年度) に増加しました。異常気象時通行規制区間または規制区間に挟まれたエリアにおいて、通行規制により孤立する人口の減少を目指し、災害時における地域の生命線の確保を図るため、山陰や内陸部を主として、幹線道路ネットワーク整備を重点的に進め、H19 年度時点で約 14 万人の目標を達成しました。

■耐震化された官庁施設数割合



■事前通行規制による孤立人口



■事前通行規制による孤立人口解消事例(上野地区・伊賀和志地区)



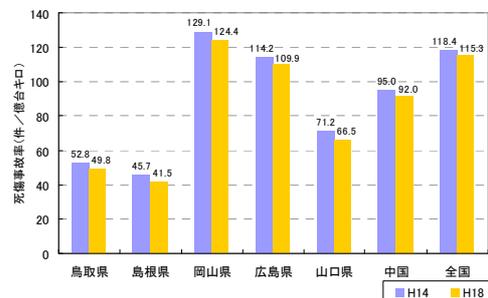
伊賀和志大橋



大津トンネル

道路利用者や住民の安全・安心な移動を確保するため、交通事故の発生する危険性の高い箇所を「事故危険箇所」、歩行者や自転車利用者の安全を面的に確保すべきエリアを「あんしん歩行エリア」として指定し、関係機関の連携により重点的な対策・整備を実施し、死傷事故率の目標値 92 件/億台キロを達成することができました。

■死傷事故率



※出典：国土交通省

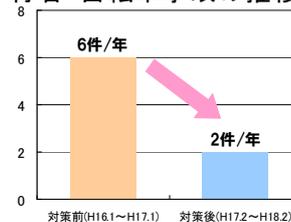
■事故件数の減少の事例(国道 54 号 白神社前交差点における事故危険箇所対策事業)



対策前後の追突事故件数の推移



歩行者・自転車事故の推移



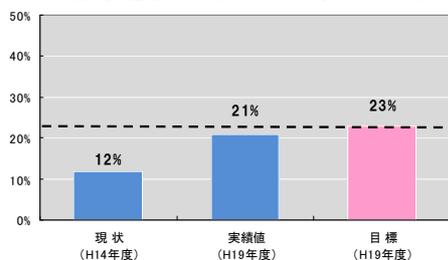
※対策前の期間はH17年1～7月であるため1年換算しており実件数は9件

(3)美しく豊かな自然・歴史・文化を活かした地域づくりに係る取組

瀬戸内海をはじめとする美しく豊かな自然・歴史・文化など、地域の特性を活かした地域づくりを進めるため、河川等の水質浄化、公共用水域の水質保全に向けた生物の多様性の確保、自然とのふれあいの場の確保等、美しく豊かな自然環境の保全と継承を進めてきました。

具体的には、過去の開発や侵食によって失われた水辺のうち、回復可能な干潟の中で再生した水辺の割合は、人工干潟等の整備を推進した結果、12%(H14年度)から21%(H19年度)へ割合が増加しました。また、水環境の改善、自然環境の再生・創出を図るため、冬場以外の工事可能な季節において計画的な工事の実行に努める等、効率的な事業の促進を図り、自然・歴史・文化などを活かした地域づくりを進めています。

■失われた自然の水辺のうち、回復可能な干潟の中で再生した水辺の割合

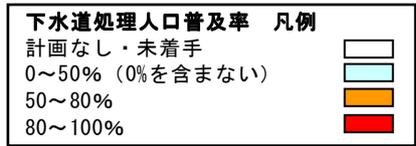
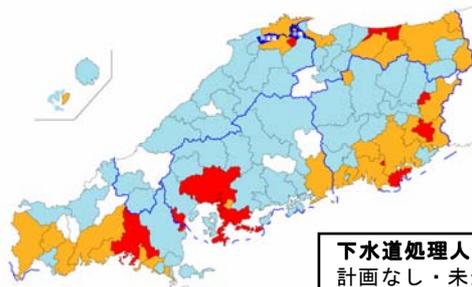
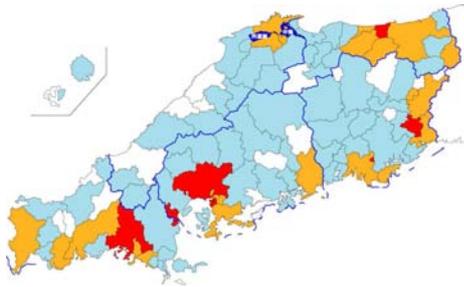


また、下水道処理人口普及率は、污水管渠や下水処理場の整備を推進した結果、50%(H14年度)から58%(H19年度)へと増加しました。水辺環境を快適に保全するなど、魅力ある生活環境の実現に向け、公共下水道事業、排水処理施設整備事業等を推進しています。

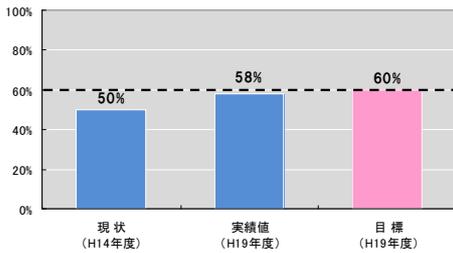
■下水道処理の整備状況

(平成 14 年度末)

(平成 19 年度末)



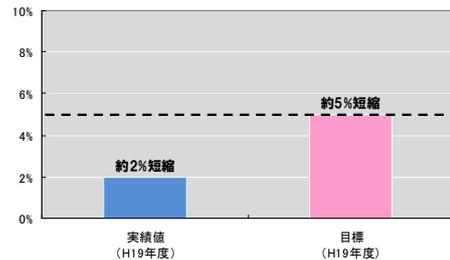
■下水道処理人口普及率



(4) 周辺地域との交流・連携と国際交流拠点の機能強化に係る取組

山陰側における交通基盤をはじめとする社会資本の整備率の低さを踏まえ、山陰と山陽の格差是正や中山間地域等と沿岸部の都市等との相互の交流・連携、および近畿、四国、九州などのブロック間連携に必要な高規格幹線道路等の整備を推進しています。また、空港や港湾などの国際交流拠点と域内ネットワーク整備による高速ICとの連結の強化、国際交流拠点を含めたネットワーク整備を推進しています。

■主要都市間の所要時間短縮率



■主要都市の地理的位置と自動車による移動時間から見た位置 (イメージ)

■高規格幹線道路網と空港・港湾のIC連結

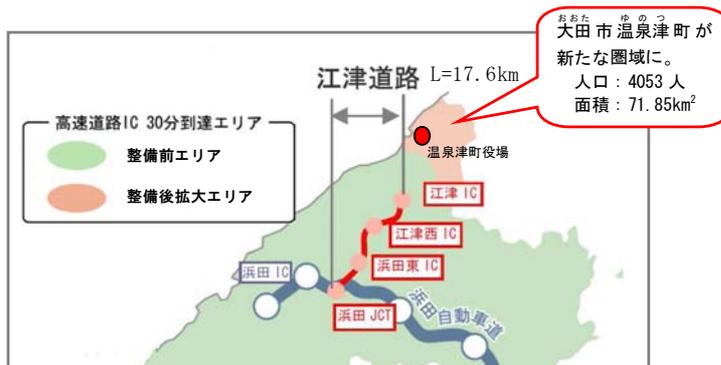


※時間から見た県庁所在地の位置は広島市～岡山市間を基準とした場合のイメージ的なものです。都市間の所要時間と位置関係において、一部に一致しない都市間があります。※図中の数値は、道路時刻表2007～2008及び規制速度等より算出しています。

具体的には、主要都市間の実距離と時間距離を比べると、山陰と山陽の都市間、山陰の都市間では実距離に対して時間距離が大きくなっていますが、バイパス整備等主要都市間の所要時間短縮に向けて取り組んだ結果、約2%短縮(H19年度)となりました。

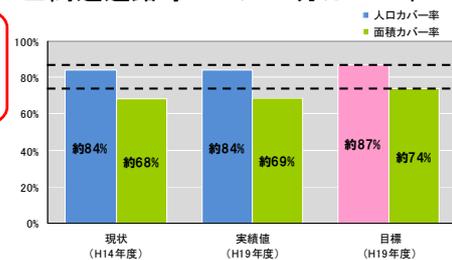
さらに、高規格幹線道路等のインターチェンジに30分以内で到達できる地域の面積・人口の割合である高速道路等ICの30分カバー率は、人口84%(H19年度)、面積69%(H19年度)となっています。

■カバー圏域拡大と所要時間短縮事例(江津道路)



※人口・面積データはH12年度国勢調査  
 ※出典：国土交通省 中国地方整備局

■高速道路等ICの30分カバー率



## 第4節 中国地方で今後取り組むべき課題

第1節「中国地方の特徴」、第2節「中国地方における近年の状況の変化」、第3節「中国地方におけるこれまでの取り組み」で示した中国地方の現状から整理される、中国地方の「特長」と「克服すべき課題」、及び「みらいビジョン中国 21“2004”」策定以降の「経済・社会情勢の変化」を踏まえ、今後取り組むべき課題の方向性を整理すると次のようになります。

### 特長

- **ものづくりを中心とした高度な産業集積**  
山陽側を中心に、基礎素材型産業等、ものづくりを中心とした高度な産業が集積しています。 ⇒競争力強化のための基盤整備
- **急成長中の東アジア等との地理的近接性**  
東アジア物流を行っていくうえで、地理的に近接しており優位にあります。 ⇒東アジア等とのゲートウェイ機能の確保
- **多様・多彩で豊富な地域資源**  
自然・歴史・文化的資源を多く有しています。 ⇒地域資源の有効活用
- **世界遺産3件を含む豊富な観光資源**  
原爆ドーム、厳島神社、石見銀山の3つの世界遺産をはじめとする多くの観光資源があります。 ⇒広域観光資源の有効活用

### 克服すべき課題

- **小規模集落、高齢化集落の増加**  
中山間地域等には多くの小規模で高齢化が進む集落が分布しており、そのうち一部の集落は消滅が危惧されている状況です。 ⇒高齢化に対応した地域づくり  
⇒中山間地域等の居住環境向上
- **分散した都市をつなぐ交通基盤整備の遅れ**  
中小の都市が分散した地域構造になっており、各都市をつなぐ交通基盤整備が遅れています。 ⇒高速交通基盤の整備
- **急峻な地形、かつ河川の氾濫区域に人口や資産が集中**  
河川の氾濫区域や洪水・高潮による水害リスクの高い地域に、人口や資産が集中しています。 ⇒災害等に強い地域づくり
- **中心市街地の空洞化などによる地方都市の活力低下**  
中心市街地の商店街は、シャッター通りが多く、地方都市の活力が低下しています。 ⇒地域活力の向上

### 経済・社会情勢の変化

- **厳しい経済状況に直面**  
世界的な金融危機を契機に、厳しい経済状況におかれています。 ⇒国際競争力の強化
- **高齢化した社会資本ストックの増大**  
高度経済成長時に建設された社会資本の高齢化が進み、老朽化が懸念されます。 ⇒戦略的な維持管理・更新等の推進
- **地球環境問題の深刻化**  
地球温暖化をはじめとする、地球環境問題や閉鎖性水域の環境保全が求められています。 ⇒環境問題への対応
- **「新たな公」を担う住民等の活動の活発化**  
幅広い「公」の役割をNPO、企業等の多様な主体が担いつつあります。 ⇒新たな公と行政の連携

以上のことを踏まえ、今後取り組むべき課題を次のとおり整理しました。

### ①全国に先行する人口減少・高齢化の進展に対応した地域づくり

第1節(2)で示したとおり、中国地方は、全国より10年早く人口減少に転じており、今後も人口減少が続くとともに高齢者人口は引き続き増加することが予測されます。

高齡化等に対応した、誰もが安心して暮らせる地域づくりを進める必要があります。

### ②拡大する東アジア等との経済交流に対応したゲートウェイ機能の確保

第1節(2)で示したとおり、中国地方は、ものづくり産業が臨海部を中心に集積し、移出を通じた域外からの所得獲得力は地方ブロックの中で抜きん出た強さを持っています。また、2008年秋以降の世界的な景気後退の影響を受けているとはいえ、第2節(1)で示したとおり、東アジア等との生産連携が拡大する中で貿易額が飛躍的に増加しています。山陰側においては、経済発展めざましい北東アジアとの地理的近接性を活かし、ロシア沿海地方、韓国、中国東北部などとの連携強化の動きが活発化しています。しかし、海上国際コンテナ貨物の半分近くが他ブロックの港湾を経由していることや、バルク貨物輸送船の大型化への対応などの課題を抱えています。

国内他圏域及び東アジア各国と競争していく力を強化していくためには、陸・海・空の国際物流・人流基盤を総合的に整備して東アジア等との「ゲートウェイ機能」を確保する必要があります。

### ③水害や地震等に対する脆弱さを踏まえた安全な地域づくり

第1節(1)で示したとおり、中国地方は、全国の土砂災害危険箇所数の約18%が集中するなど、水害等に対する脆弱さを内包する地域であることに加え、総面積の約6%を占める河川氾濫区域に人口の約66%が集中している地方です。

第2節(2)で示したとおり、近年は、台風や集中豪雨による甚大な水害、土砂災害、高潮災害や地震による災害等が発生しています。一方、深刻な渇水被害が度々発生するなど、少雨にも対応した暮らしや産業活動を支える水の安定供給のための水資源確保対策が課題となっています。今後さらに、地球温暖化に伴う気候変化により、水害、土砂災害、高潮災害等の頻発・激甚化や渇水の頻発・深刻化が懸念されます。

また、第3節(2)で示したとおり、道路交通による死傷事故率は減少傾向にあるものの未だ高い状況にあります。

- 予防的対応、甚大な被害が発生した地域を再び被災させないためのハード対策を実施するとともにソフト施策との連携による防災・減災対策の実施により、災害に強い安全な地域づくりを進める必要があります。
- 国民が日常的に利用する交通に関して、事故の防止や安全性の向上を図り、日々の生活の安心を確保する必要があります。

#### ④ 中心市街地の空洞化、集落の消滅が危惧される中山間地域等における快適で安心して暮らせる地域づくり

人口規模が小さく基幹産業に乏しい中小都市圏や中山間地域等において、人口減少や労働力の域外流出、中心市街地の衰退が続いています。また、第2節(3)で示したとおり、中山間地域等には多くの小規模高齢化集落が分布しており、そのうち一部の集落は消滅が危惧されている状況です。

- 地域を活性化させ、快適で安心して暮らせる地域づくりを進める必要があります。

#### ⑤ 様々な都市が適度に分散した地域構造に対応した交通基盤の整備

中国地方は、様々な都市が適度に分散した地域構造を形成しています。地域的には、山陰と山陽の人口集積の程度や所得などに格差があります。第2節(4)で示したとおり、ブロック内の人流・物流を支える高速交通基盤は、山陰の整備が非常に遅れています。また、山陽においても高速交通基盤へのアクセス道路の整備が遅れており、地域間の日帰り交流圏のエリアが限られるなど、広域観光資源や国際交流基盤の活用に関する課題を残しています。高速交通基盤の整備の遅れは、産業はもとより住民生活の利便性の面でも山陰と山陽の格差を生じさせる一因となっています。

- 地域間を結ぶ高規格幹線道路等を整備するなど、交流・連携の強化を図る必要があります。

#### ⑥ 「新たな公」を担う住民等との連携

広域化する行政や民間によるサービス提供の限界・効率の低下が懸念される一方、社会の成熟化、社会貢献に対する意識の高まり、価値観の多様化等により、従来行政が担ってきた範囲にとどまらず、幅広い「公」の役割をNPO、企業など多様な主体が担いつつあります。

⇒ 地域のニーズにきめ細かく対応するため、「新たな公」と行政の連携が必要となります。

#### ⑦社会資本ストックの高齢化に対応した適切な維持管理・既存ストックの有効活用

第1節(4)で示したとおり、高度経済成長期を通じて社会資本が着実に整備されてきた結果として、今後、高齢化したストックが急速に増加していくという課題が顕在化しています。

⇒ 適切な維持管理の実施とともに、ICTをはじめとするソフト対策との連携による既存ストックの高度・有効利用が必要となります。

#### ⑧地球温暖化、環境保全への対応

中国地方のエネルギー消費量の全国比は人口比レベルよりも高くなっています。

また、瀬戸内海においては、赤潮の発生件数は近年横ばいで推移するなど、閉鎖性水域の環境保全への対応が課題となっており、第3節(3)で示したとおり、水辺環境を保全するための下水道事業や干潟の整備が遅れている状況です。

⇒ ○地球温暖化をはじめとする地球環境問題への対応が必要となります。  
○瀬戸内海等の閉鎖性水域の環境保全への対応が必要となります。

## 第2章 中国地方の将来像

### 第1節 中国地方の将来像

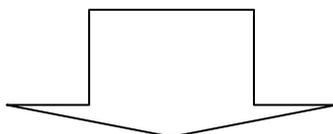
中国圏広域地方計画で設定された「地域の多様性を活かした交流・連携で、持続的に発展する中国圏」、「産業集積や地域資源を活かした新たな挑戦で、持続的に成長する中国圏」、「多彩な文化と自然を活かして、多様で豊かな生活を楽しめる中国圏」の3つの将来像を本計画においても将来像とします。これは、本計画が中国圏広域地方計画に掲げる将来像を社会資本整備の観点から実現しようとすることによるものです。

#### ■中国地方の将来像

中国圏は、古来、大陸文化の橋渡し役を果たすなど、交流を通じて文化・産業の両面にわたり各地で様々な発展をしてきた。それを基盤とした新たな交流・連携により、中国圏全体の持続的発展を目指す。

また、ものづくりを中心とした高度な産業集積や、農林水産物、伝統技術、観光資源などの幅広い地域資源を有する中国圏において、そのポテンシャルを活かし、地球温暖化・エネルギー問題等の対応を含めた新たな挑戦により持続的な経済成長を目指す。

さらに、日本海や瀬戸内海、中国山地などの変化に富んだ自然の中で、中山間地域等と都市地域が一体的な生活圏を形成し、地域性に富む文化を育んできた中国圏において、多様で豊かな生活と仕事をともに楽しめる地域づくりを目指す。



**1. 地域の多様性を活かした交流・連携で、持続的に発展する中国圏**

**2. 産業集積や地域資源を活かした新たな挑戦で、持続的に成長する中国圏**

**3. 多彩な文化と自然を活かして、多様で豊かな生活を楽しめる中国圏**

#### 将来像において横断的に持つべき視点

3つの将来像を実現するうえで、共通して持つべき視点を位置づけます。

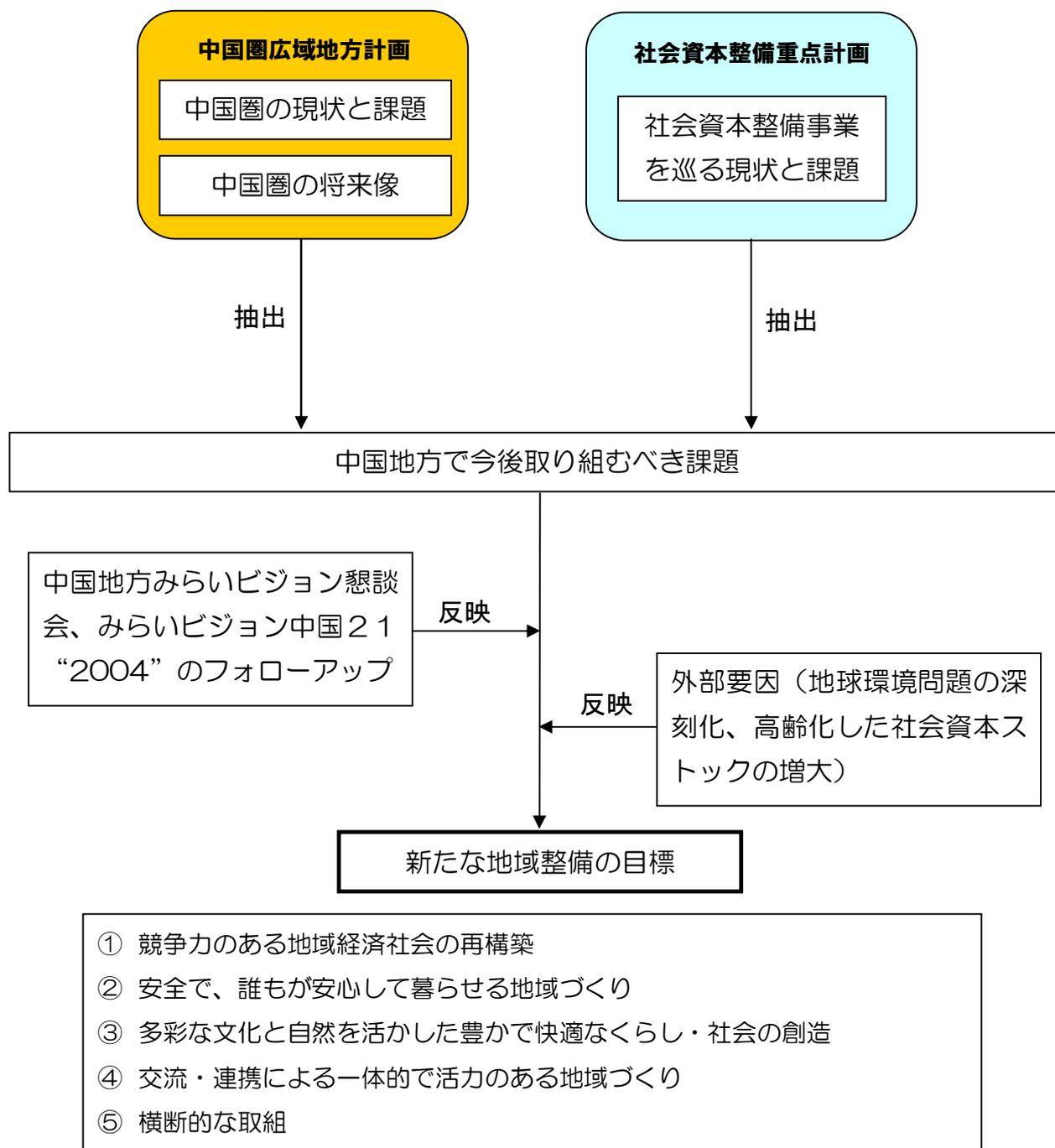
- 多様な人材の育成・確保
- 低炭素・循環型の地域づくり
- 災害に強い国土・地域づくり
- 基幹的交通・情報通信ネットワークの形成
- 生活と産業の場を一体的に捉えた地域戦略

### 第3章 中国地方における社会資本整備の重点事項

#### 第1節 将来像を実現するための地域整備の目標

中国圏広域地方計画における第1章「中国圏の現状と課題」、第2章「中国圏の将来像」、社会資本整備重点計画における第1章「社会資本整備事業を巡る現状と課題」から社会資本整備にかかわる視点を抽出し、中国地方で取り組むべき課題を整理しました。また、みらいビジョン懇談会におけるご意見、みらいビジョン中国21“2004”のフォローアップ等からも社会資本整備にかかわる視点を反映し、地域整備の目標を設定しました。

##### ■地域整備の目標の整理



## 競争力のある地域経済社会の再構築

◆東アジア等との競争・連携による国際的な競争力の一層の強化を図るため、港湾の再生・機能強化、バルク貨物輸送船の大型化への対応などシームレスな貨物輸送ネットワークの構築・高度化により、東アジア等とのゲートウェイ機能を強化する。

◆近畿・四国・九州ブロックを含む中国地方内外との産業連携を図り、中国地方の産業の振興を図るため、海上交通ネットワーク及び陸上の高速交通ネットワークの整備・活用、都市機能の強化を推進する。

◆サービス産業の集積を図るため、サービス産業の活動基盤となる自立拠点都市圏の都市機能の形成を図る。



## 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり

◆中国地方は河川の氾濫区域に人口の約66%が暮らし、全国の土砂災害危険箇所数の約18%を占めるなど水害等に対する脆弱さを内包している。近年の、台風や集中豪雨による甚大な洪水・高潮・土砂災害、地震等の発生や、地球温暖化に伴う気候変化を踏まえ予防的対応、甚大な被害が発生した地域を再び被災させないための対策及びソフト施策との連携による防災・減災対策を推進する。

◆防災拠点整備や災害時の情報収集・伝達体制の充実、ハザードマップの活用、防災教育の推進など地域防災力の向上を図る。

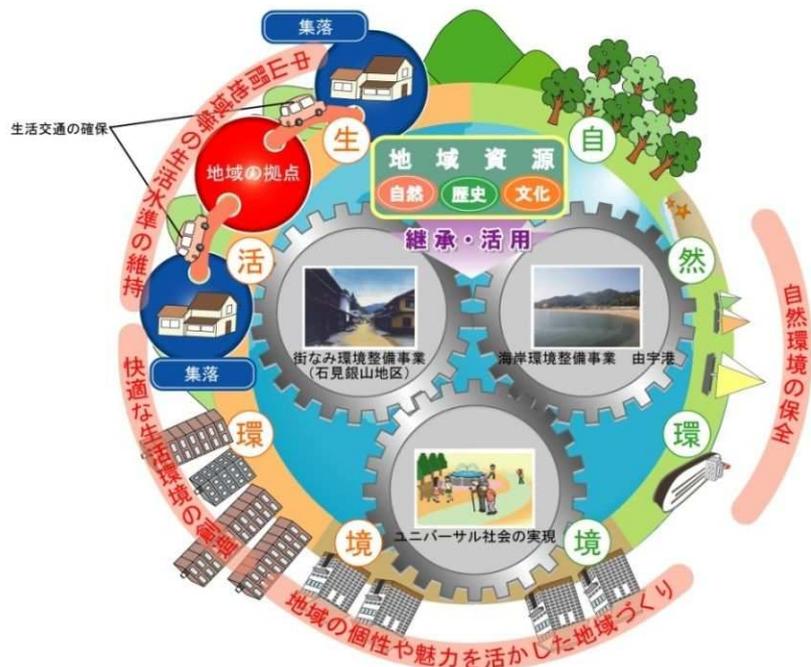
◆少雨に対応した暮らしや産業活動を支える水の安定供給を図る。

◆日々の生活の安心を確保するため、国民が日常的に利用する交通の事故防止や安全性の向上を図る。



## 多彩な文化と自然を活かした豊かで快適な暮らし・社会の創造

- ◆日本海や瀬戸内海、中国山地などの変化に富んだ自然を有する中国地方において、環境負荷低減への取組を進めるとともに、瀬戸内海等の閉鎖性水域において自然環境の保全を図る。
- ◆中国地方は、多様性のある地域で構成されている地域であり、各地域の個性を活かしつつ、広域的に一体感があり、自立的な中国地方を創造するため、地域の個性や魅力の源泉となる歴史、文化、自然、景観などを活かした地域づくりを推進する。
- ◆中山間地域等を多く抱え、全国に先行して人口減少、高齢化が進展している中国地方の特徴を踏まえて、自然環境の保全・管理の充実を図るとともに、誰もが快適で安心して暮らせる都市と中山間地域等の基盤及び生活拠点の形成を図る。



## 交流・連携による一体的で活力のある地域づくり

- ◆中国地方は、様々な都市が分散した地域構造をしており、各都市が役割を發揮して相互に連携強化し、自立的な中国地方の形成を図るため、ブロック内外の人流・物流を支える高速交通基盤の整備を推進する。
- ◆生活、産業等における都市と中山間地域等の多様な交流を拡大するとともに、圏域内外の地域間交流を支える基幹的な交通基盤の整備を推進し、一体的な発展を図る。
- ◆中国地方内外の各地域が連携し、世界遺産や瀬戸内海、日本海等の多様な観光資源を活かした観光振興や外国人観光旅客の来訪の促進を図るため、港湾や空港のグローバルゲートウェイ機能や各地域の拠点都市における国際交流機能を充実・強化する。



## 横断的な取組

- ◆地域のニーズにきめ細かく対応するため、住民やNPO、企業など様々な主体との協働を進めるとともに、今後増大する社会資本ストックに対して、計画的かつ効率的な維持管理を実施する。
- ◆産学官や異分野間の連携を深める技術開発を推進していく仕組み・体制の一層の充実を図り、コスト縮減や事業の迅速化、維持管理の高度化による価値の高い社会資本整備を実現する。
- ◆地球温暖化をはじめとする地球環境問題に対し真剣に取り組み、「低炭素型・循環型社会」の形成を推進する。

## I 競争力のある地域経済社会の再構築

### I-1 東アジア等との競争・連携による国際競争力の強化

- 東アジア等との競争・連携による国際競争力の強化

### I-2 国内交通ネットワークの強化

- 高速交通ネットワーク及び空港・港湾へのアクセス強化による産業の振興

### I-3 都市機能の強化

- (1) 既成市街地整備や交通結節機能強化による都市の再生
- (2) 都市内の渋滞対策による交通の円滑化

## II 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり

### II-1 災害の防止・軽減

- (1) 洪水、高潮、地震、急傾斜地の崩壊等による被害の未然防止
- (2) 災害等の発生時における社会活動への深刻な影響の防止

### II-2 地域防災力や危機管理体制の強化

- 災害・防災情報の提供や共有化等の充実による地域防災力の向上と危機管理体制の強化

### II-3 安定的な水資源の確保

- 水資源の確保による暮らしや産業活動を支える水の安定供給

### II-4 陸上及び海上における交通安全の向上

- 陸上及び海上における交通安全の向上

### III 多彩な文化と自然を活かした豊かで快適な暮らし・社会の創造

#### III-1 瀬戸内海や日本海等の地域資源を活かした美しく豊かな地域づくり

- (1) 瀬戸内海等への環境負荷低減等による美しく豊かな自然環境や景観等の実現
- (2) 瀬戸内海をはじめとする自然・歴史・文化等の地域資源を活用した地域づくり

#### III-2 良好な都市空間の形成

- (1) 静脈物流ネットワークの構築等による循環型社会の創出
- (2) 地域の状況に応じた良好な道路環境の創出
- (3) 水・緑豊かで美しい都市生活空間の形成

#### III-3 少子高齢社会に対応したユニバーサル社会の実現

- 少子高齢社会に対応したユニバーサル社会の実現

#### III-4 中山間地域等の居住環境の向上や生活サービスの充実

- 中山間地域等の居住環境の向上や生活サービスの充実

### IV 交流・連携による一体的で活力のある地域づくり

#### IV-1 都市間の連携強化や都市と中山間地域等の共生

- (1) 山陰と山陽及び分散した都市間等の連携強化
- (2) 都市間や都市と中山間地域等の多様な交流の拡大

#### IV-2 広域観光の促進

- 空港や港湾などの国際交流拠点機能の強化による広域観光の促進

## V 横断的な取組

### V-1 社会資本整備の効率化や社会資本ストックの有効活用

- (1) 様々な主体との協働や戦略的な維持管理・更新等による社会資本の有効活用
- (2) 産学官の技術連携の支援及び新技術・新工法の活用

### V-2 地球環境問題への対応

- 地球温暖化をはじめとする地球環境問題への対応

## 第4章 重点目標達成のための取組

### 第1節 競争力のある地域経済社会の再構築

#### 目標 1-1

#### 東アジア等との競争・連携による国際競争力の強化

##### ●東アジア等との競争・連携による国際競争力の強化

- ・コンテナターミナルや多目的国際ターミナルの整備、瀬戸内海における航路体系の再構築等を実施し、シームレスな輸送ネットワークを確立する。
- ・輸送コストの削減を図り、国際競争力を強化する。

#### 目標 1-2

#### 国内交通ネットワーク強化

##### ●高速交通ネットワーク及び空港・港湾へのアクセス強化による産業の振興

- ・高規格幹線道路や地域高規格道路などの整備を進め、国内交通ネットワークを強化する。
- ・空港、港湾、鉄道駅へのアクセス向上、国際コンテナ通行支障区間の解消を進め、産業の振興を図る。
- ・ITSの活用を推進し、物流の円滑化を図る。

#### 目標 1-3

#### 都市機能の強化

##### (1) 既成市街地整備や交通結節機能強化による都市の再生

- ・既成市街地における民間都市開発を促進し、地域経済の振興を図る。
- ・土地区画整理事業や市街地再開発事業などによる土地の有効・高度利用を推進し、防災機能の向上や生活環境の改善を図る。
- ・主要な駅周辺において、駅前広場やアクセス道路等の整備改善を進め、都市内移動の快適性・利便性の向上を図る。

##### (2) 都市内の渋滞対策による交通の円滑化

- ・交通容量拡大策やTDM(交通需要マネジメント)施策等の都市内の渋滞対策を総合的に実施し、交通の円滑化及び物流の効率化を図る。

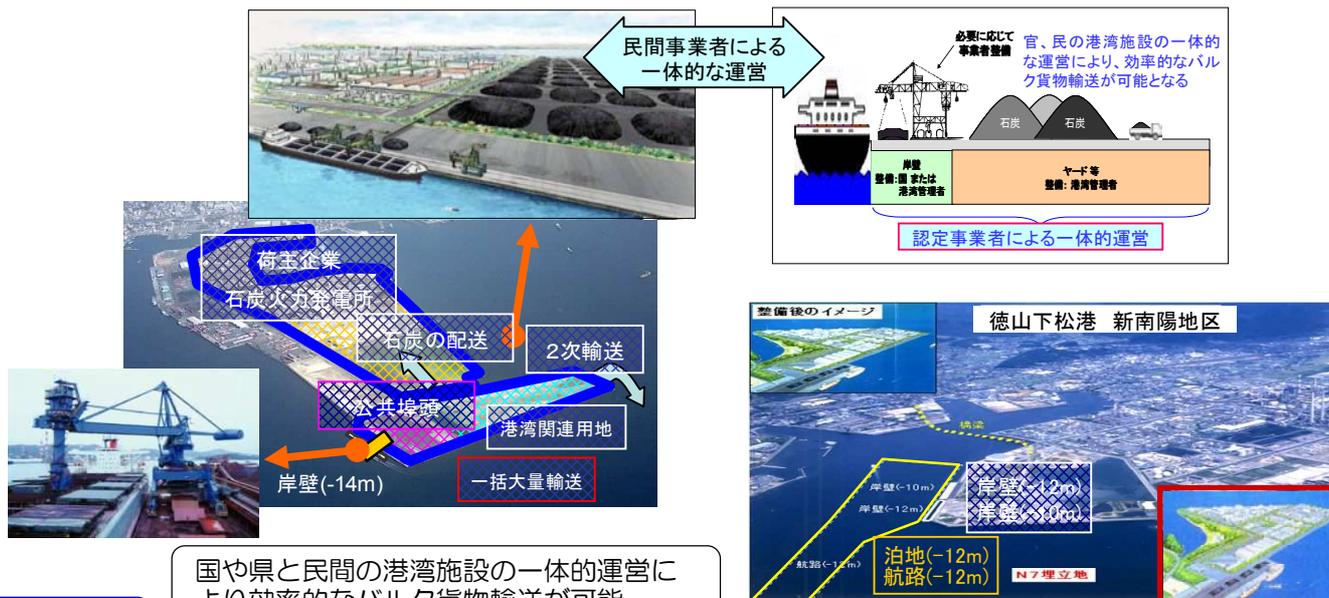
## 東アジア等との競争・連携による国際競争力の強化

### ●東アジア等との競争・連携による国際競争力の強化

【アウトカム指標】 港湾による輸出入貨物の輸送コスト削減率……………0%(H19) → 約20%(H24)  
 港湾関連手続のシングルウィンドウ化率……………0%(H19) → 100%(H24)

### 取組 海上輸送の効率化

暫定航路の増深による大型船舶を利用した原材料入荷コストの削減や、大型岸壁と貨物ヤード等の一体的運営によりバルク貨物輸送を可能にするなど、ダイレクト輸送の向上に向けた港湾拠点の機能強化を推進することでシームレスな輸送ネットワークを確立し、海上輸送を効率化します。



国や県と民間の港湾施設の一体的運営により効率的なバルク貨物輸送が可能

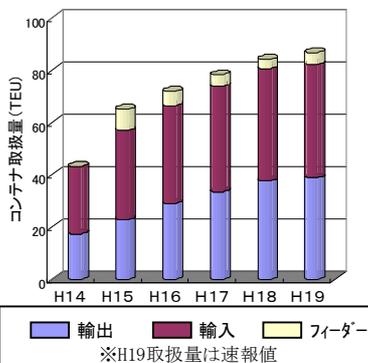
### 具体事例

福山港箕沖地区において既存岸壁の能力不足により他港や小規模岸壁利用といった非効率な輸送を余儀なくされており、今後の需要に対応できない状態にあります。本事業は、地域経済の国際競争力を阻害する施設不足を解消するため、多目的国際ターミナルの整備を進めています。

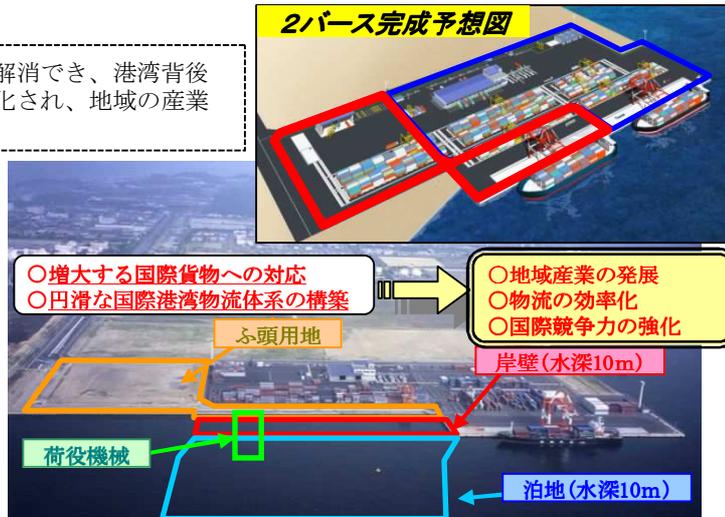
#### ◆多目的国際ターミナル整備事業 福山港箕沖地区（広島県福山市）

##### 整備効果

本事業により既存岸壁の能力不足が解消でき、港湾背後に立地する主要企業の産業競争力が強化され、地域の産業及び経済の振興が期待されます。



##### 2バース完成予想図



#### 〔具体的な施策例〕

航路整備(重要港湾以上において、計画水深を確保している港数) …… 8港(H19) → 10港(H24) → 17港(将来)  
 多目的ターミナル整備 …… 36箇所(H19) → 40箇所(H24)

## 国内交通ネットワーク強化

●高速交通ネットワーク及び空港・港湾へのアクセス強化による産業の振興

【アウトカム指標】規格の高い道路を使う割合	13% (H19)	→ 約2割増 (H24)
高速道路等ICの30分カバー率	72% (H19)	→ 73% (H24)
拠点的な空港・港湾の高速ICへのアクセス率	38% (H19)	→ 50% (H24)

### 取組 人・モノの効率的な移動の支援

近年、経済活動の広域化が進展するとともに、東アジア諸国の経済成長により国際競争が激化する中、人・モノの広域的・効率的な移動や、国際競争力の強化を支援するため、幹線道路ネットワークの整備を進めるとともに、空港や港湾に連結するアクセス道路の整備を推進します。

#### 具体事例1

中国横断自動車道姫路鳥取線は、姫路市を起点に兵庫県・岡山県・鳥取県の3県を結び鳥取市に至る、延長約86kmの高規格幹線道路です。姫路鳥取線の整備により人流・物流が効率化され、関西圏や経済発展がましい北東アジアとの連携強化による経済・産業の振興が期待されます。

##### ◆中国横断自動車道 姫路鳥取線



中国横断自動車道姫路鳥取線(佐用～西粟倉間 岡山県美作市)



鳥取市～大阪市間の所要時間  
3時間20分 → 2時間30分

姫路鳥取線の整備により、関西圏への所要時間が大幅に短縮

#### 具体事例2

呉港阿賀マリノポリス地区において、広島中央テクノポリス地区から発生する貨物を建設中の東広島呉自動車道経由で海上輸送に接続させ、効率的に輸送するための臨港道路の整備を進めています。

##### ◆臨港道路整備事業 呉港阿賀地区 (広島県呉市)

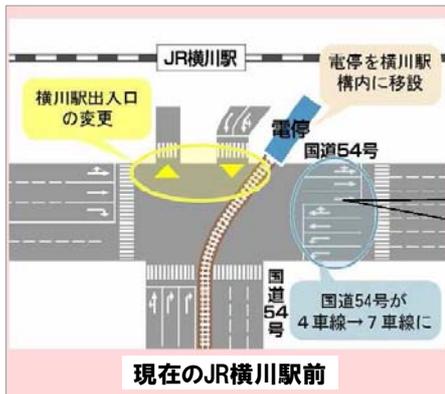
既存のアクセス道は住宅地を通過し、狭隘でトレーラーの通行が困難



本事業により、広域的な交通ネットワークの形成と陸上輸送から海陸複合一貫輸送へのシフトによる物流コスト削減、大型車の輸送路確保による物流の効率化、利便性が向上

取組1 交通結節点の改善

中核的な都市機能の強化を目指し、駅前広場、自由通路及び自転車駐輪場などの駅周辺の施設を一体的・総合的に整備し、駅前交差点を中心として発生している慢性的な交通渋滞の解消等に取り組むことで公共交通の乗り継ぎ等利便性の向上を図ります。



駅前広場の整備により乗り継ぎの利便性が向上

公共交通機関の整備支援や交通結節点の整備により、都市内の移動を円滑化

具体事例

岡山駅周辺は、JR線により市街地が分断され、駅の東西で土地利用の格差が著しく、また西口の駅前広場が手狭なため、鉄道やバスを乗り継ぐ結節機能が十分でない状況です。本事業は、駅の東西連絡通路及び西口広場の拡張及び施設の再編を行い、駅周辺の一体的な市街地整備と交通結節機能の強化を図ります。

◆交通結節点の改善 岡山駅地区（岡山市）

駅前広場が手狭なため、タクシー等の自動車が輻輳する駅西口広場



西口広場（整備前）



岡山駅西口駅前広場イメージパース

【施設名】	【現況】	【整備後】
広場面積	約4,000m <sup>2</sup>	約13,500m <sup>2</sup>
バス乗降場	2箇所	9箇所
バス駐車場	—	3台
タクシー乗降場	1箇所	3箇所
タクシー駐車場	16台	21台
一般乗降場	2箇所	7箇所
一般者駐車場	10台	12台
障害者乗降場	—	2箇所
障害者駐車場	—	2台
緊急乗降場	—	1箇所
送迎バス乗降場	2箇所	2箇所

取組2 都市再生

中核的な都市機能の強化を目指し中心市街地等の既成市街地における民間都市開発を促進し、地域経済の振興を図るとともに、防災機能の向上や生活環境の改善を目的として土地区画整理事業や市街地再開発事業などによる土地の有効・高度利用を推進します。

具体事例1

ふるさとの顔づくりモデル土地区画整理事業を活用し、廿日市市の東の玄関口にふさわしい賑わいあふれる空間と、歴史や自然の地域資源を活かした緑豊かな安らぎの空間が共存した、魅力ある市街地が形成され、あわせて、良好な居住環境の創出を図ります。

◆市街地整備による都市の再生 廿日市駅北地区（広島県廿日市市）

完成イメージ(駅前)



幹線道路や駅前広場の一体的な整備により、JR廿日市駅へのアクセスを改善し、交通結節機能を強化



賑わいあふれる空間と、歴史や自然の地域資源を活かした緑豊かな安らぎの空間が共存した魅力ある市街地の形成と良好な居住環境を創出

完成模型

具体事例2

広島駅新幹線口広場に隣接する若草町地区において、広島市の新都心成長点にふさわしい業務、商業、都心居住などの複合機能の導入を図り、広島駅新幹線口地区に活気にぎわいに満ちた新たなシンボル空間を創出するため、市街地再開発事業を推進します。また、安全・安心なまちづくりを進めるため、市営若草住宅の建替えにより遊休地化した土地の有効活用を図り、敷地の整形化や建築物の不燃化対策を行います。

◆市街地整備による都市の再生 若草町地区（広島市）

位置図



完成イメージ

【アウトカム指標】 渋滞による損失時間……………約269万人時間/年(H19) → 約1割減(H24)

取組 都市内交通の円滑化

バイパス整備等の交通容量拡大施策、TDM（交通需要マネジメント）施策やマルチモーダル施策等を総合的に推進し、経済活動の支援を含めた物流等の効率化を図ります。

交通円滑化施策

交通容量拡大施策

【主な施策】

- 津ノ井バイパス
- 鳥取環状道路
- 松江第五大橋道路
- 岡山西バイパス
- 倉敷立体
- 広島南道路(広島高速3号線)
- 府中仁保道路(広島高速2号線)
- 廿日市立体
- 周南立体
- 下関拡幅



バイパスの整備

TDM(交通需要マネジメント)施策

【主な施策】

- 時差通勤、ノーマイカーデーの推進
- 相乗りの推進
- 信号制御見直し、交通規則の変更
- 交通結節点の整備
- 情報提供装置の整備
- 自転車の利用促進
- バスレーン、バス優先信号の導入



時差出勤



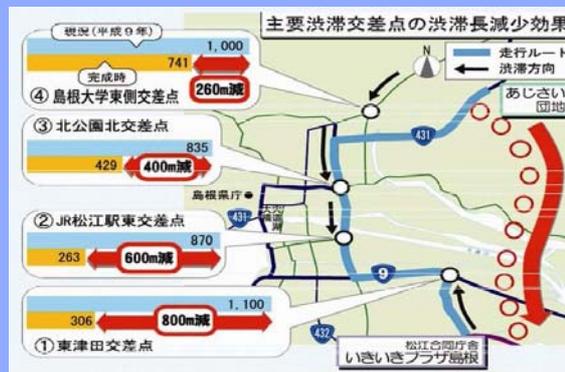
ノーマイカーデーの推進

具体事例

松江第五大橋道路は、地域高規格道路・境港出雲道路の一部を構成し、山陰道とともに宍道湖・中海圏域の8の字ルートをつくり、圏域の一体化を図る道路で、一般国道485号の慢性的な渋滞の緩和を目的とした、松江市下東川津町から松江市東津田町に至る延長約5.2kmの4車線道路です。

◆一般国道485号 松江第五大橋道路（島根県）

松江市街中心部の4つの橋で慢性的な渋滞が発生



松江第五大橋道路の整備により、渋滞を大幅に解消

## 第2節 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり

### 目標Ⅱ-1

### 災害の防止・軽減

#### (1)洪水、高潮、地震、急傾斜地の崩壊等による被害の未然防止

- ・河川改修、高潮対策、都市浸水対策や土砂災害対策を実施し、災害に強い基盤づくりを推進することにより、被害を未然に防止する。
- ・土地利用方策や雨水流出抑制策など、地域特性にあった、より効果的な治水対策を実施する。
- ・災害発生時に避難が困難となる地域の住民に対して、より安全な地域への移住を勧めるなど、人命被害の予防策を行う。

#### (2)災害等の発生時における社会活動への深刻な影響の防止

- ・災害や重大事故等の発生時においても機能するように社会資本整備を推進し、住民生活や経済活動への深刻な影響の防止を図る。

### 目標Ⅱ-2

### 地域防災力や危機管理体制の強化

#### ●災害・防災情報の提供や共有化等の充実による地域防災力の向上と危機管理体制の強化

- ・大規模な地震や津波、原子力発電所において事故が発生した場合等の広域災害が発生した際の応援・救援体制の維持・強化を図る。
- ・災害時の避難が的確に行えるための支援や自助・共助による活動により、地域防災力の向上を図る。
- ・関係機関の情報の共有化や樋門・水門等の遠隔操作による開閉の自動化等、公助の推進により、危機管理体制の強化を図る。

### 目標Ⅱ-3

### 安定的な水資源の確保

#### ●水資源の確保による暮らしや産業活動を支える水の安定供給

- ・新規施設の整備、既存施設の有効活用等により水資源の確保を推進し、暮らしや産業活動を支える水の安定供給を図る。

### 目標Ⅱ-4

### 陸上及び海上における交通安全の向上

#### ●陸上及び海上における交通安全の向上

- ・道路交通システムの構築や交通安全対策事業を進め、公共空間における移動の円滑化を図る。
- ・プレジャーボート等の放置を規制するとともにボートパークの整備等を進め、海上交通や海洋性レクリエーション活動、漁業活動等の安全・円滑化を図る。

災害の防止・軽減

(1)洪水、高潮、地震、急傾斜地の崩壊等による被害の未然防止

【アウトカム指標】 洪水による氾濫から守られる区域の割合	56%(H19)	→	61%(H24)
土砂災害から保全される人口	約42万人(H19)	→	約45万人(H24)
土砂災害から保全される人命保全上重要な施設数	約220施設(H19)	→	約310施設(H24)
津波高潮による災害から一定の水準の安全性が確保されていない地域の面積	約17,000ha(H19)	→	約15,200ha(H24)
侵食海岸において現状の江線防護が完了されていない割合	約29%(H19)	→	約23%(H24)
下水道による都市浸水対策達成率	約48%(H19)	→	約51%(H24)
重点的な投資により浸水被害の解消を図る戸数	約2,900戸(H19)	→	約4,700戸(H24)
河川堤防質的整備の優先対策区間における対策済み区間の割合	約24%(H19)	→	100%(H24)

取組 災害から生活を防衛

築堤や護岸整備等の河川改修やダム建設、海岸の高潮対策、下水道事業による都市浸水対策や急傾斜地の崩壊等を防ぐ土砂災害対策を実施し、災害に強い基盤づくりを推進することにより、被害を未然に防止します。

具体事例1

斐伊川・神戸川水系において、「上流のダム建設、中流の放水路建設と斐伊川本川の改修、下流の大橋川改修と中海・宍道湖の湖岸堤整備」により総合的に沿川の洪水被害の防止を図り、災害に対して強い地域づくりを推進します。

◆斐伊川・神戸川の治水対策(3点セット)



堤防の建設と川の拡幅により、洪水を安全に流下

放水路の開削により、斐伊川の洪水の一部を神戸川に流し、宍道湖に流れ込む水量を大幅に低減

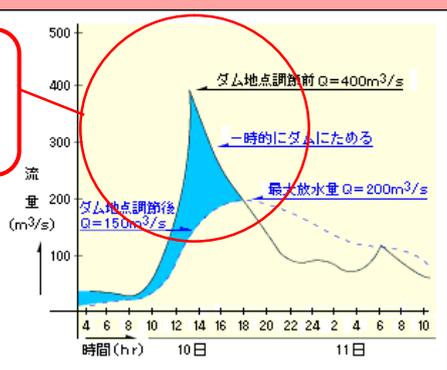
洪水の一部をダムで貯めて、下流への放流量を低減

具体事例2

鳥取平野の中央を流れる千代川流域では、洪水がたびたび起きています。千代川流域の洪水対策のために、河川改修とダムによる洪水調節を組み合わせた沿川の安全性を確保する計画がたてられました。殿ダムは、水害から生活を守るダムとして完成を目指し事業を推進します。

◆特定多目的ダム建設事業 殿ダム(鳥取県鳥取市)

洪水調節として、ダム地点の計画洪水流入量 $400\text{m}^3/\text{s}$ のうち $250\text{m}^3/\text{s}$ をダムに貯め、残りの $150\text{m}^3/\text{s}$ を放流

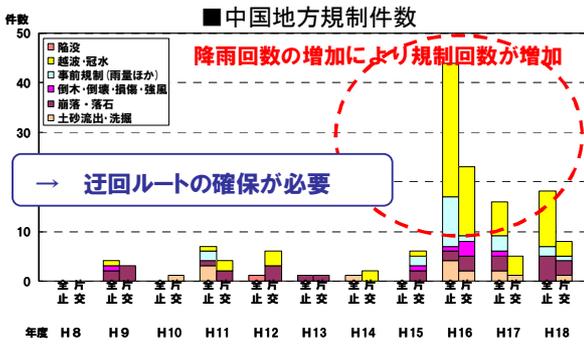


殿ダム完成イメージ

【アウトカム指標】 要防災対策箇所等対策率 ..... 13%(H19) → 54%(H24)

取組1 災害時に生命線となる道路を確保し、安全で安心な生活を支援

豪雨等の自然災害や重大事故等が発生した場合でも、信頼性の高い安全・安心な生命線道路となる幹線道路を計画的に整備することで、災害の影響を最小限にとどめます。



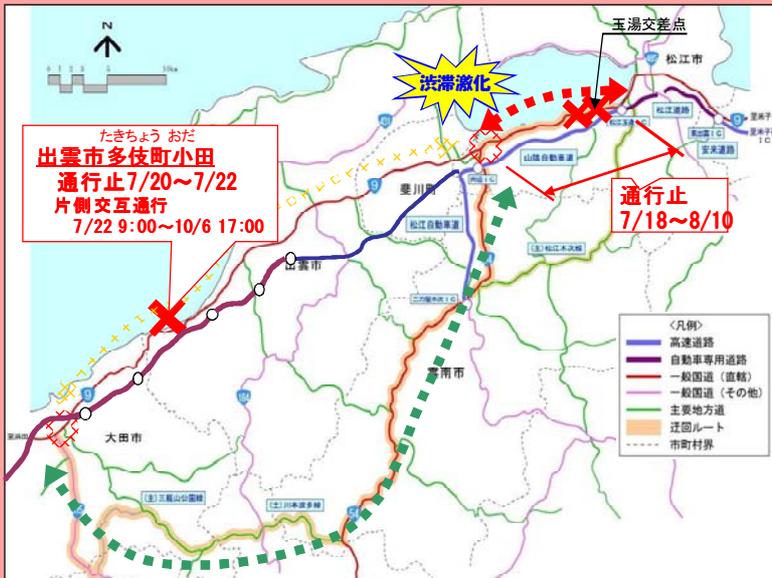
近年、集中豪雨や台風の上陸により50mm以上の降雨回数が増加。これに伴い、通行規制区間の規制回数も増加傾向



具体事例

H18. 7豪雨災害により、国道9号が全面通行止めとなり、大きな迂回が必要となりました。山陰道の整備により、災害時のリダンダンシーが確保され、交通の信頼性・安全性が期待されます。

◆ H18. 7豪雨災害発生時の迂回状況の推計



国道9号(出雲市多伎町小田地内)被災状況

通行止め期間中は地域活動が麻痺

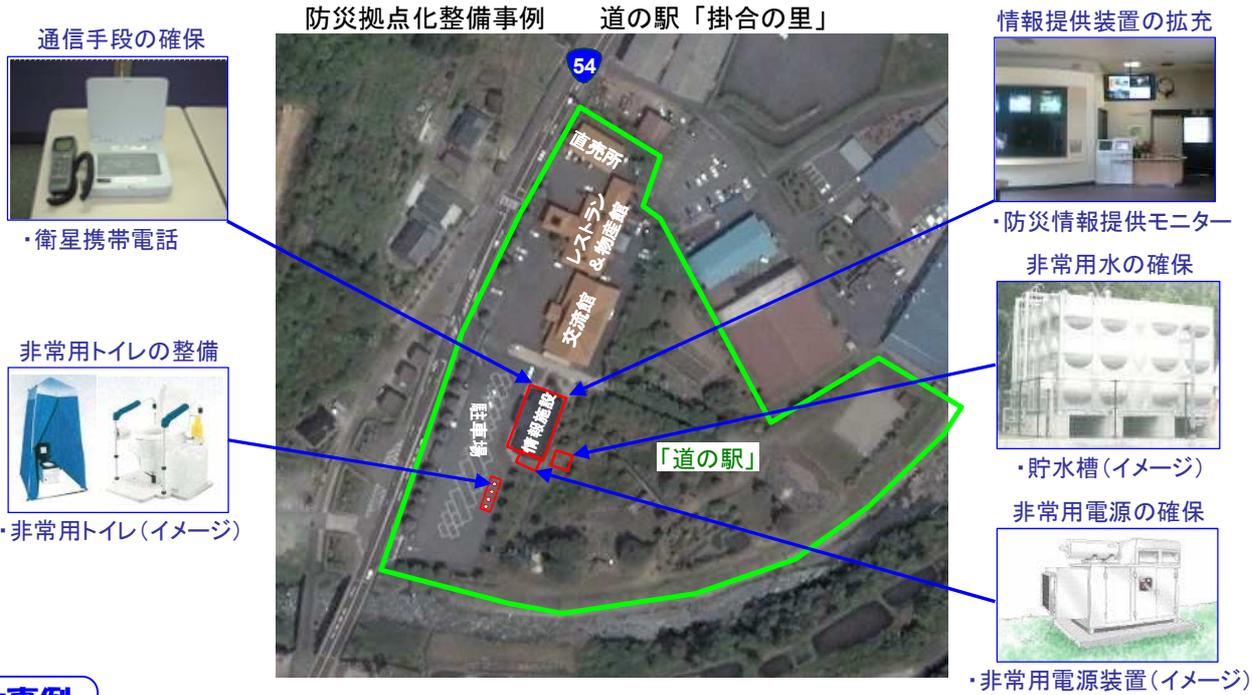
【所要時間】		【走行距離】	
国道9号	約70分	国道9号	約50km
迂回路	約110分	迂回路	約90km

Red starburst icons indicate a 1.6x increase in time and a 1.8x increase in distance for the detour route.

※リダンダンシー：災害等で道路の一部区間が途絶しても道路全体の機能が損なわれないための代替路

取組2 災害時に拠点となる施設を整備し、安全で安心な生活を支援

度重なる災害への対応の観点から、被災後、地域住民の避難場所、道路の速やかな復旧支援、及び道路利用者・地域住民の速やかな日常生活への復帰支援を行うため、各地域の実情に合わせ「道の駅」の防災機能の拡充を進めます。



具体事例

益田市街地は高津川と益田川に挟まれた平野部で、過去の洪水では甚大な被害を受けました。このため、現在施工中の益田道路（国道9号）事業、益田市の土地区画整理事業とも調整を図り、円滑かつ効果的な水防活動及び緊急復旧活動を行うための防災拠点の整備を推進しています。

◆河川防災ステーション（島根県益田市）



洪水等の災害時だけでなく、平常時においても、防災教育や河川事業PRのための河川管理者と地域住民との交流の場、レクリエーションの場などの機能として使用

**防災ステーションの機能**

災害発生時

災害支援物資の備蓄基地、災害情報の集配配信、水防団等の活動拠点、物心輸送の基地機能等の水防活動を支援する拠点となる

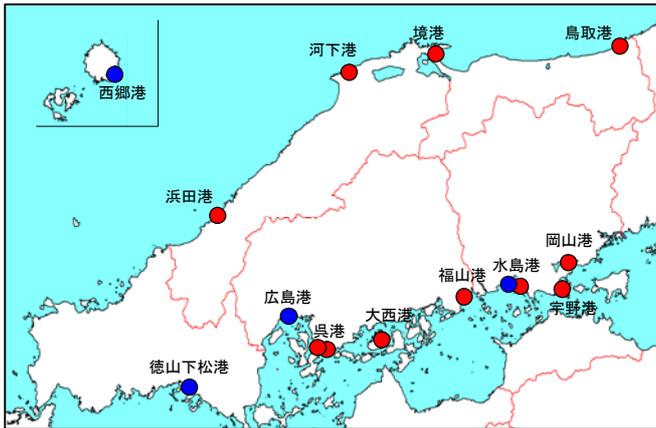
平常時

- ・雨量、水位、水位予測等、洪水時に必要な情報の共有と、地域住民への情報発信を行う
- ・水防訓練、関係機関との連絡体制の確認等、水防体制の充実を図る

【アウトカム指標】 港湾による緊急物資供給可能人口 …………… 約53万人(H19) → 約70万人(H24)

取組3 震災時に住民生活や経済活動を確保

大規模地震発生時における避難者や緊急物資の輸送の確保や物流機能維持を図るため、既存の港湾施設の耐震化や耐震強化岸壁の整備等を推進します。



耐震強化岸壁とは

- 大規模地震が発生した場合、被災者の避難及び緊急物資の輸送拠点となる重要な役割となる施設
- 被災地の復旧・復興の支援拠点となり、建設資材等のヤードとして利用できる
- 国内海上幹線物流機能を維持し、地域経済の安定的な確保ができる

凡 例

- : 平成20年度までに緊急物資の受け入れが可能となった港湾
- : 整備中の港湾

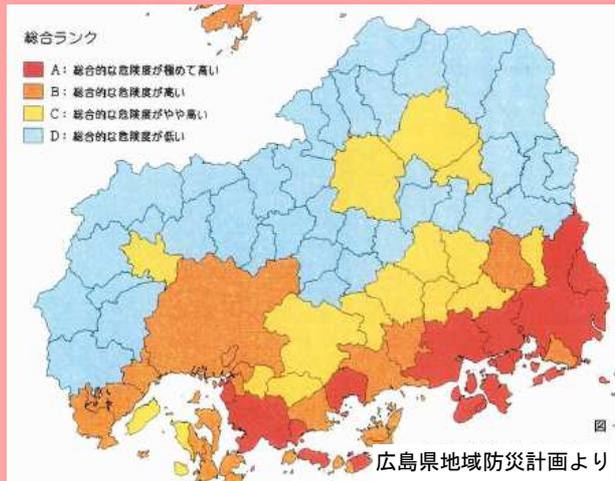
具体事例

福山港の背後圏には鉄鋼関係、食品関係やアパレル関係の企業が多数立地しています。これらの企業は福山港を利用して中国から食材や衣類等をコンテナで輸入しており、その取扱貨物量は年々増加しています。これらの地域経済を支援するため、福山港箕沖地区において水深-10m岸壁を有す多目的国際ターミナルの整備を行い、その際、大規模地震時に緊急物資及び避難者の海上輸送等を確保することを目的とした耐震強化岸壁としての効果も付加させています。

◆耐震強化岸壁の整備 福山港（広島県福山市）



供用した耐震強化岸壁



総合ランク

- A: 総合的な危険度が極めて高い
- B: 総合的な危険度が高い
- C: 総合的な危険度がやや高い
- D: 総合的な危険度が低い

広島県地域防災計画より

大規模地震発生時において、約12万人の被災人口が想定される福山地域に対して、地震に対する安定性が高い海上輸送を利用した緊急物資等の供給が可能な拠点が整備され、市民生活・地域経済社会に寄与することができます。

〔具体的な施策例〕

耐震強化岸壁 …………… 11港(H19) → 14港(H24) → 25港(将来)

地域防災力や危機管理体制の強化

●災害・防災情報の提供や共有化等の充実による地域防災力の向上と危機管理体制の強化

【アウトカム指標】 ハザードマップを作成・公表し、防災訓練を実施した市町村の割合

●洪水	.....	19%(H19) → 100%(H24)
●内水	.....	約0%(H19) → 100%(H24)
●土砂	.....	46%(H19) → 100%(H24)
●津波・高潮	.....	約5割(H19) → 約7割(H24)
土砂災害特別警戒区域指定率	.....	約20%(H19) → 約80%(H24)

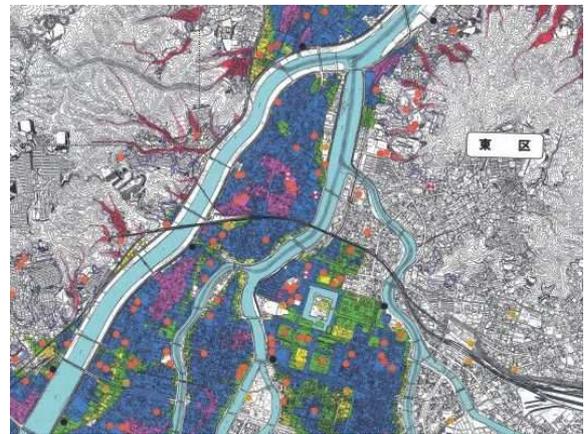
取組 防災情報提供による地域防災力の強化

地域防災力の向上を図るうえで重要である、自助・共助による活動を更に促進させるため、浸水想定区域図（ハザードマップ）を作成し、洪水時に浸水が想定される区域及びその水深を示すことによって、避難場所の設定を行い、これにより住民の円滑かつ迅速な避難の実施など効果的な住民の避難の確保を図ります。  
また、道路緊急ダイヤルやコンビニエンスストアを窓口として道路の異常を管理者へ通報するロード・セーフティステーションの取組を推進し、利用者与管理者の情報共有のリアルタイム化を図り、官民の連携による地域防災力の強化を推進します。

■地域防災力向上、危機管理体制強化のイメージ



■ハザードマップの公表



具体事例

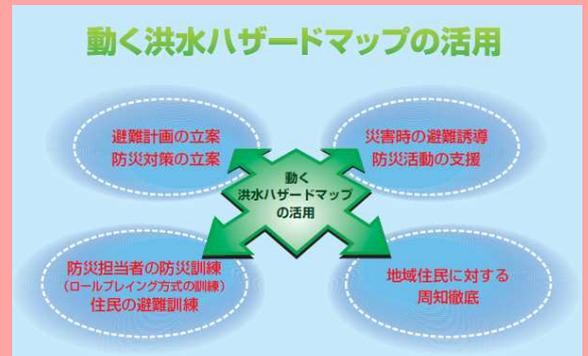
ホームページ、携帯等による防災情報の提供やハザードマップの作成・普及を推進しています。「動く洪水ハザードマップ」は、パソコン上で自ら氾濫シミュレーションを行い、その結果を画面上に動的に表示するもので、擬似的に洪水を体験することができ、災害発生時における住民の自主的な避難活動の意識啓発に寄与します。

◆災害情報の提供 ～携帯電話の活用～

【道路情報メールサービス】  
「Michi@メール」、「とうげんきょう」にて、アドレス登録者に通行規制情報、気象情報、気象観測情報、路面状況、積雪等をメール配信  
○アドレス登録者；約2,400人



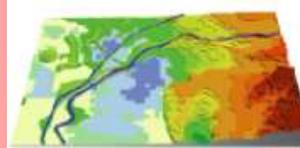
◆自主防災の意識啓発 ～ハザードマップの活用～



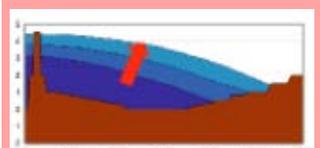
◆災害情報の提供～インターネットの活用～



中国地方整備局ホームページの潮位情報  
(<http://cgr.mlit.go.jp/saigai2/html/cyoui/index.htm>)



内水氾濫と氾濫流の表示



任意の経路上の浸水状況を動的に表示

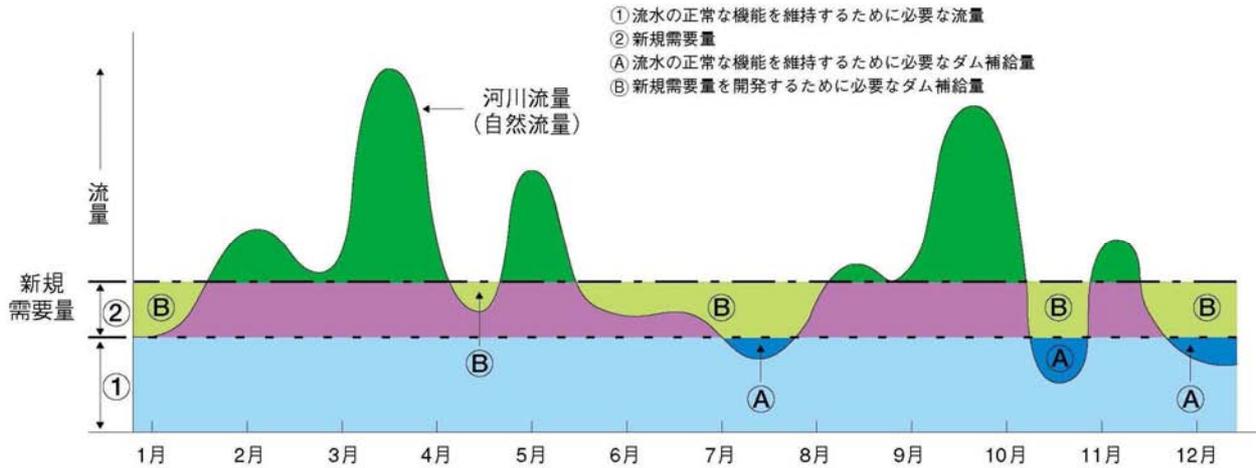
安定的な水資源の確保

●水資源の確保による暮らしや産業活動を支える水の安定供給

【アウトカム指標】 新たな水道用水・工業用水の確保 …… (H19) → 1日約12万トン(H24)

取組 渇水時等にも安定して水を供給

ダムによって、河川の流量が豊かな時には水を貯留し、必要な流量が不足している時には水を供給して、年間を通して安定的に利用できる流量を増加させることで、新たな水資源の開発を行います。



水道用水



工業用水

具体事例

斐伊川治水事業3点セットの一つである尾原ダムは、複数の目的をあわせ持つ多目的ダムです。斐伊川流域の洪水ピークの低減、ダム下流流域の既得取水の安定化及び河川環境の保全のための流量確保、また、島根県東部地域の3市1町に対し、水道用水を供給するといった役割を担っています。

◆特定多目的ダム建設事業 尾原ダム(島根県雲南市、奥出雲町)

尾原ダム完成イメージ図



島根県東部地域の3市1町に対し、最大 **38,000m<sup>3</sup>/日** の水道用水を新たに供給

【アウトカム指標】 道路交通における死傷事故率 …………… 87件/億台km(H19) → 約1割削減(H24)

取組 交通安全の確保

幹線道路の安全性を効率的・効果的に高めるため、事故率の高い事故危険箇所（中国地方内：○○○箇所）の整備を重点的に進めることで、総合的な交通安全対策を推進します。

■交差点における事故危険箇所対策イメージ



■あんしん歩行エリアの整備イメージ



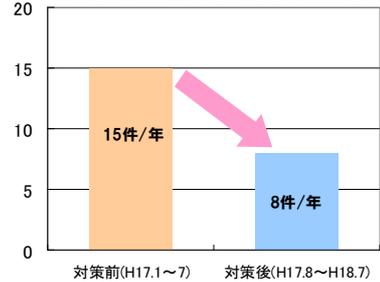
具体事例

事故危険箇所において、予告矢印の路面標示や進路変更禁止区分線による車線区分の明確化、歩行者注意の路面表示を設けることにより、交差点における自動車の追突事故件数および歩行者、自転車事故件数の減少を目指します。

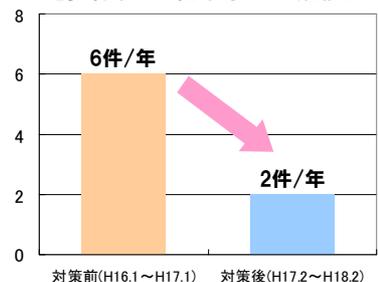
◆事故危険箇所対策事業 一般国道54号 白神社前交差点（広島市）



【対策前後の追突事故件数の推移】



【歩行者・自転車事故の推移】



※対策前の期間はH17年1～7月であるため1年換算しており実件数は9件

### 第3節 多彩な文化と自然を活かした豊かで快適な暮らし・社会の創造

#### 目標Ⅲ－1

#### 瀬戸内海や日本海等の地域資源を活かした 美しく豊かな地域づくり

##### (1) 瀬戸内海等への環境負荷低減等による美しく豊かな自然環境や景観等の実現

- ・下水道整備や河川環境整備、干潟の再生と保全などを推進し、美しく豊かな自然とのふれあいの場や健全な自然環境を創出するとともに、環境教育を推進する。
- ・人工リーフの設置や環境配慮型護岸への改良などにより、良好な景観を保つ。

##### (2) 瀬戸内海をはじめとする自然・歴史・文化等の地域資源を活用した地域づくり

- ・歴史国道やまちなみ環境、みなとまちづくり等の取組により、自然・歴史・文化等の地域資源を活用した地域づくりを目指す。

#### 目標Ⅲ－2

#### 良好な都市空間の形成

##### (1) 静脈物流ネットワークの構築等による循環型社会の創出

- ・効率的な静脈物流網の構築や廃棄物処理対策、建設副産物リサイクルを促進し、循環型社会の形成を目指す。

##### (2) 地域の状況に応じた良好な道路環境の創出

- ・交通流対策、道路構造対策、土地利用の転換などにより、沿道環境の改善を図る。

##### (3) 水・緑豊かで美しい都市空間の形成

- ・市街地における公園緑地や建築物の屋上緑化、公共賃貸住宅等の整備を推進し、魅力ある美しい都市生活空間の形成を目指す。

#### 目標Ⅲ－3

#### 少子高齢社会に対応したユニバーサル社会の実現

##### ●少子高齢社会に対応したユニバーサル社会の実現

- ・旅客ターミナルなどの交通結節点や都市公園などの公共空間及び住宅・建築物等におけるユニバーサル社会の実現に向けた取組を促進する。

#### 目標Ⅲ－4

#### 中山間地域等の居住環境の向上や生活サービスの充実

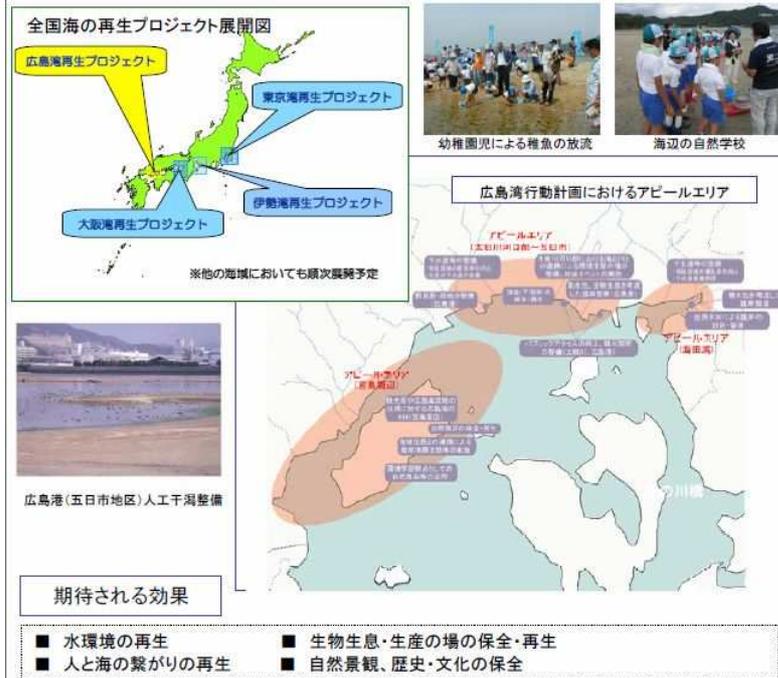
##### ●中山間地域等の居住環境の向上や生活サービスの充実

- ・中山間地域・離島等において幹線道路、下水道、港湾の整備、生活サービス機能の集約化等を推進し、居住環境の向上を図る。
- ・道の駅、みなとオアシス等地域拠点としての活用、コミュニティバス等の導入、離島航路の維持等地域のニーズに応じた公共交通の活性化・再生を推進し、生活サービスの充実を図る。

【アウトカム指標】 失われた自然の水辺のうち、回復可能な干潟の中で再生した水辺の割合  
 (港湾関連分のみで湿地を含まない) ..... 21%(H19) → 34%(H24)

取組1 自然とのふれあいの場の創出

「森・川・海の健やかな繋がりを活かし、恵み豊かで美しく親しみやすい「広島湾」を保全・再生し、次世代へ継承する」を目標とする、広島湾再生行動計画を策定しました。多様な主体の連携・協力のもと、藻場や干潟の再生、河川における水質改善等、自然環境を保全・再生する事業を推進します。



具体事例1

海域そのものや水産資源の育成環境の改善を図るため、港湾・水産部局が連携して干潟の造成を行います。主たる干潟造成材料として、徳山下松港港湾整備事業で発生する水底土砂を有効に活用します。また計画設計面では、アサリの生育特性や順応的管理などに配慮しています。

◆水底土砂を有効に活用した干潟造成（山口県周南市）



干潟造成により水底質環境の改善と水産資源を含む生物の多様性が向上。また、市民の自然との触れ合いや学童の環境学習の場として活用

〔具体的な施策例〕

湿地・干潟の再生面積 ..... 52ha(H19) → 82ha(H24)

【アウトカム指標】 下水道処理人口普及率 …………… 約58% (H19) → 約65%(H24)

取組2 美しく豊かな自然を復元

中海・宍道湖において、市民参加による植栽を実施するなど、ヨシ帯や藻場など湖岸域の浅場環境を再生して自然が本来もつ浄化機能を回復し、水質浄化を図るとともに、湖岸から水際をなだらかにするなどして、良好な生物生息環境と親水活動など多面的な利用が可能な湖沼環境の再生を図ります。

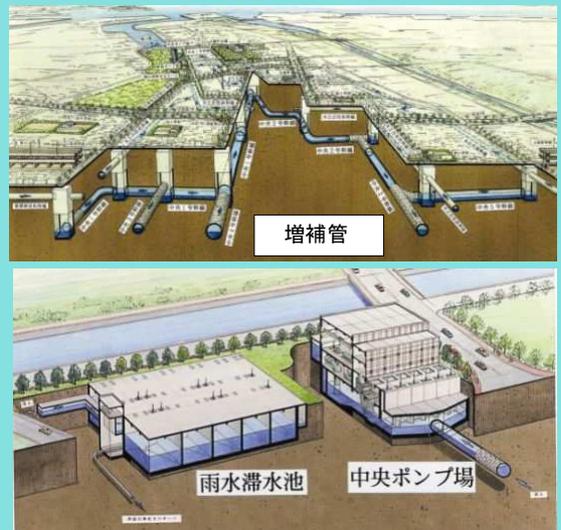


市民参加によるヨシの植栽により、ヨシ帯が再生した宍道湖湖岸

具体事例2

合流式下水道は、雨天時に汚水の混じった雨水が公共用水域に放流されるため、水質に与える影響が重要な課題となっています。このため、公共用水域への汚濁負荷量の削減、公衆衛生の向上、景観の向上を目的として、合流式下水道の改善を緊急に行います。

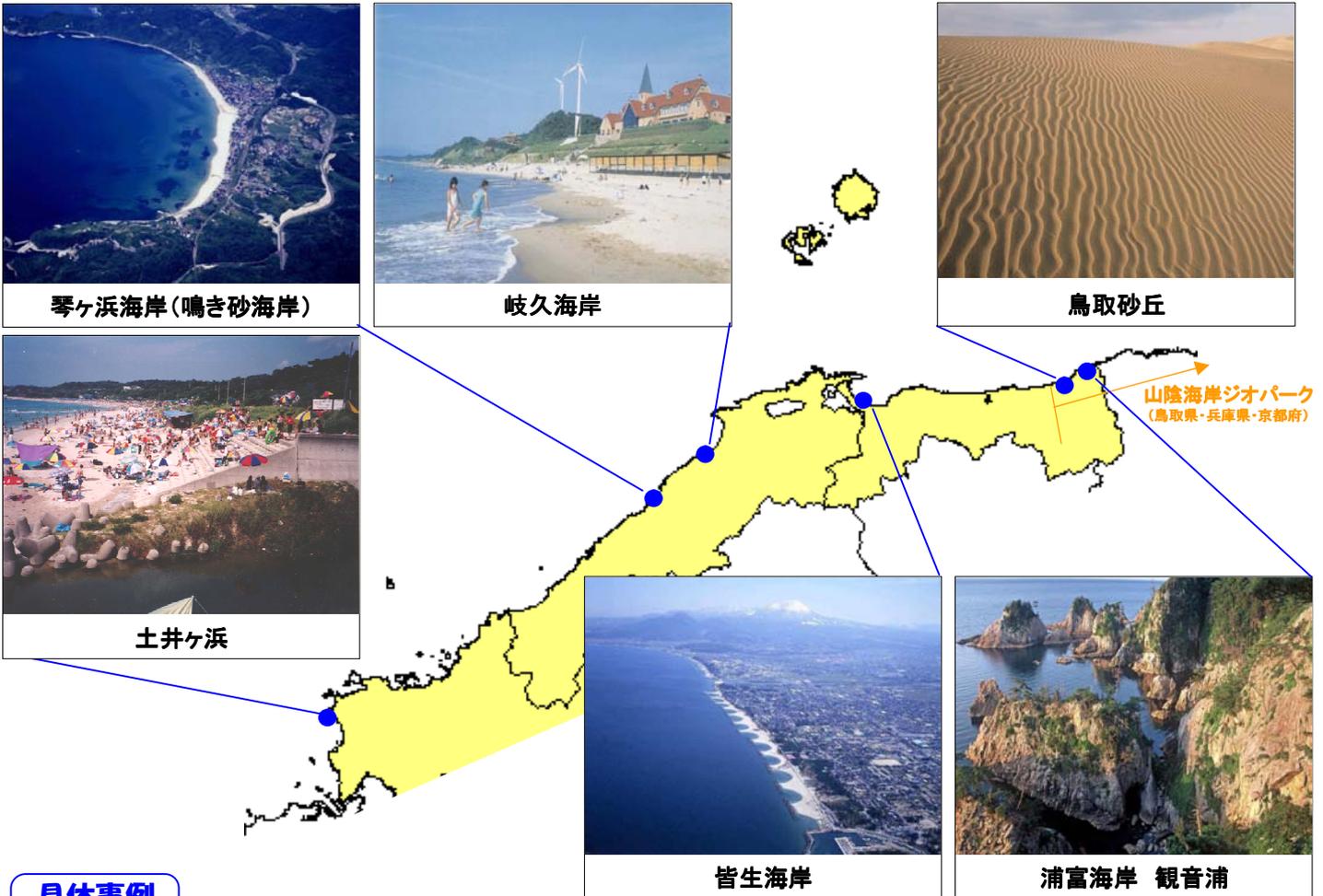
◆合流式下水道の改善（広島県福山市）



未処理下水の放流による水質汚濁リスクの低減を図り、快適で衛生的な生活環境を確保するため、雨天時放流水を一時的に貯留させる池や管渠を整備するなど、合流式下水道の改善を実施

取組3 日本海沿岸の地域資源を活用

日本海沿岸の豊かな自然と良好な景観を有する海岸線は、地域の貴重な観光資源であり、その保全・回復を行うことにより観光地域づくりを目指します。



具体事例

皆生海岸は、大山山麓から美保湾に向かって弓状に続く白砂青松の海岸線であり、国土保全と景観配慮を目的とした人工リーフの設置、サンドリサイクルの実施により、砂浜海岸の保全・回復を行い、自然と人が共存できる海岸環境を創り出していきます。

\* サンドリサイクル: 港湾等の航路浚渫土砂や、河口部の堆積土砂を利用し侵食傾向にある海岸へ養浜を行う。

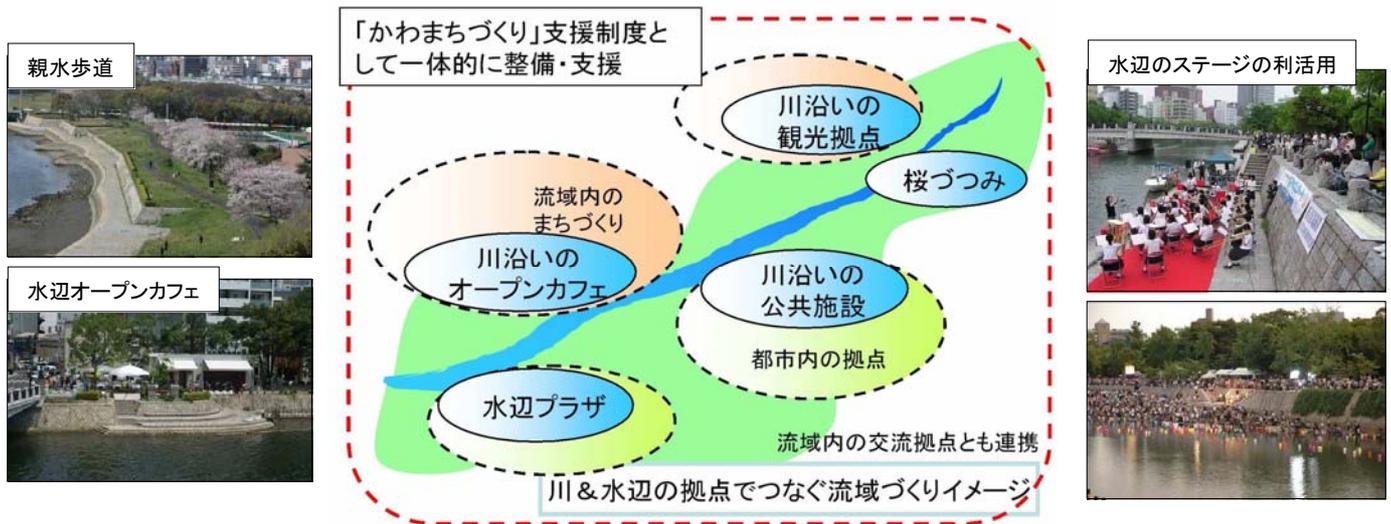
◆海岸保全施設整備事業 皆生海岸(鳥取県米子市など)



【アウトカム指標】 かわまちづくり計画の策定によって、良好なまち空間と水辺空間形成の推進をはかることとした自治体 ..... 0(H19) → 4(H24)

取組1 良好なまち空間と水辺空間の推進

地域の景観、歴史、文化及び観光という「資源」や地域の創意としての「知恵」を活かし、地方公共団体や地元住民との連携のもとで良好なまち空間と水辺空間形成を目指します。



取組2 中国地方独自の地域資源を活用

中国地方に残された良好な歴史的、文化的なまちなみの保全・再生とともに、生活基盤の整備改善を行うことで、歴史的な環境の継承、観光の拠点づくりを推進します。

**■歴史、文化を活かしたまちづくり**

歴史的なまちなみ景観の保全や既存の建物を再生し、観光情報や交流の拠点、資料館、物産館など、観光の拠点づくりを行う。

**■良好な街なみ環境の整備**

整備前

整備後

歴史的なまちなみとなっている地区の電線地中化、道路美化化、住宅の修景等を行う。

**凡 例**

良好な歴史的環境の保全・復元区域	● <span style="border: 1px solid red; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span>
歴史、文化を活かしたまちづくり区域	● <span style="border: 1px solid green; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span>
良好な街なみ環境の整備区域	● <span style="border: 1px solid blue; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span>

**■良好な歴史的環境の保全・復元**

「萩往還」をはじめとする主要街道の起点である唐樋札場跡を復原するとともに、歴史的風致維持向上施設の保存修理を行う。

【アウトカム指標】 廃棄物処理地に資する海面埋立処分場の整備率 …………… 79%(H19) → 94%(H24)

取組 資源の循環的な利用

循環型社会を形成に向け、廃棄物の発生量を抑制し、廃棄物を再使用、再利用する3R（リデュース、リユース、リサイクル）の取り組みを進めるとともに、最終残渣は海面最終処分場の整備等により、廃棄物埋立護岸の整備を推進します。



具体事例

宇部・小野田地区においては、背後圏より発生する廃棄物の最終処分場の確保に苦慮しており、内陸部において、長期的かつ安定的な処分場の確保が困難な状況にあります。一般廃棄物・産業廃棄物、また浚渫土砂の受け入れ先としての廃棄物海面処分場の整備を推進します。

◆ 廃棄物埋立護岸整備事業 宇部港東見初地区(リサイクルポート)(山口県宇部市)



発生する一般廃棄物・産業廃棄物の処分が可能となり、地域の環境保全に資するとともに、港湾整備事業を計画的に実施することが可能

〔具体的な施策例〕

廃棄物埋立護岸延長 …………… 23.0km(H19) → 26.9km(H24)

取組 沿道環境の改善

道路交通騒音や大気質など沿道環境の改善を図るために、自動車単体対策、バイパス整備や交差点改良等の交通流対策、低騒音舗装の敷設や遮音壁の設置等の道路構造対策及び幹線道路の沿道にふさわしい土地利用の転換など総合的な取組を関係機関と連携しながら進めます。



西広島バイパス都心部延伸部での騒音低減施策

具体事例

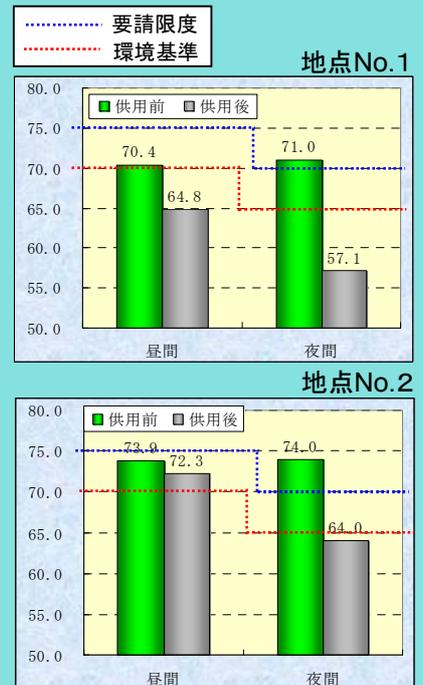
国道2号 厚狭・埴生バイパス全線供用に伴い、交通量、騒音調査を行いました。調査の結果、沿線の夜間騒音が地点No.1では71.0dB→57.1dBに、地点No.2では74.0dB→64.0dBに減少し、夜間要請限度を下回りました。

◆一般国道2号 厚狭・埴生バイパス (山口県)



完成イメージ

夜間騒音は大幅に減少 (環境基準以下)



【アウトカム指標】 景観計画に基づき取組を進める地域の数 …………… 11団体(H19) → 33団体(H24)

取組1 都市の魅力再生

潤いある魅力的なまちづくりを実現するため、都市における水と緑のネットワーク形成に資する公園緑地等の整備や、市街地における建築物の緑化施策を推進します。

具体事例1

西大寺南ふれあい公園は、市民の憩いと集いの場として、世代間交流やまちの賑わいを創出するとともに、緑化や環境に関する体験学習を通して緑化意識の高揚を図ることができます。また、災害時には避難地としても機能し、市民の生命を守ります。

◆交流拠点となる公園整備 西大寺南ふれあい公園(岡山市)



- 市街地に残る工場跡地を活用し、水と緑と花の豊かな風格あるまちの顔として岡山市が整備
- 平成21年春開催の「第26回全国都市緑化おかやまフェア」の主会場としても活用された地域の交流拠点
- 地震災害時には、市民の避難地や延焼防止帯としても機能

具体事例2

H19年度に引き続き、今後も市民、企業・観光関係者、学識経験者、行政(国・県・市)で構成する「水の都ひろしま推進協議会」を中心として、市民・民間等からアイデアを募りながら、美しい都市空間の実現に向けて賑わいの創出を図ります。

◆水の都「ひろしま」構想



京橋川『水辺のオープンカフェ』の利用状況

1. 営業状況(H17. 10月~H20. 12月)  
全店舗利用者数 約175,000人
2. 実施後の歩行者通行量の変化  
稲荷大橋西詰地点で、当該河岸緑地の南北の歩行者通行量をオープンカフェの開業前後で比較。

オープンカフェ	平日(7時~22時30分)	日曜日(7時~22時30分)
開業前	185人 [H17.6/30調査]	139人 [H17.7/17調査]
	↓ 約1.7倍	↓ 約4.8倍
開業後	309人 [H20.10/9調査]	664人 [H20.10/12調査]

※データ提供: 広島市

水の都にふさわしい安全でうるおいのある水辺空間の整備や水辺を市民にとってより身近なものとする活動などを推進



取組2 良好な住環境の形成

美しい都市空間と質の高い居住環境を一体的に実現するため、公営住宅等の公共賃貸住宅や住宅市街地の整備を推進します。



具体事例

山口県営下関・稗田団地は、建設から約40年経過した現在、狭小で老朽化した住宅が集積しており、公営住宅の建て替えと全面的改善を組み合わせた複合的な手法で団地の整備をする事業です。その際、併せて公園や集会所、及び、歩行者空間のネットワークの整備を行い、良好な住環境の形成に寄与する事業です。

◆公営住宅の整備 稗田団地（山口県地域住宅計画）（山口県下関市）

地区現況



整備イメージ



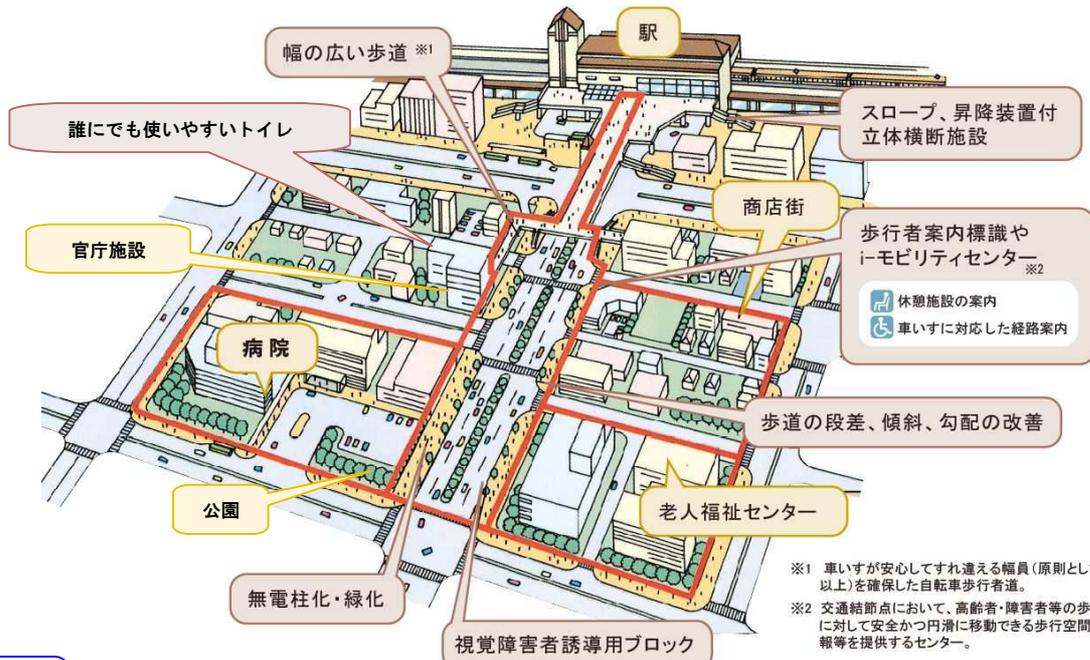
完成イメージ



【アウトカム指標】 特定道路におけるバリアフリー化率	54% (H19) → 75% (H24)
園路及び広場がバリアフリー化された都市公園の箇所数の割合	48% (H19) → 50% (H24)

取組 ユニバーサルデザインに配慮した快適に暮らせる環境を創出

主要な鉄道駅等を中心とする地区において、高齢者、身体障害者等に配慮した安全で快適な歩行空間を確保するため、バリアフリー新法に基づき、ユニバーサルデザインに配慮した歩行空間ネットワーク整備を進め、少子高齢社会に対応した環境整備を推進します。

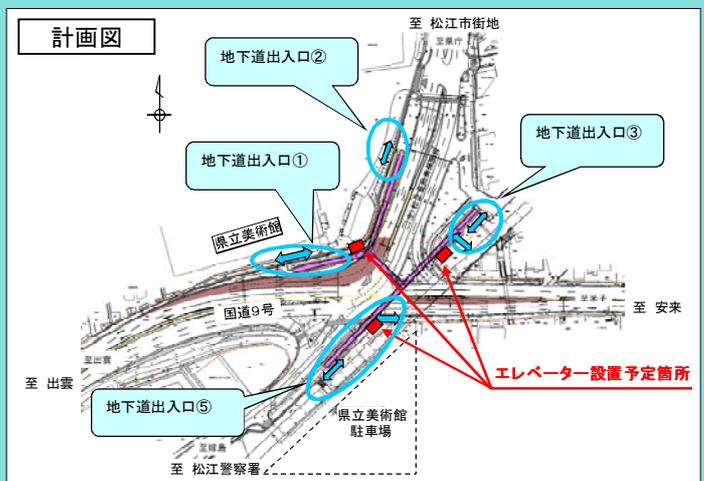


具体事例

建設から約30年が経過している袖師横断地下道は、スロープの縦断勾配が12%と急であり、高齢者、障害者の方にとって利用しづらい状況です。  
 より安全・安心に歩行しやすい構造にするために、エレベーターを設置するものです。

◆一般国道9号袖師横断地下道整備（島根県松江市）

【地下道の様子】

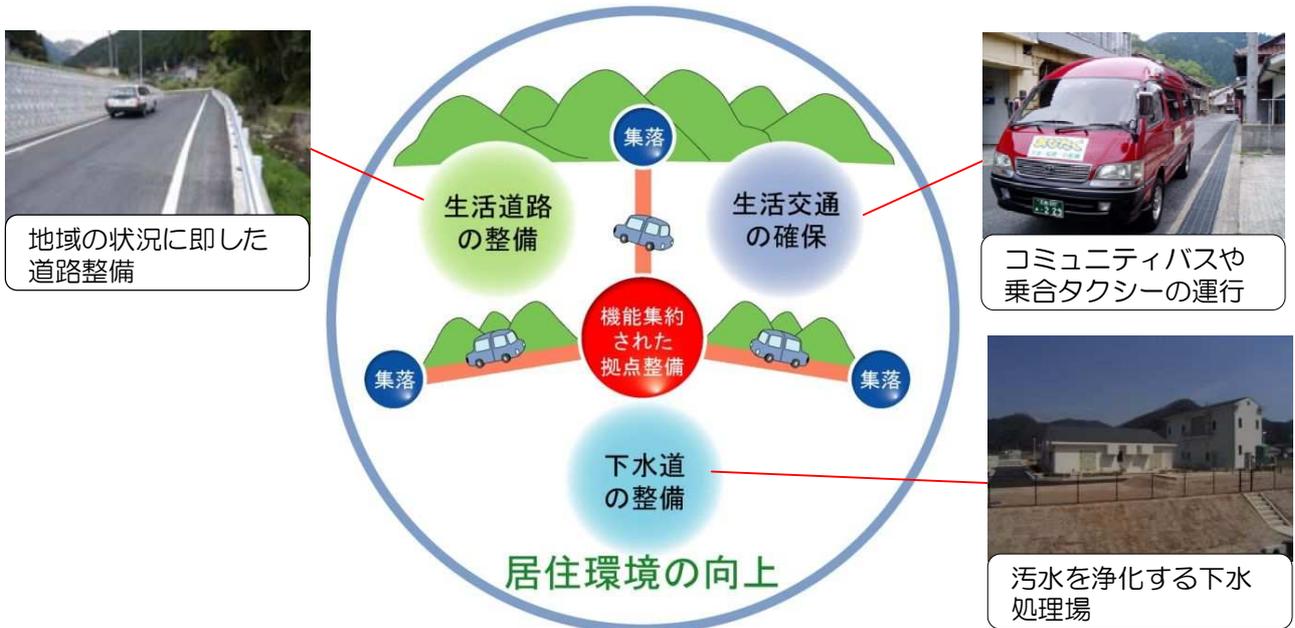


既設横断地下道にエレベーターを設置し、誰もが安心して通行できる歩行空間を確保

【アウトカム指標】日常生活圏中心への30分カバー率	.....	57% (H19) → 58% (H24)
第3次医療施設の60分カバー率	.....	74% (H19) → 76% (H24)

取組 安全で快適な居住環境を創出

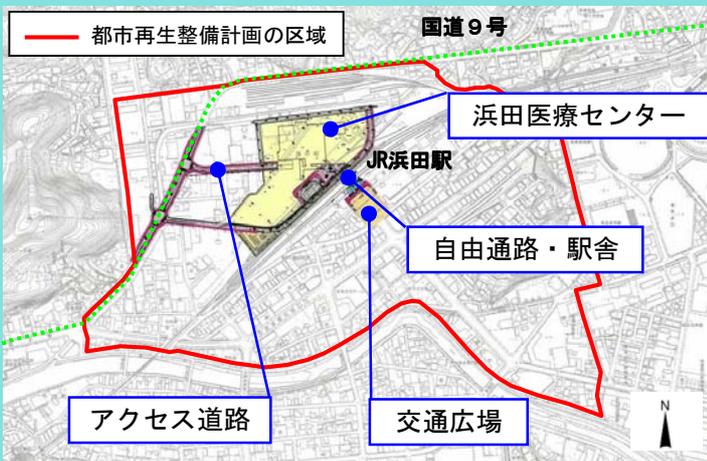
中山間地域等において、安定した生活を維持するため生活道路の整備など、生活基盤の充実を図ります。また、生活サービスの利便性の向上を図るため、あらゆる生活サービス機能と交通結節点が集約された施設整備に取り組みます。



具体事例

浜田駅周辺の空閑地を活用した医療センターの移設新築とあわせて行う、国道9号からのアクセス道路、駅南北と医療施設を連結する自由通路等の生活基盤の整備により、島根県石見地方における医療の中核拠点の形成を図ります。

◆中山間地等の居住環境の向上 浜田駅周辺地区(島根県浜田市)



注：浜田医療センターは関連事業

## 第4節 交流・連携による一体的で活力のある地域づくり

### 目標Ⅳ-1

### 都市間の連携強化や都市と中山間地域等の共生

#### (1)山陰と山陽及び分散した都市間等の連携強化

- ・山陰と山陽、分散した都市間を結ぶ道路の整備等によるブロック内外の連携強化を図り、活力ある地域社会を構築する。
- ・西瀬戸内海や豊後水道に面する西瀬戸地域においては、海を介した多様なネットワークの形成による四国圏、九州圏との交流・連携機能の強化を図る。

#### (2)都市間や都市と中山間地域等の多様な交流の拡大

- ・幹線道路等の交流基盤や物資の輸送のための基盤づくりを推進し、都市と中山間地域等の多様な交流の拡大を図る。

### 目標Ⅳ-2

### 広域観光の促進

#### ●空港や港湾などの国際交流拠点機能の強化による広域観光の促進

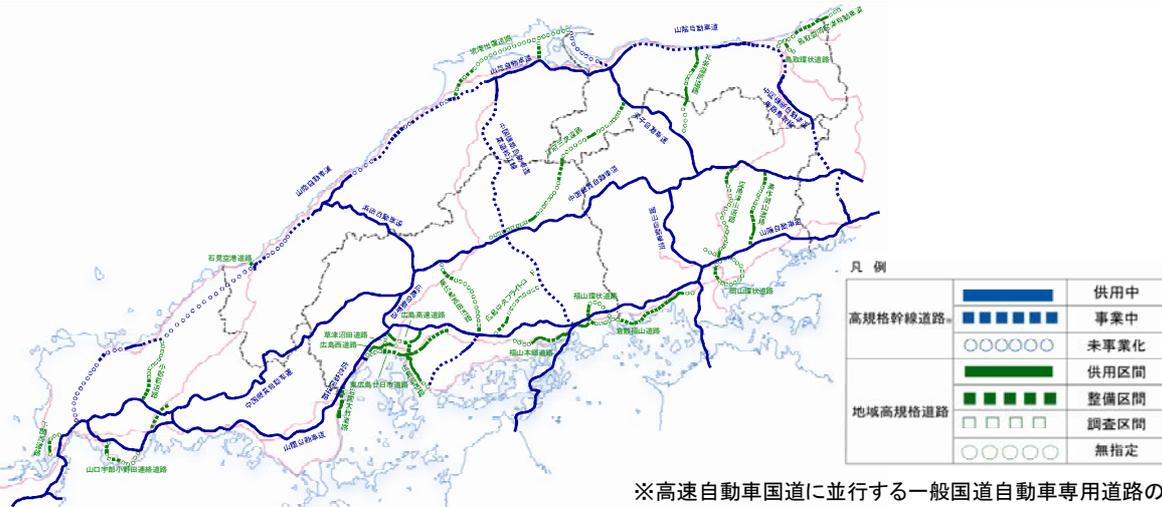
- ・地域の歴史や文化など国際的にアピールできる特長を活かし、外国人観光旅客の来訪の促進や中国地方内外の広域的な連携による観光振興の促進を図る。
- ・国際旅客ターミナルの整備、既存空港の質的充実等を推進し、交流機能の充実・強化を図る。

都市間の連携強化や都市と中山間地域等の共生  
 (1) 山陰と山陽及び分散した都市間等の連携強化

【アウトカム指標】 規格の高い道路を使う割合 ..... 13% (H19) → 約2割増 (H24)  
 高速道路等ICの30分カバー率 ..... 72% (H19) → 73% (H24)

取組 交流・連携の軸を創出

活力ある地域社会を構築するため、山陰と山陽を結ぶ中国横断自動車道や日本海沿岸の主要都市を連絡する山陰自動車道の整備、本州四国連絡道路等の活用を推進し、ICまで短時間でアクセスできる地域の拡大、都市間の所要時間の短縮による山陰と山陽の連携、隣接ブロック間の連携等のブロック内外の連携強化による一体的な発展を図ります。



※高速自動車国道に並行する一般国道自動車専用道路の事業中含む  
 ※資料: 中国地方整備局(平成21年3月)

具体事例

交流・連携の軸となる尾道松江線の整備により、山陽と山陰間や分散した都市間の所要時間が大幅に短縮されることで、既存の高速道路利用も促進されるなど、地域間交流の活発化が期待されます。

◆中国横断自動車道 尾道松江線



尾道JCT~三刀屋木次IC間(約111km)は、新直轄方式で整備中

尾道~松江間の所要時間  
 3時間40分 → 2時間25分

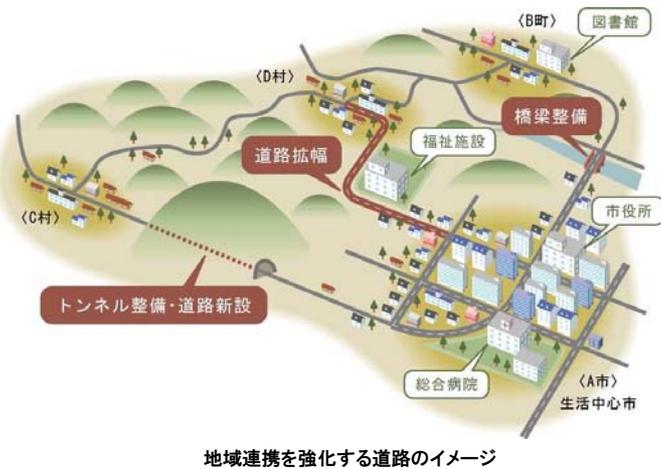
約1時間15分の  
 大幅な時間短縮

都市間の連携強化や都市と中山間地域等の共生  
(2)都市間や都市と中山間地域等の多様な交流の拡大

【アウトカム指標】 第3次医療施設の60分カバー率	74% (H19) → 76% (H24)
日常生活圏中心への30分カバー率	57% (H19) → 58% (H24)

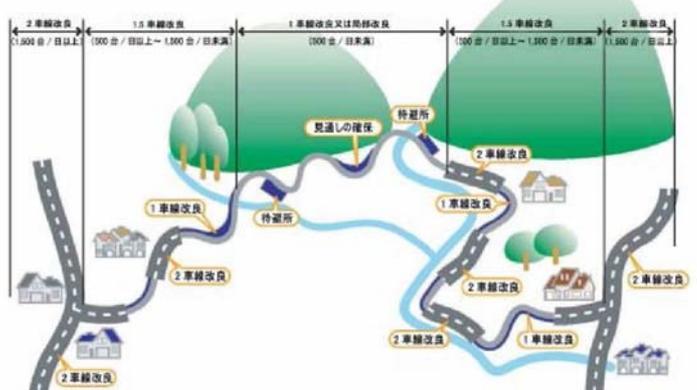
取組 都市と中山間地域をつなぎ、多様な交流を拡大

自立的・広域的な生活圏域を確立するため、生活圏の中心部と周辺部を連結する道路や公共施設等の拠点を連結する道路について効率的に整備を進め、安定した交流基盤、生活基盤を確保します。



地域連携を強化する道路のイメージ

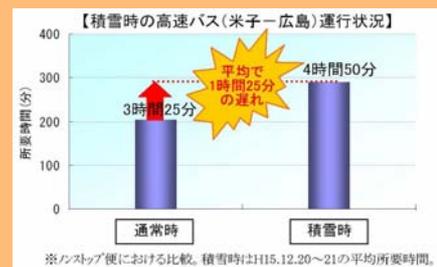
おこやまスタンダード【1.5車線の道路整備方針】イメージ図



具体事例

鍵掛峠道路の整備により、山陰・山陽の連携強化、地域交流と観光産業の活性化など地域間交流に寄与するとともに、冬期交通における安全と定時制が確保されます。

◆江府三次道路 一般国道183号 鍵掛峠道路(鳥取県、広島県)



路線バスは迂回できないため積雪の度に大幅な遅れが発生

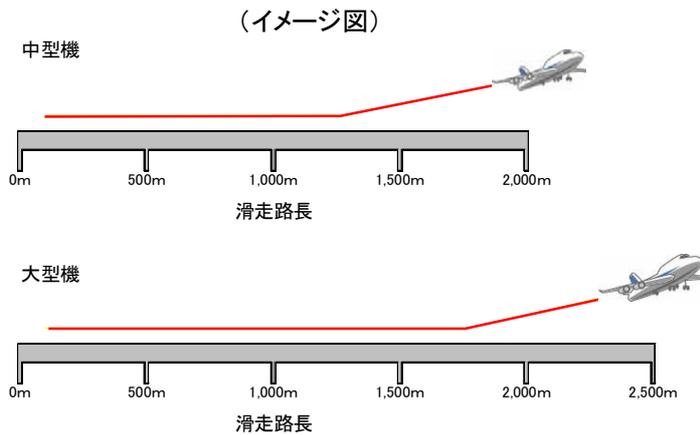


すれ違うのも危険な状況  
速度も低下し、定時制の確保は困難

取組 既存空港の機能の向上・充実

航空旅客数の増加に伴う大型機就航のニーズへの対応や冬季の積雪等の視界不良による欠航等への対応など空港の利便性向上を図ります。

滑走路を延長することにより、大型機の離着陸が可能となります



米子空港が滑走路延長した場合のイメージ

具体事例

米子空港は東京便を中心に旅客数が順調に増加しており、今後の更なる航空需要の増加に伴い、大型機就航のニーズが高まると考えられます。また、冬季の積雪等が原因で2,000m滑走路では着陸できないために欠航もしくは目的地変更が発生しています。そのため、大型機の就航を可能とし、冬季の欠航を減少させるため、滑走路を2,500mに延長する事業を進めています。

◆滑走路延長 米子空港（鳥取県境港市）



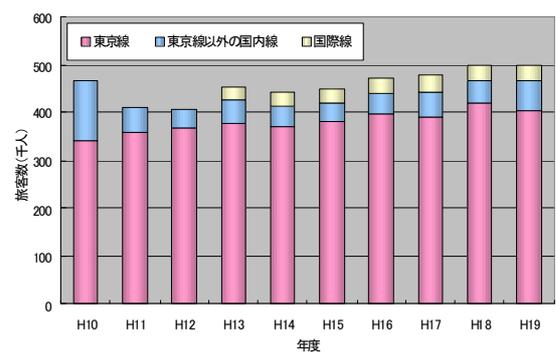
■国際化への対応

滑走路が2,500mになると、遠くの国へ乗り継ぎなしで行けるようになります。

●米子空港から世界へ

滑走路が2,500mになると、燃料を多く搭載した航空機の運航が可能となり、これまで東アジア地域までであったものが、オーストラリア、北米西海岸、東ヨーロッパなどへの直行運航が可能となります。

米子空港発着便の旅客数推移



[具体的な施策例]

大型ジェット機が離着陸可能な空港…………… 3箇所(広島空港、岡山空港、山口宇部空港)(H19)  
→ 4箇所(広島空港、岡山空港、山口宇部空港、米子空港)(H24)

## 第5節 横断的な取組

### 目標V-1

### 社会資本整備の効率化や社会資本ストックの有効活用

#### (1) 様々な主体との協働や戦略的な維持管理・更新等による社会資本の有効活用

- ・高度経済成長期に整備した大量の社会資本ストックに対して適切な維持管理や管理の高度化など戦略的な維持管理・更新等を推進・支援し、社会資本ストックの有効活用を行う。
- ・ボランティアやNPO団体等の様々な主体の参画により、新たな公を基軸とする地域づくり、地域ニーズに対応した計画的な社会資本の維持管理や高度・有効利用を推進する。

#### (2) 産学官の技術連携の支援及び新技術・新工法の活用

- ・情報通信、医療、福祉、環境、バイオテクノロジー(生物工学)等の産業関連分野の育成やその技術を社会資本に活用するための技術調達施策を推進する。
- ・産学官の連携を強化し、技術開発を推進する体制を充実させ、社会資本整備のコスト縮減や事業の迅速化を図る。

### 目標V-2

### 地球環境問題への対応

#### ●地球温暖化をはじめとする地球環境問題への対応

- ・海運・鉄道へのモーダルシフト、グリーン庁舎の整備、住宅・建築物等の省エネ性能の向上等により、低炭素型社会の形成を目指す。

# 社会資本整備の効率化や社会資本ストックの有効活用

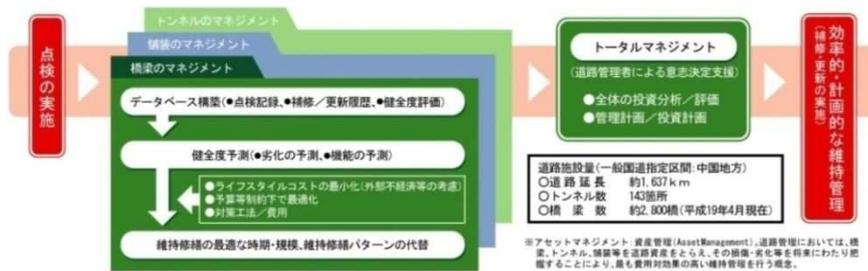
## (1) 様々な主体との協働や戦略的な維持管理・更新等による社会資本の有効活用

【アウトカム指標】 河川管理施設の長寿命化	.....	0%(H19) → 100%(H24)
道路橋の長寿命化修繕計画策定率	.....	25%(H19) → 概ね100%(H24)
固有港湾施設の長寿命化計画策定率	.....	0%(H19) → 100%(H24)

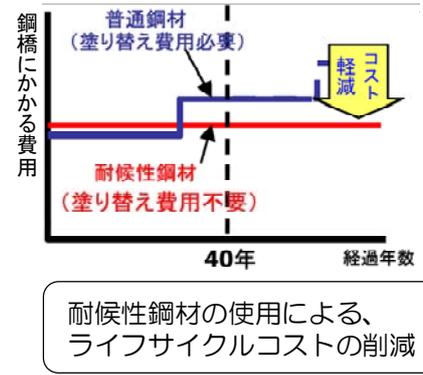
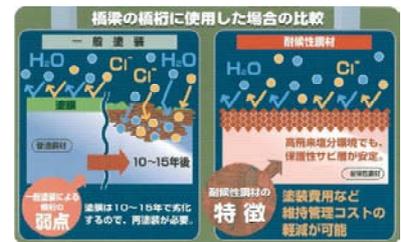
### 取組1 増大する社会資本ストックへの対応

構造物の健全度予測・点検を行い、維持修繕の最適な時期・規模など効率的な投資計画に応じて、計画的な維持管理を行うアセットマネジメントを導入します。

#### ◆アセットマネジメントの導入



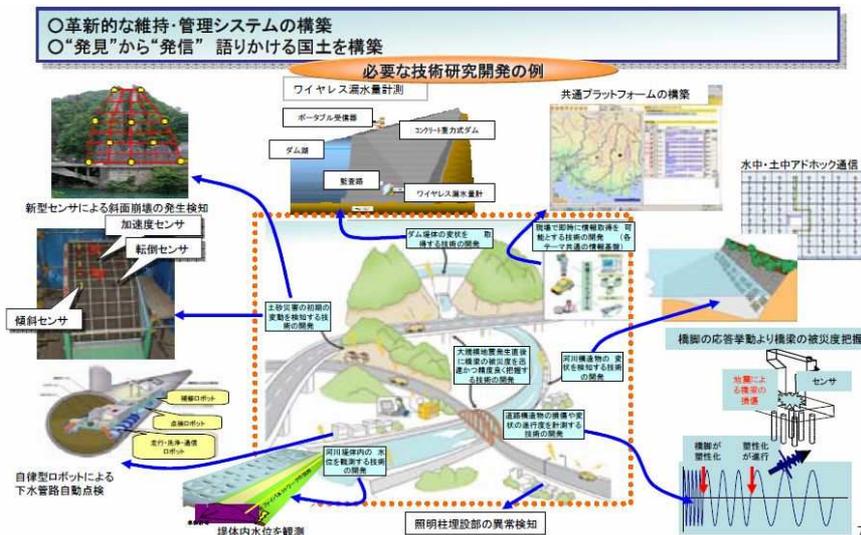
#### ◆ライフサイクルコストの重視



### 取組2 ICT等、ソフト施策との連携

これからの社会資本整備、または社会資本ストックの維持管理について、ICT基盤を最大限に活用し、整備や維持管理が高度化された社会の実現に取り組みます。

#### ◆ICTを活用した高度な社会資本の維持・管理

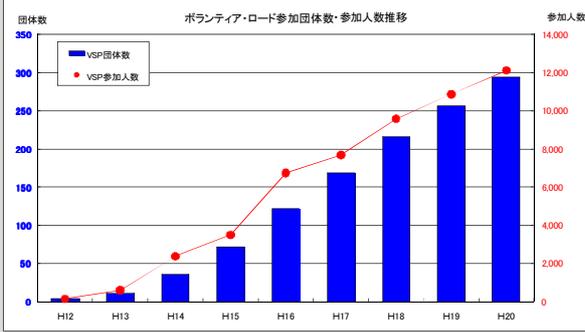


取組3 多様な主体との協働

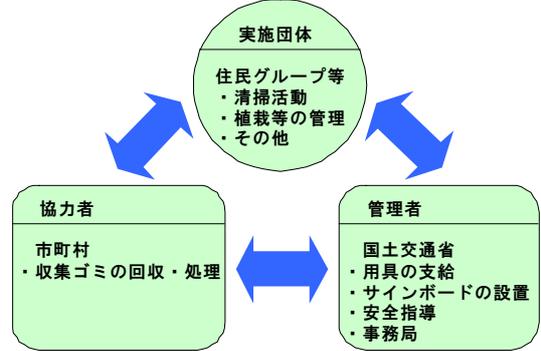
道や河川等の維持管理の新たな取り組みとして、地域住民と連携し、ボランティアロード、ラブリバー制度など様々な活動を実施します。

◆ボランティア・ロード

平成20年11月末現在で  
294団体12,084人が活動しています!



◆水辺EN組プログラム



益田市須子自治会  
あいの広場



益田市横田第一自治会  
横田花・花会

取組4 既存の社会資本ストックの有効活用

既存の高速道路の有効活用や地域経済の活性化を推進するため、建設・管理コストの削減が可能なスマートIC（ETC専用IC）の整備を進めます。

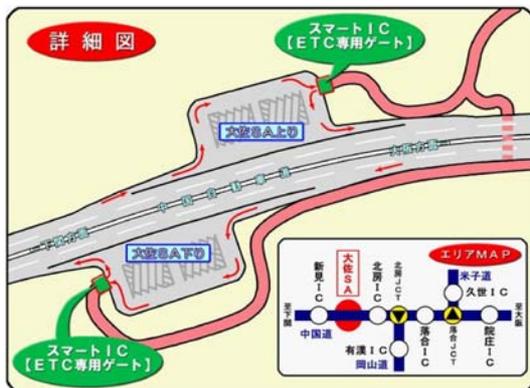
▼スマートICゲート



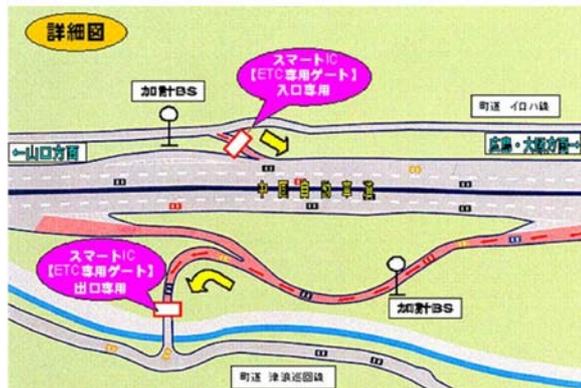
▼スマートIC SA・PA接続イメージ



▼大佐スマートIC



▼加計スマートIC



### 取組 新技術・新工法活用の支援体制づくりを支援

経済活力を取り戻し、雇用機会を創出するために、成長が期待される情報通信、医療、福祉、環境、バイオテクノロジー(生物工学)等の産業関連分野の育成やその技術を国土管理に活用するための産学官の連携を強化し、新たな産業拠点の整備を基盤整備等により積極的に支援します。

#### 公共工事等における新技術活用システム



**Point 1** 民間事業者等により開発された有用な新技術を公共工事等において積極的に活用していくためのシステムです。

**Point 2** 新技術情報提供システム(NETIS)を中核とする新技術情報の収集と共有化、直轄工事等での試行および活用導入の手続き、効果の検証・評価、さらなる改良と技術開発という一連の流れを体系化したものです。

平成17年4月より試行的に運用してきた「公共工事等における技術活用システム」を、平成18年8月より、新技術の峻別による有用な新技術の活用促進と技術のスパイラルアップを目的として、事後評価に重点をおいた「公共工事等における新技術活用システム」として本格運用します。



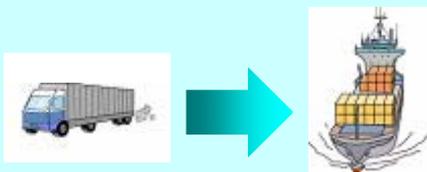
【アウトカム指標】 港湾施設整備により削減されるCO<sub>2</sub>排出量 …………… 0(H19) → 約12千トン/年(H24)  
 太陽光発電の導入や建物の緑化を整備する官庁施設の数 …… 3箇所(H19) → 15箇所(H24)

取組1 港湾物流の効率化による温室効果ガス削減の推進

環境負担の小さい海上輸送等の活用や臨港道路整備等によって、物流に起因する温室効果ガスの削減を推進します。

モーダルシフト

温室効果ガス排出の少ない内航船による輸送により排出ガスを削減します。



内航フィーダーへのシフト

渋滞緩和

港湾に結節する臨港道路の整備により港周辺の渋滞等を緩和し排出ガスを削減します。



吸収源創出

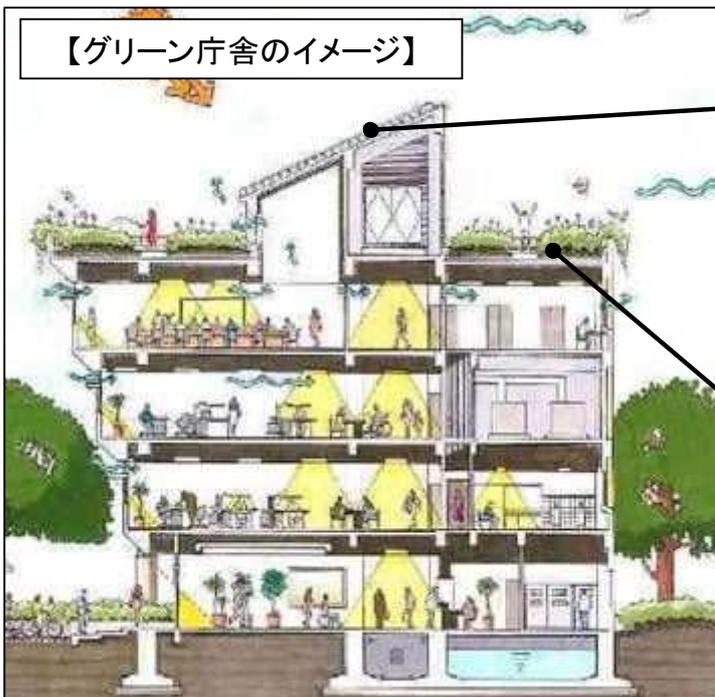
港湾緑地等の整備により二酸化炭素を削減します。



取組2 太陽光発電の導入や屋上緑化の推進による環境負荷低減

「京都議定書目標達成計画」、「低炭素社会の構築に向けた行動計画」等を踏まえ、国の合同庁舎に太陽光発電の導入や屋上緑化を推進し、建築分野における環境負荷低減に率先して取り組みます。

【グリーン庁舎のイメージ】



自然エネルギーの利用

・太陽光発電の導入



緑化の推進

・屋上の緑化



グリーン庁舎とは、「環境基本法」の基本理念に則り、建物の計画から建設、運用、廃棄に至るまでの、ライフサイクルを通じた環境負荷の低減に配慮し、我が国の建築分野における環境保全対策の模範となる官庁施設をいいます。

## 第5章 主要事業・施策の効果的な進め方

中国地方において、社会資本整備事業の重点的、効果的かつ効率的な実施に向けて、次のような取組を進めています。

### 第1節 事業評価の厳格な実施

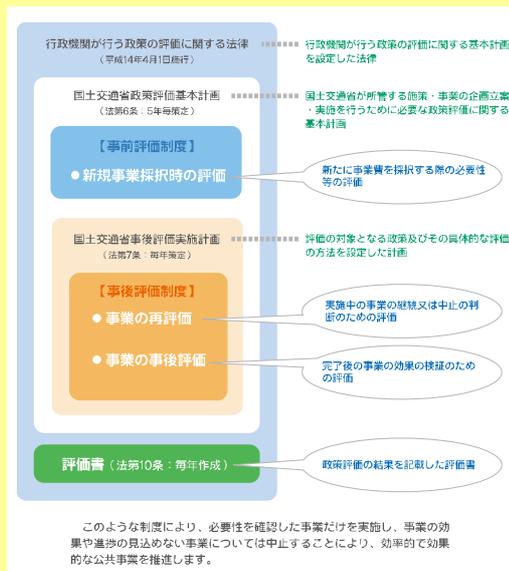
中国地方整備局及び5県2政令市においては、事業評価監視委員会を設け、事業実施中の再評価等各段階における評価を実施し、結果を発表しています。

今後も新規事業採択時から事業完了後までの各段階において、最新のデータ等を用いて、厳格な評価を実施するとともに、評価結果の公表によって透明性を確保します。

#### ■事業の再評価制度のしくみ

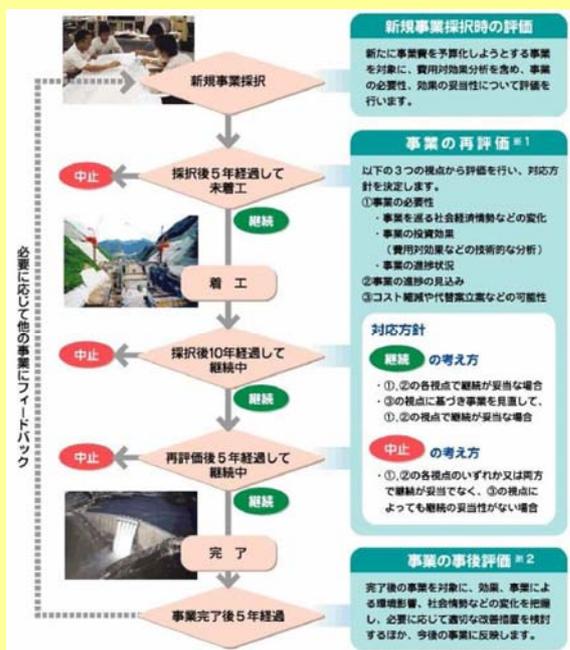
平成13年1月の中央省庁再編とあわせて、政策評価制度が本格的に導入されました。さらに、平成14年4月からは、「行政機関が行う政策の評価に関する法律(行政評価法)」に基づき、法律上で明確に定められた国の責任として、各府省が所掌する政策について自ら評価を行うことを基本とした「政策評価」を実施することとなりました。

このような制度により、必要性等を確認しながら事業を実施し、事業の効果や進捗の見込めない事業については中止することにより、効率的で効果的な公共事業を推進します。



#### ■事業の流れと再評価内容について

事業の評価においては、事業の実施方法が妥当であったか、そして今後どのように事業を実施すべきかを事業の進捗状況、必要性、及び効率性などの観点から踏まえて、事業を進める各過程において総合的に評価しています。



これまでの委員会審議結果(中国地方整備局)

	審議件数		審議回数	再評価審議結果
	再評価	事後評価※		
平成10年度	12	-	5	全事業継続
平成11年度	5	4	2	全事業継続
平成12年度	12	4	2	道路2事業中止
平成13年度	6	4	2	全事業継続
平成14年度	18	3	4	ダム1事業中止
平成15年度	27	5	4	全事業継続
平成16年度	5	4	2	全事業継続
平成17年度	13	5	3	全事業継続
平成18年度	8	13	3	全事業継続
平成19年度	19	6	4	全事業継続
平成20年度	32	3	5	道路1事業再審議

※事業評価は平成14年度まで試行、平成15年度より本格導入



## 第2節 公共事業コスト構造改善の推進

公共事業コスト構造改善の推進に努めており、中国地方整備局においては、平成15年度より進めてきた“総合的なコスト縮減”の取組に加え、平成20年度からは、新たに、民間企業の技術革新や調達効率化によるコスト構造の改善、施設の長寿命化によるライフサイクルコスト構造の改善、工事に伴う環境負荷低減等社会的コスト構造の改善の効果も評価する「コスト構造改善」の取組を促進し、平成24年度までに、平成19年度と比べて15%の“総合的なコスト構造改善”を達成することとします。

### ■平成19年度 公共工事コスト縮減実績

- 平成14年度と比較した平成19年度の総合コスト縮減実績(平成8年度と比較した平成14年度の総合コスト縮減実績)を表-1及び表-2に示します。
- 改善額:調達の最適化による改善を図ったものであり、総合評価落札方式による技術力重視の調達方式の採用によって得られた効果を金額に換算したものです。316億円の改善を図りました。(表-3)

表-1 平成19年度公共工事コスト縮減実績 ( )内は縮減額

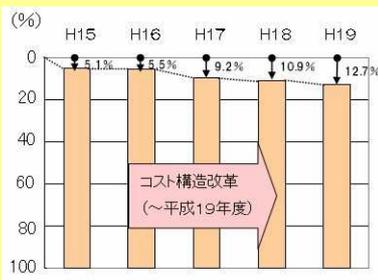
工事コスト 低減施策	旧計画(H9~H11年度) (旧中国地方建設局)		新 計 画								
	数値目標	H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	コスト構造改革					H19年度
						平成19年度 数値目標	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	
工事コスト低減 施策の合計	10%以上	10.2%	9.8% (214億円)	11.6% (237億円)	11.6% (237億円)	15%以上	5.1% (88億円)	5.5% (85億円)	9.2% (126億円)	10.9% (216億円)	12.7% (310億円)

注1) 表-1 コスト縮減率 =  $\frac{\text{当該年度発注工事の縮減額の合計}}{\text{当該年度発注工事の全体工事費の合計} + \text{当該年度発注工事の縮減額の合計}}$

注2) 当該年度の発注工事の全体工事費の合計 = 1,872億円

注3) H19の建設資材、建設機械の価格変動が建設工事の縮減に与える効果を考慮(=-1.7%)

表-2 経年コスト縮減額



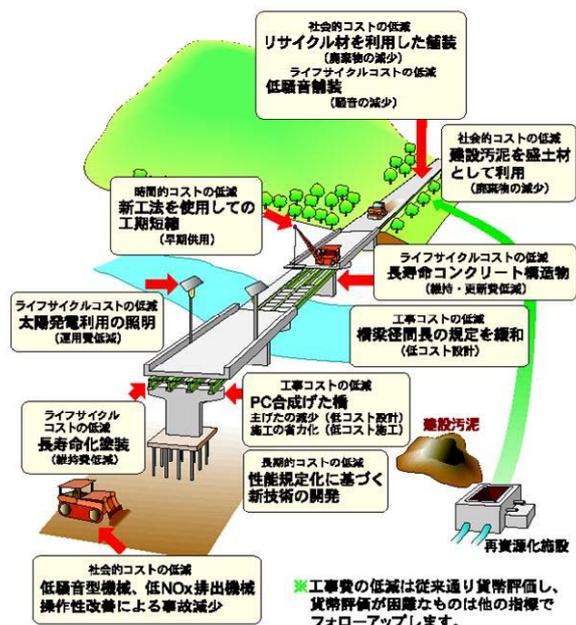
※ “H14=0(基準)”とした場合の縮減率

表-3 コスト縮減額及び調達の最適化による改善額



### 総合的なコスト縮減のイメージ

工事コストの低減だけでなく、ライフサイクルコストの低減や社会的コストの低減などを考えて工事を実施します。

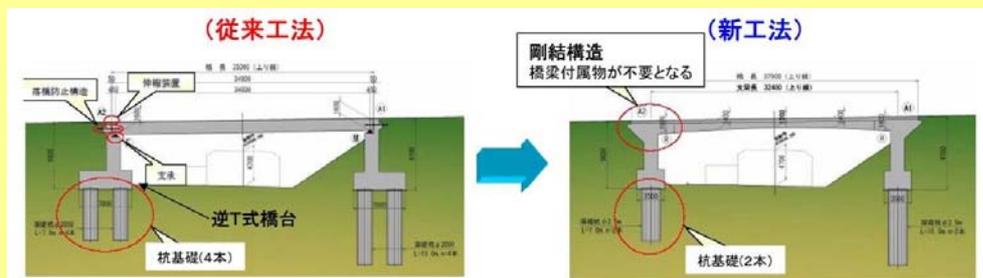


## ■中国地方におけるコスト縮減の事例

### ①PCポータルラーメン橋の採用によりコスト縮減

工事名: 浜田・三隅道路中道跨道橋下部工事

概要: 従来工法(逆T式橋台+桁橋)から、新工法(PCポータルラーメン橋)へ変更



18百万円縮減

### ②構造物撤去で発生したコンクリート殻の再利用によるコスト縮減

工事名: 佐波川峪堰撤去工事

概要: 従来のコンクリート殻処理とコンクリート根固工法から袋型根固工法への変更により、

工期の短縮とコストを縮減



**現場製作→運搬→設置**  
製作、仮置ヤードを、別途用意する必要があり、現場条件的に厳しい。

**殻投入→運搬→設置**  
殻を投入するだけなので製作が容易、工期短縮が図れる。

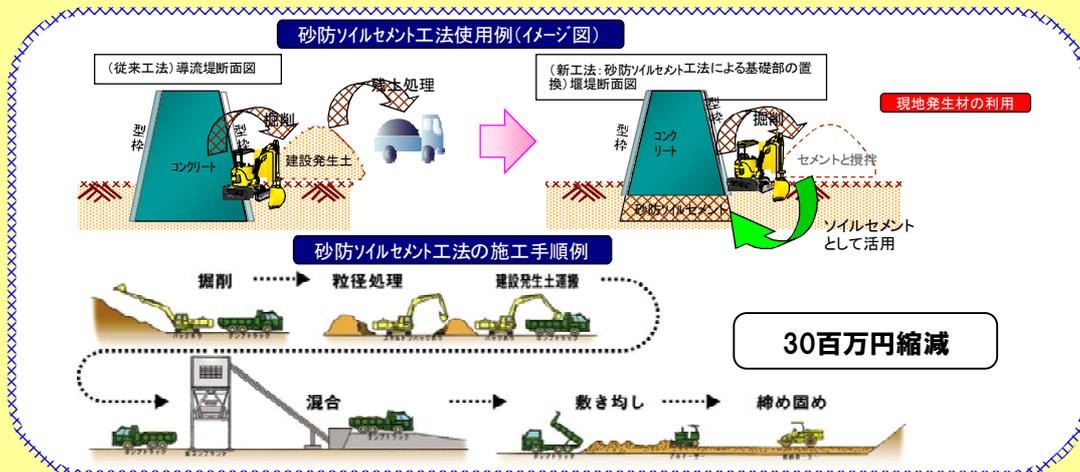
※袋型根固工法: 合成繊維の袋材に砕石等の中詰材を詰めて河川の洗掘防止等に用いる工法

約9.8百万円縮減

### ③現地土砂を用いた砂防ソイルセメント工法によるコスト縮減

工事名: 広島西部山系上原2号砂防堰堤工事

概要: 従来工法(普通コンクリート+型枠)から砂防ソイルセメント工法に変更



30百万円縮減

※砂防ソイルセメント工法: 現地発生土砂とセメントを混合して構造物を構築する工法

#### ④ 工程管理により早期供用を実現

工事名：山陰道(名和・淀江道路)

概要：名和・淀江道路は大半が盛土区間であり、鳥取県の事業から盛土材の提供により早期に工事進捗が図られ、当初平成20年3月供用予定だったが、平成19年9月の早期供用を実現



事業の効果が早期に発現  
(事業便益の早期発現による効果：277百万円)

#### ⑤ 1.5車線の整備

工事名：鳥取県 (一)河内楨原線

概要：該当区域は急峻な地形のため、通行不能区間となっており、鳥取市河内からは、1路線しか他地域へ通じる道路が無く、防災上の観点から急速に整備が必要  
→1.5車線道路計画によりコスト縮減、工期短縮

〈当初計画〉  
2車線改良(3,000m)



【当初計画(2車線整備済箇所)】

〈計画見直し後〉

2車線改良(340m), 1車線及び待非難所整備(2,660m)



【計画見直し後(1.5車線整備中箇所)】

当初計画

約26.2億円

見直し後

約18.7億円

約30%縮減

・3年の工期短縮  
(H20年代後半完成予定  
→H20年代前半完成予定)  
・約8億円縮減

#### ⑥ インターチェンジの簡素化

概要：高規格幹線道路等のインターチェンジについて、交通の実情に合わせた構造の簡素化などにより、コスト縮減を図ります。

##### ■簡易型ICの採用事例(一般国道9号 浜田・三隅道路)

約4億円縮減  
※浜田・三隅道路路線全体

一般国道9号浜田・三隅道路および、一般国道9号仁摩・温泉津道路は、インターチェンジの構造の簡略化を検討し、平面Y型ICを採用しました。



##### ■平面Y型ICの採用



西村IC (仮称)

##### ■従来型IC(トランペット型)事例



泊東IC (一般国道9号 青谷・羽合道路)

### 第3節 公共調達改革

#### ①公共調達の改革

価値の高い良質な社会資本を国民に提供するため、価格と品質が総合的に優れた調達を実現する「総合評価落札方式」を中国地方整備局だけでなく5県2政令市など管内全ての公共工事発注機関において一層拡充するとともに「入札ボンド」の活用等による不良不適格業者の排除の徹底等を行いつつ、「一般競争入札方式」の積極的な活用を図ります。

さらに、極端な低価格受注は、公共工事の品質確保に支障を生じさせかねないことから、入札の競争性を確保しつつそのような受注を排除するため、総合評価落札方式の適切な運用や低入札価格調査の厳格な実施等を図ります。

#### ②新しい建設生産システムの構築

発注者・設計者・施工者間の情報共有、施工プロセスを通じた検査の実施、工事成績評定の充実及び企業の技術力を重視した格付制度・入札参加要件の運用を図ります。

### ■中国ブロック発注者協議会の開催

平成17年4月に「品確法」が制定され、公共工事の品質確保は、国のみならず、地方自治体、特殊法人等を含むあらゆる公共工事の発注者全体の責務となりました。

しかし、地方公共団体においては、総合評価方式や低入札価格調査制度の導入等、品質確保の取組が遅れていることや不良不適格業者の存在、地元優良企業の淘汰、下請企業へのしわ寄せといった課題が指摘され、公共工事の品質確保に懸念が生じています。

平成20年3月28日の「公共工事の品質確保の促進に関する関係省庁連絡会議」申し合わせにより、公共工事の発注者間の連絡調整を図るため、中国地方の全ての発注機関において、総合評価方式の導入拡大、品質確保に関する取組の情報共有・促進等を図ることを目的に平成20年10月9日に協議会を設立しました。

#### ◇組織体制（全28機関）

= 中国ブロック発注者協議会参画機関(28機関) = **委員会・幹事会で構成**

##### ①国の地方支分局

・中国管区警察局、中国財務局、広島国税局、中国地方整備局、中国運輸局、第6管区海上保安本部、中国四国農政局、近畿中国森林管理局、中国経済産業局、中国四国地方環境事務所、中国四国防衛局、広島高等裁判所

##### ②地方公共団体(各県については農政・土木の両部局)

・鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、岡山市、広島市・鳥取市、松江市、三原市、山口市

##### ③特殊法人等の支社等

・西日本高速(株)、本四高速(株)、(独)人形峠環境技術センター  
(独)森林農地整備センター、広島高速道路公社

連携

#### 各県協議会

・各事務所  
・出先機関  
・市町村等  
(協議会・WG)

#### ◇協議会の主な活動内容

- ①総合評価方式の導入・拡大について(業務含む)
- ②品質確保に関する取組の情報共有・促進等
- ③地域貢献に関する評価の普及促進
- ④受発注者間における適正な関係の構築 等



協議会開催状況

#### ◇協議会の主な成果

平成21年4月に中国管内全ての公共工事発注機関の「総合評価方式における実施目標の設定及び達成度」をホームページで公表。

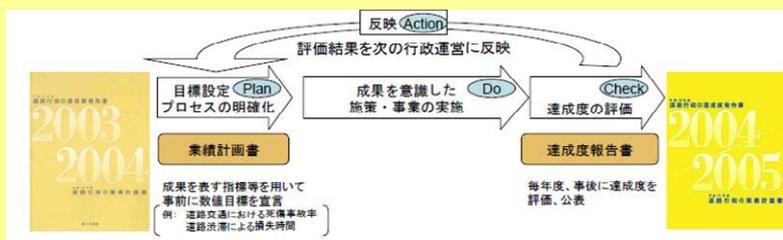
上記のほか、平成21年度の公共事業執行における過去最大級の前倒し発注や地域建設業対策について検討しています。

## 第4節 事業相互間の連携の確保（事業の進捗管理含む）

国土交通省所管の施策と民間やNPOを含むその他の施策を総合的に展開していきます。

### ■道路事業におけるPM（プロジェクトマネジメント）

事業のプロセスを明確にして数値目標を設定した業績計画書を作成し、事業を実施した後、達成度報告書で事業の評価を行い、得られた知見をまた次の施策や事業へ反映するための、成果をより効果的・効率的かつ透明性の高い道路事業に転換する、成果志向の道路行政マネジメントを平成15年度から毎年度実施しています。

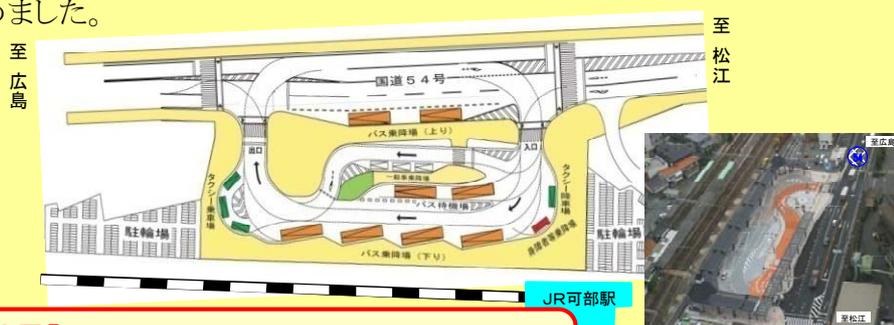


### ■鉄道駅等交通結節点の機能強化

#### ①交通結節点改善事業 可部駅西口地区(広島市)

JR可部線の可部駅では、中国地方整備局と広島市が連携し、国道と駅前広場の一体的整備を進め、平成18年度には、駐輪場を除いた箇所の整備が完了しました。

なお、整備にあたっては、地元まちづくりの会等と連携するとともに、ユニバーサルデザインに配慮した施設整備を進めました。



#### 【期待される整備効果】

バス乗降場等の整備により、鉄道とバス等の乗り継ぎ利便性・安全性が向上されます。また、バス乗降場を駅前広場内に移設することにより、一般国道54号の交通の円滑化が図られます。

#### ②臨港道路整備事業 呉港阿賀地区(広島県呉市)

呉港阿賀マリノポリス地区において、広島中央テクノポリス地区から発生する貨物を建設中の東広島呉自動車道経由で海上輸送に接続させ、効率的に輸送するための複合一貫輸送ターミナルの整備を進めています。岸壁の完成に伴い増大する大型車(トレーラー)の通行ルート住宅地から分離させ、生活の安全を確保するとともに、港湾貨物の輸送時間短縮、輸送コストの縮減を図るため、アクセス道路であるマリノ大橋(仮称)の整備を推進します。



#### 【期待される整備効果】

陸上輸送から海陸複合一貫輸送へのシフトによる物流コスト削減及び大型車の輸送路確保による物流の効率化、利便性の向上が図られます。また、阿賀マリノポリス地区は震災時における物流、防災拠点へのアクセス道路としての重要な機能も期待されます。

## 第5節 地域住民等の理解と協力の確保

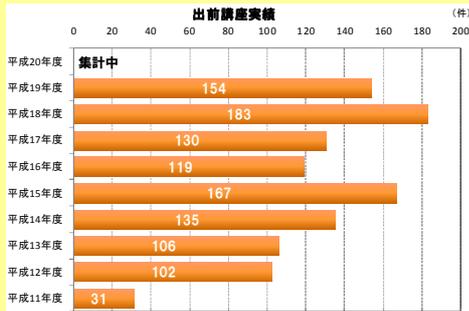
公共事業を進める上で地域住民の理解と協力そして信頼を得ることは不可欠であることから、事業の構想・計画段階、実施段階、管理のそれぞれの段階において、地域住民との対話を重視し、より一層コミュニケーションを図っていきます。

また、ホームページ等により事業の進捗状況等各種情報を提供するとともに、住民からの多様化するニーズの把握、施策及び事業に対する意見の聴取等、更なるアカウントビリティ向上を目指します。

### ①地域社会との交流・信頼関係の向上

#### ■出前講座や総合学習支援の実施

##### ◆出前講座実績



##### ■浜田河川国道事務所



##### ■中国地方整備局

##### 広島県福山市で出前講座を実施

～「便利でやさしいまちづくり」と題し講演～



### ②住民参加の促進、社会実験等の取組

#### ■玉造温泉街にぎわい歩行空間 社会実験（鳥根県松江市）

玉造温泉街の中心通りにおいて、一方通行化および車両通行規制と立体ハンプ・狭くイメージ歩道を設置するとともに、街の賑わい創出活動（イベント等）を行い、その有効性や課題について検証しました。

実験内容：

- (1) 一方通行規制及び車両通行止めの実施
- (2) 速度抑制対策の実施
- (3) 街の賑わい創出活動（イベント等）の実施

実施期間：平成17年10月5日（水）～10月11日（火）



一方通行化や車両通行止めによる周辺交通への大きな影響は生じなかったものの、商業者からは売上の悪影響を懸念する意見が示されました。また、イメージハンプによる車両速度低減効果が確認されました。



イメージハンプの設置状況



イメージ歩道の設置状況

## 第6節 民間資金・能力の活用

厳しい財政状況の下で必要とされる社会資本整備を推進していくため、幅広い分野でのPFI事業の実現に向け、努力します。

#### ■PFI手法の活用

##### 県営坂地区住宅整備事業 【広島県】

広島県と坂町では、安芸郡坂町平成ヶ浜の県営住宅用地に、「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（PFI法）」に基づき県営住宅及び町営住宅を整備するとともに、保育所も併せて一体的に整備し、子供と子育てにやさしい住環境を備えた住宅団地を整備することとします。



## 第6章 アウトカム指標の一覧と解説

事業の達成度を示すアウトカム（政策目標）指標を設定しました。直接的なアウトプットよりも、主要事業・主要施策によって国民の生活がどうかわるかなどが、わかりやすく示すことができるアウトカム指標として示しています。

目標	項目	アウトカム指標		指標の解説	
		現状の値 (H19年度)	目標値 (H24年度)		
<b>I 競争力のある地域経済社会の再構築</b>					
I-1	港湾による輸出入貨物の輸送コスト削減率	0%	約20%	H20～24に供用する港湾施設（岸壁、航路等）で取り扱われる輸出入貨物の輸送コスト削減率（H19を基準に削減率を算定）	
	港湾関連手続のシングルウィンドウ化率	0%	100%	重要港湾管理者のうち、統一モデル様式を採用し、府省共通ポータルから受け付け可能となった港湾の割合	
I-2	規格の高い道路を使う割合	13%	約2割増	全道路の走行台キロに占める自動車専用道路等の走行台キロの割合	
	高速道路等ICの30分カバー率	72%	73%	高規格幹線道路等のインターチェンジに30分以内に到達可能な地域の面積の割合	
	拠点的な空港・港湾の高速ICへのアクセス率	38%	50%	高規格幹線道路等のインターチェンジから10分以内のアクセスが可能な主要な空港・港湾の割合	
I-3-(2)	渋滞による損失時間	約269万人時間/年	約1割削減	中国地方の主要な道路における渋滞が無い場合の所要時間と実際の所要時間の差	
<b>II 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり</b>					
II-1-(1)	洪水による氾濫から守られる区域の割合	56%	61%	直轄・補助の河川・ダム・砂防事業によって氾濫から守られる区域の割合	
	土砂災害から保全される人口	約42万人	約45万人	砂防事業によって土砂災害（土石流・地すべり・がけ崩れ）から保全される人口（万人）	
	土砂災害から保全される人命保全上重要な施設数	約220施設	約310施設	24時間災害時要援護者が滞在する施設・防災拠点・近傍に避難場所が無く地域の拠点となる避難場所のうち土砂災害対策のなされた施設数	
	津波高潮による災害から一定の水準の安全性が確保されていない地域の面積	約17,000ha	約15,200ha	中国地方の海岸で発生すると想定される津波・高潮に対し、防護が不十分な海岸における背後地域の浸水想定面積	
	侵食海岸において現状の汀線防護が完了されていない割合	約29%	約23%	侵食対策が必要な延長のうち、海岸保全施設の整備が完了していない延長の割合	
	下水道による都市浸水対策達成率	約48%	約51%	雨水対策整備対象区域面積のうち、公共下水道等による雨水対策が完了している区域の面積の割合（%）	
	重点的な投資により浸水被害の解消を図る戸数	約2,900戸	約4,700戸	重点的な投資を行う治水対策事業区間において、一定の規模の洪水（高潮）から防御される戸数	
	河川堤防質的整備の優先対策区間における対策済み区間の割合	約24%	100%	詳細点検の結果、特に安全度が低くかつ被災履歴のある箇所における対策済み区間の割合（%）	
II-1-(2)	港湾による緊急物資供給可能人口	約53万人	約70万人	整備が完了した耐震強化岸壁の背後圏から算定した震災時の緊急物資供給可能人口	
	要防災対策箇所対策率	13%	54%	中国地方における要防災対策箇所や事前通行規制区間への対策率	
II-2	ハザードマップを作成・公表し、防災訓練等を実施した市町村の割合	洪水	19%	100%	浸水想定区域内市町村のうち、洪水ハザードマップを作成・公表し、かつ洪水ハザードマップを活用した防災訓練を実施した市町村の割合（%）
		内水	約0%	100%	平成9年度以降床上浸水被害等が発生した地区を有する市町村のうち、内水ハザードマップを作成・公表し、防災訓練等を実施した市町村の割合（%）
		土砂	46%	100%	土砂災害危険箇所を有する市町村のうち、ハザードマップを作成・公表し、かつハザードマップを活用した防災訓練を実施した市町村の割合（%）
		津波・高潮	約5割	約7割	重要沿岸域またはゼロメートル地帯を有する市町村のうち、津波・高潮ハザードマップを作成・公表し、防災訓練等を実施した市町村の割合（%）
	土砂災害特別警戒区域指定率	約20%	約80%	土砂災害危険箇所が存在する市町村のうち、土砂災害特別警戒区域の指定を行った市町村の割合（%）	

目標	項目	アウトカム指標		指標の解説
		現状の値 (H19年度)	目標値 (H24年度)	
Ⅱ-3	新たな水道用水・工業用水の確保量	-	1日約12万トン	多目的ダムにより、新たに開発される1日あたりの水道用水・工業用水量
Ⅱ-4	道路交通における死傷事故率	87件/億台km	約1割削減	1万台の自動車が1万キロ走行する間に発生する可能性のある死傷事故件数

### Ⅲ 多彩な文化と自然を活かした豊かで快適な暮らし・社会の創造

Ⅲ-1-1(1)	下水道処理人口普及率	約58%	約65%	総人口に対して、下水道を利用できる人口の割合
	失われた自然の水辺のうち、回復可能な干潟の中で再生した水辺の割合（港湾関連分のみで湿地を含まない）	21%	34%	過去の開発等により失われた良好な自然環境である湿地、干潟の中で回復可能なもの（湿地3,000ha、干潟4,000ha）のうち、復元・再生する割合
Ⅲ-1-1(2)	かわまちづくり計画により、良好なまち空間と水辺空間形成の推進を図ることとした自治体数	0	4	かわまちづくり計画の策定によって、良好なまち空間と水辺空間形成の推進をはかることとした自治体
Ⅲ-2-1(1)	廃棄物処分地に資する海面埋立処分場の整備率	79%	94%	できる限り減量化された浚渫土砂や一般廃棄物、産業廃棄物について、内陸部での最終処分場の確保が困難な廃棄物を受入れるために必要な海面埋立処分場の整備率
Ⅲ-2-1(3)	景観計画に基づき取組を進める地域の数	11団体	33団体	景観法第8条第1項に基づき良好な景観の形成に関する計画を策定した市町村数
Ⅲ-3	特定道路におけるバリアフリー化率	54%	75%	主要な旅客施設や官公庁施設等の周辺の主な道路のうち、バリアフリー化されている道路延長の割合
	園路及び広場がバリアフリー化された都市公園の箇所数の割合	48%	50%	都市公園の出入口・駐車場と主要な施設との経路となる園路及び広場について、バリアフリー新法に基づく移動等円滑化基準を満たす都市公園の割合
Ⅲ-4	日常生活圏中心への30分カバー率	57%	58%	日常生活における中心都市に30分以内に到達可能な地域の面積
	第3次医療施設の60分カバー率	74%	76%	第3次医療施設に60分以内に到達可能な地域の面積

### Ⅳ 交流・連携による一体的で活力のある地域づくり

Ⅳ-1-1(1)	規格の高い道路を使う割合	13%	約2割増	全道路の走行台キロに占める自動車専用道路等の走行台キロの割合
	高速道路等ICの30分カバー率	72%	73%	高規格幹線道路等のインターチェンジに30分以内に到達可能な地域の面積の割合
Ⅳ-1-1(2)	第3次医療施設の60分カバー率	74%	76%	第3次医療施設に60分以内に到達可能な地域の面積
	日常生活圏中心への30分カバー率	57%	58%	日常生活における中心都市に30分以内に到達可能な地域の面積

### Ⅴ 横断的な取組

Ⅴ-1-1(1)	河川管理施設の長寿命化率	0%	100%	耐用年数をむかえる主な河川管理施設（ダム、堰、水門、排水機場、樋門、CCTVカメラ等）のうち、劣化度診断等を実施し、長寿命化が図られた施設の割合。
	道路橋の長寿命化修繕計画策定率	25%	概ね100%	中国地方で長寿命化修繕計画を策定する橋梁数
	港湾施設の長寿命化計画策定率	0%	100%	水深7.5m以上の係留施設について、長寿命化計画を策定した施設の割合
Ⅴ-2	港湾施設整備により削減されるCO <sub>2</sub> 排出量	0	約12千トン/年	H19～H24に供用する多目的国際ターミナル、臨港道路等によって削減されるCO <sub>2</sub> 排出量
	太陽光発電の導入や建物の緑化を整備する官庁施設の数	3か所	15か所	国の合同庁舎のうち、太陽光発電の導入または、建物の緑化の整備をする施設の数

# 第7章 主要事業の一覧表

主 要 事 業	次期整備目標 次期重点整備方針 計画期間(5カ年) [H20～H24]
---------	--

## I 競争力のある地域経済社会の再構築

I-1 東アジア等との競争・連携による国際競争力の強化	
●東アジア等との競争・連携による国際競争力の強化	
○海上輸送の効率化	
多目的国際ターミナル整備事業 水島港玉島地区【岡山県倉敷市】	事業推進
多目的国際ターミナル整備事業 福山港箕沖地区【広島県福山市】	平成22年度完成
多目的国際ターミナル整備事業 尾道糸崎港機織地区【広島県福山市】	事業推進
多目的国際ターミナル整備事業 岩国港室の木地区【山口県岩国市】	事業推進
多目的国際ターミナル整備事業 徳山下松港新南陽地区【山口県周南市】	事業推進
航路整備事業 水島港玉島地区【岡山県倉敷市】	平成21年度完成
航路整備事業 宇部港本港地区【山口県宇部市】	事業推進
臨海部産業エリア形成の推進 徳山下松港【山口県周南市】	平成23年度完成
I-2 国内交通ネットワークの強化	
●高速交通ネットワーク及び空港・港湾へのアクセス強化による産業の振興	
○人・モノの効率的な移動の支援	
山陰自動車道(斐川～出雲)【島根県】	平成21年度完成
中国横断自動車道 姫路鳥取線(佐用～大原)【岡山県】	平成21年度完成
中国横断自動車道 姫路鳥取線(大原～西粟倉)【岡山県】	事業推進
中国横断自動車道 姫路鳥取線(智頭～河原)【鳥取県】	平成20年度完成
中国横断自動車道 姫路鳥取線(河原～鳥取)【鳥取県】	平成21年度完成
中国横断自動車道 尾道松江線(尾道～甲山)【広島県】	事業推進
中国横断自動車道 尾道松江線(甲山～吉舎)【広島県】	事業推進
中国横断自動車道 尾道松江線(吉舎～三次)【広島県】	事業推進
中国横断自動車道 尾道松江線(三次～吉田掛合)【島根県、広島県】	事業推進
中国横断自動車道 尾道松江線(吉田掛合～三刀屋木次)【島根県】	事業推進
地域高規格道路 鳥取豊岡宮津自動車道 一般国道9号 駒嶋山バイパス【鳥取県】	事業推進
地域高規格道路 鳥取豊岡宮津自動車道 一般国道178号 岩美道路【鳥取県】	事業推進
地域高規格道路 江府三次道路 一般国道181号 江府道路【鳥取県】	事業推進
地域高規格道路 江府三次道路 一般国道183号 鍵掛峠道路【鳥取県、広島県】	事業推進
地域高規格道路 境港出雲道路 一般国道9号 出雲バイパス【島根県】	平成20年度完成
地域高規格道路 岡山環状道路 一般国道180号 岡山西バイパス(西長瀬～北長瀬)【岡山市】	平成21年度完成
地域高規格道路 岡山環状道路 一般国道180号 岡山西バイパス(北長瀬～樺津)【岡山市】	事業推進
地域高規格道路 岡山環状道路 一般国道180号 岡山環状南道路【岡山県】	事業推進
地域高規格道路 空港津山道路 一般国道53号 岡山北バイパス【岡山市】	事業推進
地域高規格道路 空港津山道路 一般国道53号 津山南道路【岡山県】	事業推進
地域高規格道路 倉敷福山道路 一般国道2号 倉敷立体【岡山県】	事業推進
地域高規格道路 倉敷福山道路 一般国道2号 玉島・笠岡道路【岡山県】	事業推進
地域高規格道路 倉敷福山道路 一般国道2号 玉島・笠岡道路(Ⅱ期)【岡山県】	事業推進
地域高規格道路 倉敷福山道路 一般国道2号 笠岡バイパス【岡山県】	事業推進
地域高規格道路 倉敷福山道路 一般国道2号 福山道路【広島県】	事業推進
地域高規格道路 倉敷福山道路 一般国道2号 松永道路【広島県】	事業推進
地域高規格道路 福山本郷道路 一般国道2号 木原道路【広島県】	事業推進
地域高規格道路 福山本郷道路 一般国道2号 三原バイパス【広島県】	事業推進

※事業の実施にあたっては、事業毎に事業評価監視委員会に諮るなど、厳格な評価を行ったうえで執行する。

主 要 事 業	次期整備目標
	次期重点整備方針 計画期間(5カ年)
	[H20～H24]

## 1-2 国内交通ネットワークの強化

### ●高速交通ネットワーク及び空港・港湾へのアクセス強化による産業の振興

地域高規格道路 東広島廿日市道路 一般国道2号 安芸バイパス【広島県】	事業推進
地域高規格道路 東広島廿日市道路 一般国道2号 東広島バイパス(中野～瀬野西)【広島県】	事業推進
地域高規格道路 東広島廿日市道路 一般国道2号 東広島バイパス(海田東～海田西)【広島県】	事業推進
地域高規格道路 東広島廿日市道路 一般国道2号 広島南道路(出島)【広島県】	平成21年度完成
地域高規格道路 東広島廿日市道路 一般国道2号 広島南道路(光南)【広島県】	平成21年度完成
地域高規格道路 東広島廿日市道路 一般国道2号 広島南道路(光南～商工センター)【広島県】	事業推進
地域高規格道路 広島西道路 一般国道2号 西広島バイパス(廿日市高架)【広島県】	事業推進
地域高規格道路 岩国大竹道路 一般国道2号 岩国・大竹道路【広島県、山口県】	事業推進
地域高規格道路 下関西道路 一般国道191号 下関北バイパス【山口県】	事業推進
地域高規格道路 北条湯原道路 一般国道313号 倉吉道路【鳥取県】	平成24年度完成
地域高規格道路 北条湯原道路 一般国道313号(倉吉～関金)【鳥取県】	事業推進
地域高規格道路 東広島高田道路 一般国道375号 東広島道路(東広島JCT～溝口)【広島県】	平成21年度完成
地域高規格道路 東広島高田道路 一般国道375号 東広島道路(溝口～郷)【広島県】	事業推進
地域高規格道路 広島中央フライトロード 主要地方道 本郷大和線【広島県】	平成22年度完成
地域高規格道路 山口宇部小野田連絡道路 一般県道 妻崎開作小野田線【山口県】	事業推進
地域高規格道路 山口宇部小野田連絡道路 主要地方道 山口宇部線【山口県】	平成22年度完成
地域高規格道路 山口宇部小野田連絡道路 主要地方道 山口宇部線(小郡JCT)【山口県】	事業推進
地域高規格道路 広島高速道路 広島高速2号線(県道府中仁保道路)【広島県】	平成21年度完成
地域高規格道路 広島高速道路 広島高速3号線(市道広島南道路)(宇品～吉島)【広島県】	平成21年度完成
地域高規格道路 広島高速道路 広島高速3号線(市道広島南道路)(吉島～観音)【広島県】	事業推進
地域高規格道路 広島高速道路 広島高速5号線(県道温品二葉の里線)【広島県】	平成24年度完成
一般国道2号 戸田拡幅【山口県】	事業推進
一般国道2号 下関拡幅(山の谷交差点立体)【山口県】	平成21年度完成
一般国道2号 西条バイパス(現道拡幅部)【広島県】	平成21年度完成
一般国道9号 鳥取西道路【鳥取県】	事業推進
一般国道9号 鳥取西道路(Ⅱ期)【鳥取県】	事業推進
一般国道9号 鳥取西道路(Ⅲ期)【鳥取県】	事業推進
一般国道9号 東伯・中山道路【鳥取県】	事業推進
一般国道9号 中山・名和道路【鳥取県】	事業推進
一般国道9号 名和・淀江道路【鳥取県】	事業推進
一般国道9号 松江道路【島根県】	平成21年度完成
一般国道9号 出雲・湖凌道路【島根県】	事業推進
一般国道9号 多伎・朝山道路【島根県】	事業推進
一般国道9号 朝山・大田道路【島根県】	事業推進
一般国道9号 静間・仁摩道路【島根県】	事業推進
一般国道9号 仁摩・温泉津道路【島根県】	事業推進
一般国道9号 浜田・三隅道路(浜田西～西村)【島根県】	事業推進
一般国道9号 浜田・三隅道路(西村～三隅)【島根県】	事業推進
一般国道9号 益田道路(遠田～久城)【島根県】	平成21年度完成
一般国道9号 益田道路(久城～高津)【島根県】	事業推進
一般国道9号 小郡改良【山口県】	事業推進
一般国道29号 津ノ井バイパス(鳥取Cアクセス、吉成立体)【鳥取県】	平成21年度完成

※事業の実施にあたっては、事業毎に事業評価監視委員会に諮るなど、厳格な評価を行ったうえで執行する。

主 要 事 業		次期整備目標 次期重点整備方針 計画期間(5カ年) [H20~H24]
<b>1-2 国内交通ネットワークの強化</b>		
<b>● 高速交通ネットワーク及び空港・港湾へのアクセス強化による産業の振興</b>		
一般国道 180 号 総社・一宮バイパス【岡山県】	事業推進	
一般国道 185 号 休山改良【広島県】	事業推進	
一般国道 191 号 萩・三隅道路【山口県】	事業推進	
一般国道 373 号 志戸坂峠道路【岡山県】	事業推進	
東広島・呉自動車道(一般国道 375 号 東広島・呉道路(東広島 JCT~上三永))【広島県】	平成 21 年度完成	
東広島・呉自動車道(一般国道 375 号 東広島・呉道路(馬木~黒瀬))【広島県】	事業推進	
東広島・呉自動車道(一般国道 375 号 東広島・呉道路(黒瀬~郷原))【広島県】	事業推進	
東広島・呉自動車道(一般国道 375 号 東広島・呉道路(郷原~呉))【広島県】	事業推進	
一般国道 491 号 長門・俵山道路【山口県】	事業推進	
一般県道 河原インター線【鳥取県】	事業推進	
一般県道 熱田インター線 熱田工区【島根県】	平成 24 年度完成	
主要地方道 鳥取河原用瀬線 嶋工区【鳥取県】	平成 24 年度完成	
主要地方道 東伯野添線 東伯西 IC 工区【鳥取県】	平成 22 年度完成	
臨港道路整備事業 水島港水島玉島地区【岡山県倉敷市】	事業推進	
臨港道路整備事業 呉港阿賀地区【広島県呉市】	平成 22 年度完成	
臨港道路整備事業 岩国港装束~室の木地区【山口県岩国市】	事業推進	
街路整備による都市交通の円滑化 堀貫線【岡山県倉敷市】	平成 21 年度完成	
街路整備による都市交通の円滑化 地域高規格道路 山口宇部小野田連絡道路 主要地方道 山口宇部線(中央町~東須恵)【山口県】	平成 23 年度完成	
<b>1-3 都市機能の強化</b>		
<b>(1) 既存市街地整備や交通結節機能強化による都市の再生</b>		
<b>① 交通結節点の改善</b>		
交通結節点の改善 広島駅新幹線口地区(仮称)【広島市】	事業推進	
交通結節点の改善 西条駅地区【広島県東広島市】	事業推進	
交通結節点の改善 岡山駅地区【岡山市】	平成 21 年度完成	
駅周辺・中心市街地の活性化に資するまちづくり 倉吉駅周辺地区【鳥取県倉吉市】	平成 23 年度完成	
駅周辺・中心市街地の活性化に資するまちづくり 徳山駅周辺地区【山口県周南市】	平成 22 年度完成	
駅周辺・中心市街地の活性化に資するまちづくり 広島都心地区【広島市】	平成 22 年度完成	
病院等のまちなか立地による中心市街地活性化 母衣町地区【島根県松江市】	平成 24 年度完成	
市街地整備による都市の再生 倉吉駅南北線(自由通路)【鳥取県倉吉市】	平成 22 年度完成	
<b>② 都市再生</b>		
市街地整備による都市の再生 倉敷駅周辺第二地区【岡山県倉敷市】	平成 22 年度完成	
市街地整備による都市の再生 倉敷市阿知3丁目東地区【岡山県倉敷市】	事業推進	
市街地整備による都市の再生 古新開地区【広島県呉市】	事業推進	
市街地整備による都市の再生 向洋駅周辺地区【広島県府中町】	事業推進	
市街地整備による都市の再生 廿日市駅北地区【広島県廿日市市】	事業推進	
市街地整備による都市の再生 東桜町地区【広島県福山市】	平成 22 年度完成	
市街地整備による都市の再生 防府駅北地区【山口県防府市】	平成 21 年度完成	
市街地整備による都市の再生 富田西部第一地区【山口県周南市】	事業推進	
市街地整備による都市の再生 岡山市西部第4地区【岡山市】	平成 20 年度完成	
市街地整備による都市の再生 段原東部地区【広島市】	事業推進	
市街地整備による都市の再生 向洋駅周辺青崎地区【広島市】	事業推進	
市街地整備による都市の再生 二葉の里地区(仮称)【広島市】	事業推進	

※事業の実施にあたっては、事業毎に事業評価監視委員会に諮るなど、厳格な評価を行ったうえで執行する。

主 要 事 業		次期整備目標 次期重点整備方針 計画期間(5カ年) [H20~H24]
<b>1-3 都市機能の強化</b>		
<b>(1) 既存市街地整備や交通結節機能強化による都市の再生</b>		
	市街地整備による都市の再生 若草町地区【広島市】	平成 22 年度完成
	市街地整備による都市の再生 広島駅南口Bブロック【広島市】	平成 24 年度完成
<b>1-3 都市機能の強化</b>		
<b>(2) 都市内の渋滞対策による交通の円滑化</b>		
<b>○都市内交通の円滑化</b>		
	地域高規格道路 境港出雲道路 一般国道 9 号 出雲バイパス【島根県】	平成 20 年度完成
	地域高規格道路 境港出雲道路 一般国道 485 号 松江第五大橋道路【島根県】	平成 24 年度完成
	地域高規格道路 岡山環状道路 一般国道 180 号 岡山西バイパス(西長瀬～北長瀬)【岡山県】	平成 21 年度完成
	地域高規格道路 岡山環状道路 一般国道 180 号 岡山西バイパス(北長瀬～樺津)【岡山県】	事業推進
	地域高規格道路 岡山環状道路 一般国道 180 号 岡山環状南道路【岡山県】	事業推進
	地域高規格道路 空港津山道路 一般国道 53 号 岡江北バイパス【岡山県】	事業推進
	地域高規格道路 倉敷福山道路 一般国道 2 号 倉敷立体【岡山県】	事業推進
	地域高規格道路 倉敷福山道路 一般国道 2 号 福山道路【広島県】	事業推進
	地域高規格道路 福山本郷道路 一般国道 2 号 三原バイパス【広島県】	事業推進
	地域高規格道路 東広島廿日市道路 一般国道 2 号 安芸バイパス【広島県、広島市】	事業推進
	地域高規格道路 東広島廿日市道路 一般国道 2 号 東広島バイパス(中野～瀬野西)【広島県】	事業推進
	地域高規格道路 東広島廿日市道路 一般国道 2 号 東広島バイパス(海田東～海田西)【広島県】	事業推進
	地域高規格道路 東広島廿日市道路 一般国道 2 号 広島南道路(出島)【広島県】	平成 21 年度完成
	地域高規格道路 東広島廿日市道路 一般国道 2 号 広島南道路(光南)【広島県】	平成 21 年度完成
	地域高規格道路 東広島廿日市道路 一般国道 2 号 広島南道路(光南地区～商工センター)【広島県】	事業推進
	地域高規格道路 広島西道路 一般国道 2 号 西広島バイパス(廿日市高架)【広島県】	事業推進
	地域高規格道路 岩国大竹道路 一般国道 2 号 岩国・大竹道路【広島県、山口県】	事業推進
	地域高規格道路 下関西道路 一般国道 191 号 下関北バイパス【山口県】	事業推進
	地域高規格道路 鳥取環状道路【鳥取県】	平成 20 年度完成
	地域高規格道路 岡山環状道路 市道藤田浦安南町線【岡山市】	事業推進
	地域高規格道路 福山環状道路 一般県道 津之郷山守線 福山西環状線【広島県】	事業推進
	地域高規格道路 広島高速道路 広島高速 2 号線(県道府中仁保道路)【広島県】	平成 21 年度完成
	地域高規格道路 広島高速道路 広島高速 3 号線(市道広島南道路)(宇品～吉島)【広島県】	平成 21 年度完成
	地域高規格道路 広島高速道路 広島高速 3 号線(市道広島南道路)(吉島～観音)【広島県】	事業推進
	地域高規格道路 広島高速道路 広島高速 5 号線(県道温品二葉の里線)【広島県】	平成 24 年度完成
	一般国道 2 号 岡山市内立体【岡山県】	平成 20 年度完成
	一般国道 2 号 西条バイパス(現道拡幅部)【広島県】	平成 21 年度完成
	一般国道 2 号 戸田拡幅【山口県】	事業推進
	一般国道 2 号 下関拡幅(山の谷交差点立体)【山口県】	平成 21 年度完成
	一般国道 2 号 周南立体【山口県】	事業推進
	一般国道 2 号 小月バイパス(清末東町～亀浜町)【山口県】	事業推進
	一般国道 9 号 小郡改良【山口県】	事業推進
	一般国道 29 号 津ノ井バイパス(鳥取Cアクセス、吉成立体)【鳥取県】	平成 21 年度完成
	一般国道 30 号 児島・玉野拡幅【岡山県】	事業推進
	一般国道 54 号 可部バイパス【広島市】	事業推進
	一般国道 180 号 総社・一宮バイパス【岡山県】	事業推進

※事業の実施にあたっては、事業毎に事業評価監視委員会に諮るなど、厳格な評価を行ったうえで執行する。

主 要 事 業		次期整備目標
		次期重点整備方針 計画期間(5カ年)
		[H20~H24]
<b>1-3 都市機能の強化</b>		
<b>(2)都市内の渋滞対策による交通の円滑化</b>		
一般国道185号 休山改良【広島県】		事業推進
一般国道188号 柳井バイパス【山口県】		平成21年度完成
主要地方道 福山沼隈線 福山沼隈道路【広島県】		事業推進
松江都市圏交通円滑化対策【島根県松江市】		事業推進
広島都市圏交通円滑化対策【広島県福山市】		事業推進
岡山都市圏交通円滑化対策【岡山市】		事業推進
広島都市圏交通円滑化対策【広島市】		事業推進
街路整備による都市交通の円滑化 米子駅陰田線【鳥取県米子市】		平成23年度完成
街路整備による都市交通の円滑化 滝山桜谷線【鳥取県鳥取市】		事業推進
街路整備による都市交通の円滑化 城山北公園線【島根県松江市】		事業推進
街路整備による都市交通の円滑化 米倉津島線【岡山市】		事業推進
街路整備による都市交通の円滑化 下中野平井線【岡山市】		事業推進
街路整備による都市交通の円滑化 焼山押込線【広島県呉市】		平成21年度完成
街路整備による都市交通の円滑化 神辺水呑線(Ⅰ期)【広島県福山市】		事業推進
街路整備による都市交通の円滑化 門前線【山口県岩国市】		平成21年度完成
街路整備による都市交通の円滑化 環状一号线【山口県防府市】		平成21年度完成
街路整備による都市交通の円滑化 広島南道路【広島市】		事業推進
街路整備による都市交通の円滑化 矢賀大州線【広島市】		平成22年度完成
連続立体交差による都市交通の円滑化 JR広島東部地区【広島県広島市、府中町、海田町】		事業推進

## II 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり

<b>II-1 災害の防止・軽減</b>		
<b>(1)洪水、高潮、地震、急傾斜地の崩壊等による被害の未然防止</b>		
○災害から生活を防御		
河川改修事業 斐伊川 斐伊川放水路【島根県出雲市】		事業推進
河川改修事業 斐伊川 大橋川改修【島根県松江市】		事業推進
河川改修事業 斐伊川 中海湖岸堤整備【鳥取県米子市、島根県松江市など】		事業推進
河川改修事業 旭川 旭川放水路【岡山市】		事業推進
河川改修事業 由良川(北条川放水路)【鳥取県北栄町】		平成20年度完成
河川改修事業 由良川【鳥取県北栄町など】		事業推進
河川改修事業 塩見川【鳥取県鳥取市】		事業推進
河川改修事業 大路川【鳥取県鳥取市】		事業推進
河川改修事業 平田船川【島根県出雲市】		事業推進
河川改修事業 笹ヶ瀬川【岡山市】		事業推進
河川改修事業 笹ヶ瀬川(JR 笹ヶ瀬川橋梁)【岡山県岡山市】		平成20年度完成
河川改修事業 砂川【岡山市】		事業推進
河川改修事業 (二)砂川【岡山市】		事業推進
河川改修事業 吉井川【岡山県津山市など】		事業推進
河川改修事業 河川堤防耐震対策 太田川【広島市】		事業推進
河川改修事業 広島地区【広島市】		事業推進
河川改修事業 黒瀬川【広島県東広島市など】		事業推進
河川改修事業 中川【山口県宇部市】		事業推進
河川改修事業 周防地区【山口県山陽小野田市など】		事業推進

※事業の実施にあたっては、事業毎に事業評価監視委員会に諮るなど、厳格な評価を行ったうえで執行する。

主 要 事 業		次期整備目標
		次期重点整備方針 計画期間(5カ年) [H20~H24]
<b>II-1 災害の防止・軽減</b>		
<b>(1)洪水、高潮、地震、急傾斜地の崩壊等による被害の未然防止</b>		
河川改修事業、都市河川改修事業 太田川高潮対策【広島市など】		事業推進
床上浸水対策特別緊急事業 太田川中・上流部【広島市、安芸太田町】		平成23年度完成
床上浸水対策特別緊急事業 新内藤川【島根県出雲市】		平成20年度完成
河川激甚災害対策特別緊急事業 錦川【山口県岩国市】		平成21年度完成
特定構造物改築事業 旭川 百間川河口水門【岡山県岡山市】		事業推進
水防災対策特定河川事業 江の川【島根県江津市、広島県三次市など】		事業推進
特定多目的ダム建設事業 殿ダム【鳥取県鳥取市】		平成23年度完成
特定多目的ダム建設事業 志津見ダム【島根県飯南町】		平成22年度完成
特定多目的ダム建設事業 尾原ダム【島根県雲南市、奥出雲町】		平成22年度完成
補助多目的ダム建設事業 第二浜田ダム【島根県浜田市】		事業推進
補助多目的ダム建設事業 大谷川ダム【岡山県新見市】		事業推進
補助多目的ダム建設事業 福富ダム【広島県東広島市】		平成21年度完成
補助多目的ダム建設事業 野間川ダム【広島県三原市、尾道市】		平成24年度完成
補助多目的ダム建設事業 庄原ダム【広島県庄原市】		平成24年度完成
補助多目的ダム建設事業 平瀬ダム【山口県岩国市】		事業推進
補助多目的ダム建設事業 大河内川ダム【山口県長門市】		事業推進
治水ダム建設事業 仁賀ダム【広島県竹原市】		平成23年度完成
治水ダム建設事業 真締川ダム【山口県宇部市】		平成20年度完成
治水ダム建設事業 黒杭川上流ダム【山口県柳井市】		平成22年度完成
治水ダム建設事業 木屋川ダム再開発(嵩上げ)【山口県下関市】		事業推進
治水ダム建設事業 梶毛ダム【広島市】		平成20年度完成
砂防事業 広島西部山系【広島市など】		事業推進
砂防事業 大山山系【鳥取県倉吉市など】		事業推進
砂防事業 住吉谷川【鳥取県倉吉市】		平成21年度完成
砂防事業 砂田川【島根県邑南町】		事業推進
砂防事業 一本杉川【島根県美郷町】		事業推進
砂防事業 東桜木川【広島県海田町】		平成21年度完成
砂防事業 本浦小川【山口県周南市】		平成24年度完成
地すべり対策事業 上皆部地区【岡山県真庭市】		事業推進
地すべり対策事業 久原地区【山口県長門市】		事業推進
雪崩対策事業 細見中【広島県北広島町など】		事業推進
海岸保全施設整備事業 皆生海岸【鳥取県米子市など】		事業推進
海岸高潮対策事業 三幡九幡海岸【岡山県岡山市】		事業推進
海岸高潮対策事業 尾津海岸【山口県岩国市】		事業推進
海岸侵食対策事業 湯山海岸【鳥取県鳥取市】		事業推進
海岸侵食対策事業 和木波子海岸【島根県江津市】		事業推進
海岸老朽化緊急対策事業 深江海岸【広島県廿日市市】		事業推進
浸水被害の軽減に資する下水道事業(千田地区)【広島市】		事業推進
海岸保全施設整備事業 広島港海岸【広島県広島市】		事業推進
海岸高潮対策事業 宇野港海岸【岡山県玉野市】		平成22年度完成
海岸高潮対策事業 児島三五区海岸【岡山市】		事業推進
海岸高潮対策事業 児島六区海岸【岡山市】		事業推進
海岸高潮対策事業 児島七区海岸【岡山県岡山市、玉野市】		事業推進
海岸高潮対策事業 広島港海岸【広島県広島市、坂町】		事業推進

※事業の実施にあたっては、事業毎に事業評価監視委員会に諮るなど、厳格な評価を行ったうえで執行する。

主 要 事 業	次期整備目標
	次期重点整備方針 計画期間(5カ年) [H20~H24]
<b>II-1 災害の防止・軽減</b>	
<b>(1)洪水、高潮、地震、急傾斜地の崩壊等による被害の未然防止</b>	
海岸高潮対策事業 瀬戸田港海岸【広島県瀬戸田町】	事業推進
海岸高潮対策事業 瀬戸田海岸【広島県尾道市】	事業推進
海岸高潮対策事業 御手洗港海岸【広島県呉市】	事業推進
海岸高潮対策事業 福山港海岸【広島県福山市】	事業推進
海岸高潮対策事業 倉橋漁港海岸【広島県呉市】	平成 23 年度完成
海岸高潮対策事業 呉港海岸【広島県呉市】	平成 23 年度完成
海岸高潮対策事業 徳山下松港海岸【山口県周南市、下松市、光市】	事業推進
海岸高潮対策事業 三田尻中関港海岸【山口県防府市】	事業推進
海岸高潮対策事業 厚狭港海岸【山口県山陽小野田市】	事業推進
海岸高潮対策事業 埴生港海岸【山口県山陽小野田市】	事業推進
海岸高潮対策事業 下関東港海岸【山口県下関市】	事業推進
海岸侵食対策事業 浜田港海岸【島根県浜田市】	事業推進
海岸侵食対策事業 益田港海岸【島根県益田市】	事業推進
海岸侵食対策事業 津田漁港海岸【島根県益田市】	事業推進
海岸侵食対策事業 小串港海岸【山口県下関市】	事業推進
島根 54 号トンネル改良(三刀屋トンネル)【島根県】	平成 21 年度完成
一般国道 9 号 直地防災【島根県】	事業推進
一般国道 9 号 津和野地区防災【島根県】	事業推進
一般国道 53 号 大田防災【岡山県】	事業推進
一般国道 53 号 御津草生地区防災【岡山県】	事業推進
一般国道 188 号 由宇地区防災【山口県】	事業推進
栄橋【広島県、山口県】	事業推進
新寿橋【山口県】	事業推進
管内橋梁耐震補強【鳥取県】	事業推進
管内橋梁耐震補強【島根県】	事業推進
管内橋梁耐震補強【岡山県】	事業推進
管内橋梁耐震補強【広島県】	事業推進
管内橋梁耐震補強【山口県】	事業推進
管内橋梁耐震補強【岡山市】	事業推進
管内橋梁耐震補強【広島市】	事業推進
一般国道 487 号 早瀬大橋耐震補強【広島県】	平成 24 年度完成
一般国道 2 号 光南電線共同溝【広島県】	事業推進
一般国道 9 号 西津田電線共同溝【島根県】	事業推進
一般国道 53 号 田園町電線共同溝【鳥取県】	事業推進
一般国道 190 号 宇部湾岸電線共同溝【山口県】	事業推進
一般国道 180 号 岡山西電線共同溝【岡山県】	事業推進
一般国道 261 号 桜江バイパス【島根県】	平成 23 年度完成
一般国道 434 号 徳山～錦バイパス【山口県】	平成 23 年度完成
一般国道 488 号 澄川工区【島根県】	平成 22 年度完成
主要地方道 松江島根線 菅田工区【島根県】	平成 21 年度完成
一般国道 191 号 法面对策事業(坪野～遊谷)【広島県】	事業推進
主要地方道 府中上下線 法面对策事業(河佐町)【広島県】	事業推進
主要地方道 三原東城線 法面对策事業(八坂)【広島県】	事業推進

※事業の実施にあたっては、事業毎に事業評価監視委員会に諮るなど、厳格な評価を行ったうえで執行する。

主 要 事 業	次期整備目標
	次期重点整備方針 計画期間(5カ年) [H20~H24]
<b>II-1 災害の防止・軽減</b>	
<b>(2)災害等の発生時における社会活動への深刻な影響の防止</b>	
<b>①災害時に生命線となる道路を確保し、安全で安心な生活を支援</b>	
山陰自動車道(斐川~出雲)【鳥根県】	平成21年度完成
中国横断自動車道 姫路鳥取線(佐用~大原)【岡山県】	平成21年度完成
中国横断自動車道 姫路鳥取線(大原~西粟倉)【岡山県】	事業推進
中国横断自動車道 姫路鳥取線(智頭~河原)【鳥取県】	平成20年度完成
中国横断自動車道 姫路鳥取線(河原~鳥取)【鳥取県】	平成21年度完成
中国横断自動車道 尾道松江線(尾道~甲山)【広島県】	事業推進
中国横断自動車道 尾道松江線(甲山~吉舎)【広島県】	事業推進
中国横断自動車道 尾道松江線(吉舎~三次)【広島県】	事業推進
中国横断自動車道 尾道松江線(三次~吉田掛合)【広島県】	事業推進
中国横断自動車道 尾道松江線(吉田掛合~三刀屋木次)【鳥根県】	事業推進
地域高規格道路 福山本郷道路 一般国道2号 木原道路【広島県】	事業推進
地域高規格道路 鳥取豊岡宮津自動車道 一般国道178号 東浜居組道路【鳥取県】	平成20年度完成
地域高規格道路 倉敷福山道路 一般国道2号 松永道路【広島県】	事業推進
一般国道9号 鳥取西道路【鳥取県】	事業推進
一般国道9号 鳥取西道路(Ⅱ期)【鳥取県】	事業推進
一般国道9号 鳥取西道路(Ⅲ期)【鳥取県】	事業推進
一般国道9号 東伯・中山道路【鳥取県】	事業推進
一般国道9号 中山・名和道路【鳥取県】	事業推進
一般国道9号 名和・淀江道路【鳥取県】	事業推進
一般国道9号 松江道路【鳥根県】	平成21年度完成
一般国道9号 出雲・湖陵道路【鳥根県】	事業推進
一般国道9号 多伎・朝山道路【鳥根県】	事業推進
一般国道9号 朝山・大田道路【鳥根県】	事業推進
一般国道9号 静間・仁摩道路【鳥根県】	事業推進
一般国道9号 仁摩・温泉津道路【鳥根県】	事業推進
一般国道9号 浜田・三隅道路(浜田西~西村)【鳥根県】	事業推進
一般国道9号 浜田・三隅道路(西村~三隅)【鳥根県】	事業推進
一般国道9号 益田道路(遠田~久城)【鳥根県】	平成21年度完成
一般国道9号 益田道路(久城~高津)【鳥根県】	事業推進
一般国道191号 萩・三隅道路【山口県】	事業推進
一般国道491号 長門・俵山道路【山口県】	事業推進
一般国道373号 志戸坂峠道路【岡山県】	事業推進
東広島・呉自動車道(一般国道375号 東広島・呉道路(東広島JCT~上三永))【広島県】	平成21年度完成
東広島・呉自動車道(一般国道375号 東広島・呉道路(馬木~黒瀬))【広島県】	事業推進
東広島・呉自動車道(一般国道375号 東広島・呉道路(黒瀬~郷原))【広島県】	事業推進
東広島・呉自動車道(一般国道375号 東広島・呉道路(郷原~呉))【広島県】	事業推進
一般国道482号 下蚊屋バイパス【鳥取県】	平成22年度完成
一般国道482号 茗荷谷~淵見バイパス【鳥取県】	平成23年度完成
一般国道431号 境水道大橋 橋梁補修【鳥取県】	事業推進
一般国道437号 大島大橋 橋梁補修【山口県】	事業推進
一般県道 斐川出雲大社線 北神立橋【鳥根県】	平成22年度完成
主要地方道 松江鹿島美保関線 佐陀本郷工区【鳥根県】	平成23年度完成
主要地方道 松江鳥根線 西川津工区【鳥根県】	平成22年度完成

※事業の実施にあたっては、事業毎に事業評価監視委員会に諮るなど、厳格な評価を行ったうえで執行する。

主 要 事 業		次期整備目標
		次期重点整備方針 計画期間(5カ年) [H20~H24]
<b>II-1 災害の防止・軽減</b>		
<b>(2)災害等の発生時における社会活動への深刻な影響の防止</b>		
<b>②災害時に拠点となる施設を整備し、安全で安心な生活を支援</b>		
河川防災ステーション、水防拠点など 河川防災関連施設【島根県益田市】		平成21年度完成
河川防災ステーション、水防拠点など 河川防災関連施設【岡山市】		事業推進
山口県高潮防災ステーション【山口県】		平成22年度完成
官庁施設の耐震対策事業 第八管区海上保安本部美保航空基地庁舎【鳥取県境港市】		平成20年度完成
官庁施設の耐震対策事業 鳥取地方検察庁庁舎【鳥取県鳥取市】		平成21年度完成
官庁施設の耐震対策事業 島根県警察機動隊庁舎【島根県松江市】		平成20年度完成
官庁施設の耐震対策事業 海上保安大学校第1実験棟【広島県呉市】		平成21年度完成
官庁施設の耐震対策事業 山口県警察機動隊事務所・待機所【山口県山口市】		平成20年度完成
官庁施設の耐震対策事業 山口県警察学校寮舎【山口県山口市】		平成21年度完成
官庁施設の耐震対策事業 中国管区警察学校本館【広島市】		平成20年度完成
官庁施設の耐震対策事業 中国管区警察学校生徒寮【広島市】		平成20年度完成
官庁施設の耐震対策事業 広島合同庁舎1号館【広島市】		平成23年度完成
<b>③震災時に住民生活や経済活動を確保</b>		
耐震強化岸壁の整備 広島港五日市地区【広島市】		平成22年度完成
耐震強化岸壁の整備 徳山下松港徳山地区【山口県周南市】		平成23年度完成
耐震強化岸壁の整備 西郷港本港地区【島根県隠岐の島町】		平成24年度完成
耐震強化岸壁の整備 水島港玉島地区【岡山県倉敷市】		事業推進
住宅・建築物安全ストック形成事業【鳥取県】		事業推進
住宅・建築物安全ストック形成事業【島根県】		事業推進
住宅・建築物安全ストック形成事業【岡山県】		事業推進
住宅・建築物安全ストック形成事業【広島県】		事業推進
住宅・建築物安全ストック形成事業【山口県】		事業推進
住宅・建築物安全ストック形成事業【広島市】		事業推進
<b>II-3 安定的な水資源の確保</b>		
<b>●水資源の確保による暮らしや産業活動を支える水の安定供給</b>		
<b>○渇水時等にも安定して水を供給</b>		
特定多目的ダム建設事業 殿ダム【鳥取県鳥取市】		平成23年度完成
特定多目的ダム建設事業 尾原ダム【島根県雲南市、奥出雲町】		平成22年度完成
特定多目的ダム建設事業 志津見ダム【島根県飯南町】		平成22年度完成
補助多目的ダム建設事業 大谷川ダム【岡山県新見市】		事業推進
補助多目的ダム建設事業 福富ダム【広島県東広島市】		平成21年度完成
補助多目的ダム建設事業 野間川ダム【広島県三原市、尾道市】		平成24年度完成
補助多目的ダム建設事業 庄原ダム【広島県庄原市】		平成24年度完成
補助多目的ダム建設事業 平瀬ダム【山口県岩国市】		事業推進
補助多目的ダム建設事業 大河内川ダム【山口県長門市】		事業推進
<b>II-4 陸上及び海上における交通安全の向上</b>		
<b>●陸上及び海上における交通安全の確保</b>		
<b>○交通安全の確保</b>		
一般国道2号 早島中交差点改良【岡山県】		事業推進
一般国道2号 福山市内交差点改良(西桜町一丁目交差点)【広島県】		事業推進
一般国道2号 茶屋交差点改良【山口県】		事業推進
一般国道9号 南隈交差点改良【鳥取県】		事業推進

※事業の実施にあたっては、事業毎に事業評価監視委員会に諮るなど、厳格な評価を行ったうえで執行する。

主 要 事 業	次期整備目標	
	次期重点整備方針 計画期間(5カ年) [H20~H24]	
<b>II-4 陸上及び海上における交通安全の向上</b>		
<b>●陸上及び海上における交通安全の確保</b>		
一般国道9号 大池尻交差点改良【島根県】		事業推進
一般国道54号 青迫交差点改良【広島県】		事業推進
一般国道9号 揖屋歩道整備【島根県】		事業推進
一般国道53号 打穴中歩道整備【岡山県】		事業推進
一般国道9号 長瀬自転車歩行者道整備【鳥取県】		事業推進
一般国道9号 西福原自転車道整備【鳥取県】		事業推進
一般国道9号 出雲自転車道整備【島根県】		事業推進
一般国道9号 竹崎自転車道整備【山口県】		事業推進
一般国道185号 的場自転車歩行者道整備【広島県】		事業推進
一般国道431号 交差点改良【鳥取県】		平成21年度完成
一般県道 日吉津伯耆大山停車場線 歩道設置【鳥取県】		平成23年度完成
一般県道 倉吉東伯線 歩道設置【鳥取県】		平成22年度完成
主要地方道 鳥取鹿野倉吉線 歩道設置【鳥取県】		事業推進
一般国道431号 西浜佐陀工区【島根県】		事業推進
一般国道183号 交通安全事業(山内町~上原町)【広島県】		事業推進
一般国道375号 交通安全事業(乃美尾)【広島県】		事業推進
一般県道 陶湯田線 交通安全事業【山口県】		平成23年度完成
一般国道2号 光南電線共同溝【広島県】		事業推進
一般国道9号 西津田電線共同溝【島根県】		事業推進
一般国道53号 田園町電線共同溝【鳥取県】		事業推進
一般国道190号 宇部湾岸電線共同溝【山口県】		事業推進
一般国道180号 岡山西電線共同溝【岡山県】		事業推進
地域連携事業 太田川マリナー【広島市】		事業推進
ポートパーク整備事業 福山港一文字地区【広島県福山市】		平成23年度完成
航路標識の省エネ・エコロジー化【島根県、鳥取県】		事業推進
航路標識の省エネ・エコロジー化【山口県、広島県、岡山県】		事業推進

### III 多彩な文化と自然を活かした豊かで快適な暮らし・社会の創造

<b>III-1 瀬戸内海や日本海等の地域資源を活かした美しく豊かな地域づくり</b>		
<b>(1)瀬戸内海等への環境負荷低減等による美しく豊かな自然環境や景観等の実現</b>		
<b>①自然とのふれあいの場の創出</b>		
水環境整備事業 斐伊川【島根県松江市など】		事業推進
水環境整備事業 湖山池【鳥取県鳥取市】		事業推進
地域連携事業 旭川【岡山市など】		平成20年度完成
地域連携事業 瀬野川【広島市】		事業推進
自然再生事業 江の川上流【広島県三次市など】		事業推進
港湾環境整備事業 海士港先灘地区【島根県海士町】		平成22年度完成
港湾環境整備事業 徳山下松港徳山地区「晴海緑地」【山口県周南市】		平成22年度完成
港湾環境整備事業 宇部港東見初地区【山口県宇部市】		事業推進
海域環境創造自然再生等事業 尾道糸崎港浦崎地区【広島県尾道市】		平成20年度完成
海域環境創造自然再生等事業 広島港五日市地区【広島市】		平成22年度完成

※事業の実施にあたっては、事業毎に事業評価監視委員会に諮るなど、厳格な評価を行ったうえで執行する。

主 要 事 業	次期整備目標	
	次期重点整備方針 計画期間(5カ年) [H20~H24]	
<b>Ⅲ-1 瀬戸内海や日本海等の地域資源を活かした美しく豊かな地域づくり</b>		
<b>(1)瀬戸内海等への環境負荷低減等による美しく豊かな自然環境や景観等の実現</b>		
<b>②美しく豊かな自然を復元</b>		
下水道の普及促進【島根県益田市】		平成20年度完成
下水道の普及促進【広島県世羅町】		平成20年度完成
下水道の普及促進【山口県岩国市】		事業推進
合流式下水道の改善【広島県福山市】		事業推進
湖の水質保全に資する下水道事業【岡山県】		事業推進
航路標識の省エネ・エコロジー化【島根県、鳥取県】		事業推進
航路標識の省エネ・エコロジー化【山口県、広島県、岡山県】		事業推進
<b>③日本海沿岸の地域資源を活用</b>		
海岸保全施設整備事業 皆生海岸【鳥取県米子市など】		事業推進
海岸侵食対策事業 湯山海岸【鳥取県鳥取市】		事業推進
<b>Ⅲ-1 瀬戸内海等の地域資源を活かした美しく豊かな地域づくり</b>		
<b>(2)瀬戸内海をはじめとする自然・歴史・文化等の地域資源を活用した地域づくり</b>		
<b>○中国地方独自の地域資源を活用</b>		
歴史、自然を活かした地域の拠点形成 国営備北丘陵公園【広島県庄原市】		事業推進
歴史、文化を活かしたまちづくり 倉敷駅周辺地区【岡山県倉敷市】		平成21年度完成
歴史、文化を活かしたまちづくり 早島の金比羅往来地区【岡山県早島町】		平成23年度完成
歴史、文化を活かしたまちづくり 萩城下町周辺地区【山口県萩市】		平成21年度完成
身近なまちづくりを支援する街路整備 大社地区【島根県出雲市】		事業推進
身近なまちづくりを支援する街路整備 三次町地区【広島県三次市】		平成20年度完成
身近なまちづくりを支援する街路整備 長府地区【山口県下関市】		事業推進
身近なまちづくりを支援する街路整備 堀内地区【山口県萩市】		事業推進
身近なまちづくりを支援する街路整備 宮市国衛地区【山口県防府市】		事業推進
良好な街なみ環境の整備 倉吉打吹地区【鳥取県倉吉市】		事業推進
良好な街なみ環境の整備 石見銀山地区【島根県大田市】		平成21年度完成
良好な街なみ環境の整備 白市地区【広島県東広島市】		事業推進
良好な歴史的環境の保全・復元 萩市歴史的風致保存区域【山口県萩市】		平成23年度完成
伝統的建造物群の保存改修(倉敷市地域住宅計画)【岡山県倉敷市】		平成21年度完成
<b>Ⅲ-2 良好な都市空間の形成</b>		
<b>(1)静脈物流ネットワークの構築等による循環型社会の創出</b>		
<b>○資源の循環的な利用</b>		
廃棄物埋立護岸整備事業 水島港玉島地区【岡山県倉敷市】		平成24年度完成
廃棄物埋立護岸整備事業 広島港出島地区【広島市】		事業推進
廃棄物埋立護岸整備事業 宇部港東見初地区【山口県宇部市】(リサイクルポート)		平成23年度完成
廃棄物埋立護岸整備事業 徳山下松港新南陽地区【山口県周南市】(リサイクルポート)		事業推進
<b>Ⅲ-2 良好な都市空間の形成</b>		
<b>(2)地域の状況に応じた良好な道路環境の創出</b>		
<b>○沿道環境の改善</b>		
緑陰道路プロジェクト 祇園新道【広島市】		事業推進
緑陰道路プロジェクト 海峡花通り【山口県下関市】		事業推進

※事業の実施にあたっては、事業毎に事業評価監視委員会に諮るなど、厳格な評価を行ったうえで執行する。

主 要 事 業	次期整備目標	
	次期重点整備方針 計画期間(5カ年) [H20~H24]	
<b>Ⅲ-2 良好な都市空間の形成</b>		
<b>(3)水・緑豊かで美しい都市生活空間の形成</b>		
<b>①都市の魅力再生</b>		
環境学習の場となる公園整備 重箱緑地【鳥取県鳥取市】		平成22年度完成
交流拠点となる公園整備 西大寺南ふれあい公園【岡山市】		平成21年度完成
交流拠点となる公園整備 維新百年記念公園【山口県山口市】		平成22年度完成
交流拠点となる公園整備 山口きらら博記念公園【山口県山口市】		平成23年度完成
水と緑のネットワークの形成(広島デルタ地域)【広島市】		事業推進
<b>②良好な住環境の形成</b>		
太陽光発電の導入や建物の緑化を整備する施設 倉吉地方合同庁舎【鳥取県倉吉市】		平成21年度完成
太陽光発電の導入や建物の緑化を整備する施設 浜田港湾合同庁舎【島根県浜田市】		平成21年度完成
太陽光発電の導入や建物の緑化を整備する施設 岡山第2地方合同庁舎【岡山市】		平成21年度完成
太陽光発電の導入や建物の緑化を整備する施設 呉港湾合同庁舎【広島県呉市】		平成21年度完成
太陽光発電の導入や建物の緑化を整備する施設 山口第2地方合同庁舎【山口県山口市】		平成21年度完成
太陽光発電の導入や建物の緑化を整備する施設 岩国港湾合同庁舎【山口県岩国市】		平成21年度完成
住宅市街地の基盤整備 西風新都【広島市】		事業推進
公営住宅の整備 久城団地(島根県地域住宅計画)【島根県益田市】		平成22年度完成
公営住宅の整備 (仮称)原井団地(島根県地域住宅計画)【島根県浜田市】		平成21年度完成
公営住宅の整備 有原団地(出雲市地域住宅計画、島根県地域住宅計画)【島根県出雲市】		平成24年度完成
公営住宅の整備 宮ノ前団地(隠岐の島町地域住宅計画、島根県地域住宅計画)【島根県隠岐の島町】		平成23年度完成
公営住宅の整備 原尾島団地(第1期)(岡山県地域住宅計画)【岡山県】		平成20年度完成
公営住宅の整備 吉島住宅(広島県地域住宅計画)【広島県】		事業推進
公営住宅の整備 稗田団地(山口県地域住宅計画)【山口県下関市】		事業推進
改良住宅等の改善 東朝日町アパート(松江市地域住宅計画、島根県地域住宅計画)【島根県松江市】		平成23年度完成
地域優良賃貸住宅の整備(倉敷市地域住宅計画)【岡山県倉敷市】		平成21年度完成
<b>Ⅲ-3 少子高齢社会に対応したユニバーサル社会の実現</b>		
<b>●少子高齢社会に対応したユニバーサル社会の実現</b>		
<b>○ユニバーサルデザインに配慮した快適に暮らせる環境を創出</b>		
一般国道9号 袖師横断地下道整備【島根県松江市】		事業推進
官庁施設のバリアフリー 鳥取第1地方合同庁舎【鳥取県鳥取市】		平成20年度完成
電線共同溝整備街路事業 鷹取奈良津線【広島県福山市】		事業推進
公営住宅ストックの改善 東岐波団地(山口県地域住宅計画)【山口県宇部市】		平成23年度完成
都市公園のバリアフリー化の促進【島根県益田市】		事業推進
都市公園のバリアフリー化の促進【広島市】		事業推進
<b>Ⅲ-4 中山間地域等の居住環境の向上や生活サービスの充実</b>		
<b>●中山間地域等の居住環境の向上や生活サービスの充実</b>		
<b>○安全で快適な居住環境を創出</b>		
地域高規格道路 江府三次道路 一般国道183号 鍵掛峠道路【鳥取県、広島県】		事業推進
地域高規格道路 江府三次道路 一般国道181号 江府道路【鳥取県】		事業推進
一般国道482号 茗荷谷～淵見バイパス【鳥取県】		平成23年度完成
一般国道485号 別府バイパス【島根県】		平成22年度完成
一般国道485号 郡バイパス【島根県】		平成24年度完成
一般国道491号 長門・俵山道路【山口県】		事業推進
一般県道 草野横田線 草野工区【島根県】		事業推進
一般県道 豊浜蒲刈線(安芸灘3号橋・豊島大橋)【広島県】		平成20年度完成
主要地方道 安来木次線 中久野工区【島根県】		平成23年度完成

※事業の実施にあたっては、事業毎に事業評価監視委員会に諮るなど、厳格な評価を行ったうえで執行する。

主 要 事 業	次期整備目標
	次期重点整備方針 計画期間(5カ年) [H20~H24]
<b>Ⅲ-4 中山間地域等の居住環境の向上や生活サービスの充実</b>	
<b>●中山間地域等の居住環境の向上や生活サービスの充実</b>	
主要地方道 西郷都万郡線 大津久工区【島根県】	事業推進
中山間地等の居住環境の向上 宍道地区【島根県松江市】	平成23年度完成
中山間地等の居住環境の向上 浜田駅周辺地区【島根県浜田市】	平成21年度完成
中山間地等の居住環境の向上 江津地区【島根県江津市】	平成24年度完成
地域の顔となるシンボルロードの整備 出雲市駅前矢尾線【島根県出雲市】	平成20年度完成
身近なまちづくりを支援する街路整備 今市地区【島根県出雲市】	事業推進
身近なまちづくりを支援する街路整備 真綿川周辺地区【山口県宇部市】	事業推進
交流拠点となる公園整備 せら県民公園【広島県世羅町】	事業推進
フェリーターミナルの整備 七瀬港七瀬地区【島根県松江市】	事業推進
フェリーターミナルの整備 西郷港本港【島根県隠岐の島町】	平成24年度完成
フェリーターミナルの整備 柳井港岸ノ下地区【山口県柳井市】	事業推進

## Ⅳ 交流・連携による一体的で活力のある地域づくり

<b>Ⅳ-1 都市間の連携強化や都市と中山間地域等の共生</b>	
<b>(1) 山陰と山陽及び分散した都市間等の連携強化</b>	
<b>○交流・連携の軸を創出</b>	
山陰自動車道(斐川~出雲)【島根県】	平成21年度完成
中国横断自動車道 姫路鳥取線(佐用~大原)【岡山県】	平成21年度完成
中国横断自動車道 姫路鳥取線(大原~西粟倉)【岡山県】	事業推進
中国横断自動車道 姫路鳥取線(智頭~河原)【鳥取県】	平成20年度完成
中国横断自動車道 姫路鳥取線(河原~鳥取)【鳥取県】	平成21年度完成
中国横断自動車道 尾道松江線(尾道~甲山)【広島県】	事業推進
中国横断自動車道 尾道松江線(甲山~吉舎)【広島県】	事業推進
中国横断自動車道 尾道松江線(吉舎~三次)【広島県】	事業推進
中国横断自動車道 尾道松江線(三次~吉田掛合)【広島県】	事業推進
中国横断自動車道 尾道松江線(吉田掛合~三刀屋木次)【島根県】	事業推進
地域高規格道路 鳥取豊岡宮津自動車道 一般国道9号 駒馳山バイパス【鳥取県】	事業推進
地域高規格道路 江府三次道路 一般国道183号 鍵掛峠道路【鳥取県、広島県】	事業推進
地域高規格道路 境港出雲道路 一般国道9号 出雲バイパス【島根県】	平成20年度完成
地域高規格道路 境港出雲道路 一般国道431号 東林木バイパス【島根県】	事業推進
地域高規格道路 倉敷福山道路 一般国道2号 福山道路【広島県】	事業推進
地域高規格道路 倉敷福山道路 一般国道2号 松永道路【広島県】	事業推進
地域高規格道路 倉敷福山道路 一般国道2号 倉敷立体【岡山県】	事業推進
地域高規格道路 倉敷福山道路 一般国道2号 玉島・笠岡道路【岡山県】	事業推進
地域高規格道路 倉敷福山道路 一般国道2号 玉島・笠岡道路(Ⅱ期)【岡山県】	事業推進
地域高規格道路 倉敷福山道路 一般国道2号 笠岡バイパス【岡山県】	事業推進
地域高規格道路 空港津山道路 一般国道53号 津山南道路【岡山県】	事業推進
地域高規格道路 空港津山道路 一般国道53号 岡山北バイパス【岡山県】	事業推進
地域高規格道路 美作岡山道路 一般国道374号 湯郷勝央道路【岡山県】	事業推進
地域高規格道路 美作岡山道路 (主)佐伯長船線【岡山県】	事業推進
地域高規格道路 美作岡山道路 (主)岡山吉井線【岡山県】	事業推進
地域高規格道路 福山本郷道路 一般国道2号 三原バイパス【広島県】	事業推進
地域高規格道路 東広島廿日市道路 一般国道2号 東広島バイパス(中野~瀬野西)【広島県】	事業推進
地域高規格道路 東広島廿日市道路 一般国道2号 東広島バイパス(海田東~海田西)【広島県】	事業推進

※事業の実施にあたっては、事業毎に事業評価監視委員会に諮るなど、厳格な評価を行ったうえで執行する。

主 要 事 業		次期整備目標
		次期重点整備方針 計画期間(5カ年) [H20～H24]
<b>IV-1 都市間の連携強化や都市と中山間地域等の共生</b>		
<b>(1)山陰と山陽及び分散した都市間等の連携強化</b>		
地域高規格道路 東広島廿日市道路 一般国道2号 広島南道路(出島)【広島県】		平成21年度完成
地域高規格道路 東広島廿日市道路 一般国道2号 広島南道路(光南)【広島県】		平成21年度完成
地域高規格道路 東広島廿日市道路 一般国道2号 広島南道路(光南～商工センター)【広島県】		事業推進
地域高規格道路 東広島廿日市道路 一般国道2号 安芸バイパス【広島県、広島市】		事業推進
地域高規格道路 岩国大竹道路 一般国道2号 岩国・大竹道路【広島県、山口県】		事業推進
地域高規格道路 下関西道路 一般国道191号 下関北バイパス【山口県】		事業推進
一般国道9号 鳥取西道路【鳥取県】		事業推進
一般国道9号 鳥取西道路(Ⅱ期)【鳥取県】		事業推進
一般国道9号 鳥取西道路(Ⅲ期)【鳥取県】		事業推進
一般国道9号 東伯・中山道路【鳥取県】		事業推進
一般国道9号 中山・名和道路【鳥取県】		事業推進
一般国道9号 名和・淀江道路【鳥取県】		事業推進
一般国道9号 松江道路【島根県】		平成21年度完成
一般国道9号 出雲・湖陵道路【島根県】		事業推進
一般国道9号 多伎・朝山道路【島根県】		事業推進
一般国道9号 朝山・大田道路【島根県】		事業推進
一般国道9号 静間・仁摩道路【島根県】		事業推進
一般国道9号 仁摩・温泉津道路【島根県】		事業推進
一般国道9号 浜田・三隅道路(浜田西～西村)【島根県】		事業推進
一般国道9号 浜田・三隅道路(西村～三隅)【島根県】		事業推進
一般国道9号 益田道路(遠田～久城)【島根県】		平成21年度完成
一般国道9号 益田道路(久城～高津)【島根県】		事業推進
一般国道191号 萩・三隅道路【山口県】		事業推進
一般国道373号 志戸坂峠道路【岡山県】		事業推進
東広島・呉自動車道(一般国道375号 東広島・呉道路(東広島JCT～上三永))【広島県】		平成21年度完成
東広島・呉自動車道(一般国道375号 東広島・呉道路(馬木～黒瀬))【広島県】		事業推進
東広島・呉自動車道(一般国道375号 東広島・呉道路(黒瀬～郷原))【広島県】		事業推進
東広島・呉自動車道(一般国道375号 東広島・呉道路(郷原～呉))【広島県】		事業推進
一般国道491号 長門・俵山道路【山口県】		事業推進
<b>IV-1 都市間の連携強化や都市と中山間地域等の共生</b>		
<b>(2)都市間や都市と中山間地域等の多様な交流の拡大</b>		
○都市と中山間地域をつなぎ、多様な交流を拡大		
地域高規格道路 鳥取豊岡宮津自動車道 一般国道178号 東浜居組道路【鳥取県】		平成20年度完成
地域高規格道路 鳥取豊岡宮津自動車道 一般国道178号 岩美道路【鳥取県】		事業推進
地域高規格道路 江府三次道路 一般国道181号 江府道路【鳥取県】		事業推進
地域高規格道路 江府三次道路 一般国道183号 鍵掛峠道路【鳥取県、広島県】		事業推進
地域高規格道路 北条湯原道路 一般国道313号 倉吉道路【鳥取県】		平成24年度完成
地域高規格道路 北条湯原道路 一般国道313号(倉吉～関金)【鳥取県】		事業推進
地域高規格道路 美作岡山道路 主要地方道 佐伯長船線【岡山県】		事業推進
地域高規格道路 東広島高田道路 一般国道375号 東広島道路(東広島JCT～溝口)【広島県】		平成21年度完成
地域高規格道路 東広島高田道路 一般国道375号 東広島道路(溝口～郷)【広島県】		事業推進
地域高規格道路 小郡萩道路 一般国道490号 大田絵堂道路【山口県】		平成22年度完成
地域高規格道路 小郡萩道路 一般国道490号 美東大田道路【山口県】		平成22年度完成

※事業の実施にあたっては、事業毎に事業評価監視委員会に諮るなど、厳格な評価を行ったうえで執行する。

主 要 事 業		次期整備目標
		次期重点整備方針 計画期間(5カ年) [H20~H24]
<b>IV-1 都市間の連携強化や都市と中山間地域等の共生</b>		
<b>(2)都市間や都市と中山間地域等の多様な交流の拡大</b>		
	一般国道 180 号 南部バイパス【鳥取県】	事業推進
	一般国道 181 号 岸本バイパス【鳥取県】	平成 23 年度完成
	一般国道 375 号 湯抱バイパス【島根県】	事業推進
	一般国道 487 号 警固屋音戸バイパス【広島県】	事業推進
	一般国道 488 号 長沢バイパス【島根県】	事業推進
	一般県道 河原インター線【鳥取県】	事業推進
	一般県道 豊浜蒲刈線(安芸灘3号橋・豊島大橋)【広島県】	平成 20 年度完成
	主要地方道 仁摩邑南線 大原工区【島根県】	事業推進
	主要地方道 矢野安浦線 萩原工区【広島県】	事業推進
	主要地方道 福山沼隈線 福山沼隈道路【広島県】	事業推進
	ぷらっと(PLAT!)尾道計画 尾道糸崎港・瀬戸田港【広島県尾道市】	平成 22 年度完成
	大崎上島アクセス快適化計画 大西港・鮎崎港・木江港【広島県大崎上島町】	平成 23 年度完成
<b>IV-2 広域観光の促進</b>		
<b>●空港や港湾などの国際交流拠点機能の強化による広域観光の促進</b>		
<b>①既存空港の機能の向上・充実</b>		
	滑走路延長 美保飛行場(米子空港)【鳥取県境港市】	平成 21 年度完成
	空港施設の更新・改良 広島空港【広島県三原市など】	事業推進
	民間航空再開 岩国飛行場【山口県岩国市】	事業推進
<b>②広域的な交流・連携の推進</b>		
	主要地方道 大社日御碕線 中山工区【島根県】	平成 24 年度完成
	一般県道 柿木津和野停車場線 中座工区【島根県】	事業推進

※事業の実施にあたっては、事業毎に事業評価監視委員会に諮るなど、厳格な評価を行ったうえで執行する。

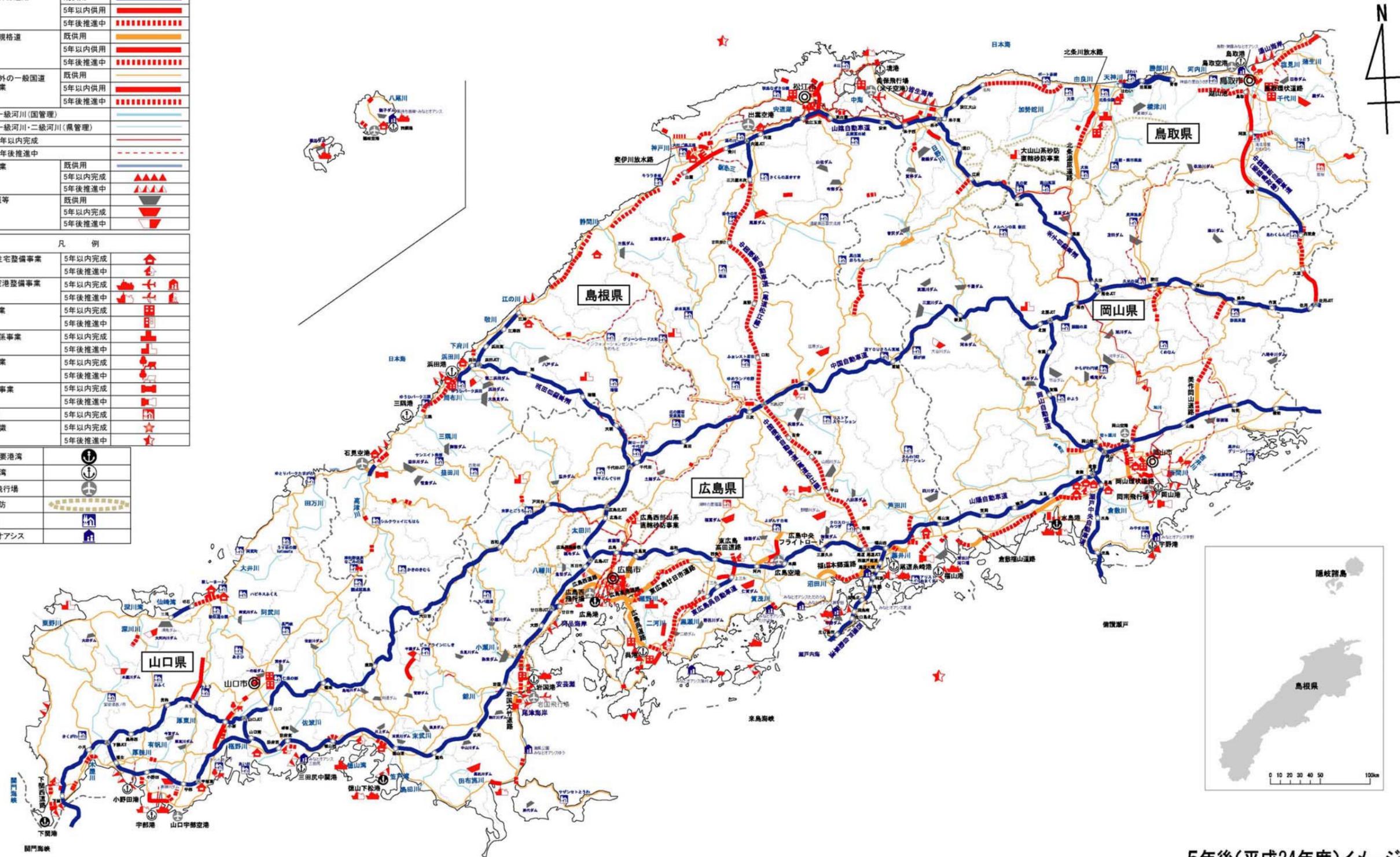
# 将来の姿〔5年後(中国地方)〕

5年後  
(中国地方)

凡 例		
高規格幹線道路	既供用	
	5年以内供用	
	5年後推進中	
地域高規格道	既供用	
	5年以内供用	
	5年後推進中	
上記以外の一般国道 街路事業	既供用	
	5年以内供用	
	5年後推進中	
河川 一級河川(国管理)	既供用	
	一級河川・二級河川(県管理)	
	5年以内完成	
	5年後推進中	
海岸事業	既供用	
	5年以内完成	
	5年後推進中	
ダム・堰等	既供用	
	5年以内完成	
	5年後推進中	

凡 例		
都市・住宅整備事業	5年以内完成	
	5年後推進中	
港湾・空港整備事業	5年以内完成	
	5年後推進中	
営繕事業	5年以内完成	
	5年後推進中	
砂防関係事業	5年以内完成	
	5年後推進中	
公園事業	5年以内完成	
	5年後推進中	
下水道事業	5年以内完成	
	5年後推進中	
道の駅	5年以内完成	
	5年後推進中	
航路標識	5年以内完成	
	5年後推進中	

特定重要港湾	
重要港湾	
空港・飛行場	
直轄砂防	
道の駅	
みなとオアシス	



※下関港の港湾事業は九州地方整備局の管轄である

5年後(平成24年度)イメージ  
「主要事業等の整備目標」が全て達成された  
場合の姿となります。

# 将来の姿〔5年後(鳥取県)〕

5年後  
(鳥取県)



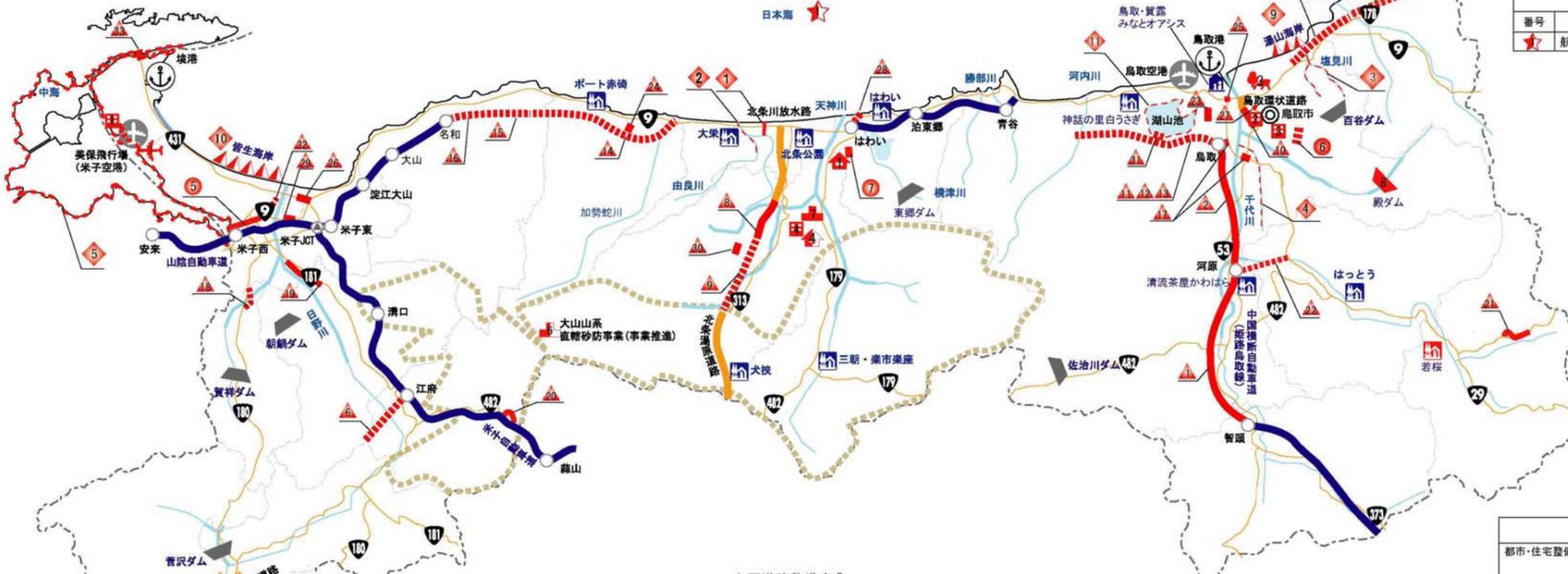
主要都市・住宅整備事業	
凡例	事業名
1	駅周辺・中心市街地の活性化に資するまちづくり 倉吉駅周辺地区(倉吉市)
2	住宅・建築物安全ストック形成事業(県内)
3	環境学習の場となる公園整備 重箱緑地(鳥取市)
4	良好な街なみ環境の整備 倉吉打吹地区(倉吉市)
5	街路整備による都市交通の円滑化 米子駅陰田線(米子市)
6	街路整備による都市交通の円滑化 滝山桜谷線(鳥取市)
7	市街地整備による都市の再生 倉吉駅南北線(自由通路)(倉吉市)

主要河川整備事業	
凡例	事業名
1	河川改修事業 由良川(北条川放水路)(北栄町)
2	河川改修事業 由良川(北栄町など)
3	河川改修事業 塩見川(鳥取市)
4	河川改修事業 大路川(鳥取市)
5	河川改修事業 中海湖岸堤整備(米子市など)
6	砂防事業 大山山系(倉吉市など)
7	砂防事業 住吉谷川(倉吉市)
8	特定多目的ダム建設事業 殿ダム(鳥取市)
9	海岸侵食対策事業 湯山海岸(鳥取市)
10	海岸保全施設整備事業 皆生海岸(米子市など)
11	水環境整備事業 湖山池(鳥取市)

主要港湾・空港整備事業	
凡例	事業名
1	滑走路延長 美保飛行場(米子空港)(境港市)

主要営繕事業	
凡例	事業名
1	官庁施設の耐震対策事業 第八管区海上保安本部美保航空基地庁舎(境港市)
2	官庁施設の耐震対策事業 鳥取地方検察庁庁舎(鳥取市)
3	官庁施設のバリアフリー 鳥取第1地方合同庁舎(鳥取市)
4	太陽光発電の導入や建物の緑化を整備する施設 倉吉地方合同庁舎(倉吉市)

主要航路標識整備事業	
凡例	事業名
1	航路標識の省エネ・エコロジー化



主要道路整備事業	
凡例	事業名
1	中国横断自動車道 姫路鳥取線(智頭～河原)
2	中国横断自動車道 姫路鳥取線(河原～鳥取)
3	地域高規格道路 鳥取豊岡宮津自動車道 一般国道9号 駒山バイパス
4	地域高規格道路 鳥取豊岡宮津自動車道 一般国道178号 岩美道路
5	地域高規格道路 鳥取豊岡宮津自動車道 一般国道178号 東浜居組道路
6	地域高規格道路 江府三次道路 一般国道181号 江府道路
7	地域高規格道路 江府三次道路 一般国道183号 鏡掛峠道路
8	地域高規格道路 北条湯原道路 一般国道313号 倉吉道路
9	地域高規格道路 北条湯原道路 一般国道313号(倉吉～関金)
10	地域高規格道路 鳥取環状道路
11	一般国道9号 鳥取西道路
12	一般国道9号 鳥取西道路(Ⅱ期)
13	一般国道9号 鳥取西道路(Ⅲ期)
14	一般国道9号 東伯・中山道路
15	一般国道9号 中山・名和道路
16	一般国道9号 名和・淀江道路
17	一般国道29号 津ノ井バイパス(鳥取ICアクセス、吉成立体)
18	一般国道180号 南部バイパス
19	一般国道181号 岸本バイパス
20	一般国道482号 下蚊屋バイパス
21	一般国道482号 茗荷谷～瀬見バイパス
22	一般県道 河原インター線
23	主要地方道 鳥取河原用瀬線 嶋工区
24	主要地方道 東伯野添線 東伯西IC工区
25	一般国道9号 兩院交差点改良
26	一般国道431号 交差点改良
27	一般国道53号 田園町電線共同溝
28	一般国道9号 長瀬自転車歩行者道整備
29	一般県道 日吉津伯耆大山停車場線 歩道設置
30	一般県道 倉吉東伯線 歩道設置
31	主要地方道 鳥取鹿野倉吉線 歩道設置
32	一般国道9号 西福原自転車道整備
33	一般国道431号 境水道大橋 橋梁補修
34	管内橋梁耐震補強

高規格幹線道路	
凡例	事業名
1	既供用
2	5年以内供用
3	5年後推定中

地域高規格道	
凡例	事業名
1	既供用
2	5年以内供用
3	5年後推定中

上記以外の一般国道	
凡例	事業名
1	既供用
2	5年以内供用
3	5年後推定中

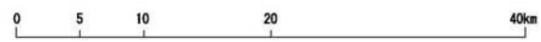
河川	
凡例	事業名
1	一級河川(国管理)
2	一級河川・二級河川(県管理)
3	5年以内完成
4	5年後推定中

海岸事業	
凡例	事業名
1	既供用
2	5年以内完成
3	5年後推定中

ダム・堰等	
凡例	事業名
1	既供用
2	5年以内完成
3	5年後推定中

凡例	
1	都市・住宅整備事業 5年以内完成
2	5年後推定中
3	港湾・空港整備事業 5年以内完成
4	5年後推定中
5	営繕事業 5年以内完成
6	5年後推定中
7	砂防関係事業 5年以内完成
8	5年後推定中
9	公園事業 5年以内完成
10	5年後推定中
11	下水道事業 5年以内完成
12	5年後推定中
13	道の駅 5年以内完成
14	5年後推定中
15	航路標識 5年以内完成
16	5年後推定中
17	特定重要港湾
18	重要港湾
19	空港・飛行場
20	直轄砂防
21	道の駅
22	みなとオアシス

5年後(平成24年度)イメージ  
「主要事業等の整備目標」が全て達成された  
場合の姿となります。



# 将来の姿〔5年後(島根県)〕

5年後  
(島根県)

凡 例	
高規格幹線道路	既供用 5年以内供用 5年後推進中
地域高規格道	既供用 5年以内供用 5年後推進中
上記以外の一般国道 街路事業	既供用 5年以内供用 5年後推進中
河川	一級河川(国管理) 一級河川・二級河川(県管理) 5年以内完成 5年後推進中
海岸事業	既供用 5年以内完成 5年後推進中
ダム・堰等	既供用 5年以内完成 5年後推進中

特定重要港湾	
重要港湾	
空港・飛行場	
直轄砂防	
道の駅	
みなとオアシス	

凡 例	
都市・住宅整備事業	5年以内完成 5年後推進中
港湾・空港整備事業	5年以内完成 5年後推進中
営繕事業	5年以内完成 5年後推進中
砂防関係事業	5年以内完成 5年後推進中
公園事業	5年以内完成 5年後推進中
下水道事業	5年以内完成 5年後推進中
道の駅	5年以内完成
航路標識	5年以内完成 5年後推進中



主要航路標識整備事業	
凡 例	
番号	事業名
★	航路標識の省エネ・エコロジー化

主要営繕事業	
凡 例	
番号	事業名
■	官庁施設の耐震対策事業 島根県警察機動隊庁舎(松江市)
■	太陽光発電の導入や建物の緑化を整備する施設 浜田港湾合同庁舎(浜田市)

主要港湾・空港整備事業	
凡 例	
番号	事業名
1	海岸侵食対策事業 浜田港海岸(浜田市)
2	海岸侵食対策事業 益田港海岸(益田市)
3	海岸侵食対策事業 津田漁港海岸(益田市)
4	耐震強化岸壁の整備 西郷港本港地区(隠岐の島町)
5	港湾環境整備事業 海士港先灘地区(海士町)
6	フェリーターミナルの整備 七瀬港七瀬地区(松江市)
7	フェリーターミナルの整備 西郷港本港地区(隠岐の島町)

主要道路整備事業			
凡 例			
番号	事業名	番号	事業名
▲	山陰自動車道(斐川～出雲)	▲	一般国道488号 長沢バイパス
▲	中国横断自動車道 尾道松江線(三次～吉田掛合)	▲	一般県道 草野横田線 草野工区
▲	中国横断自動車道 尾道松江線(吉田掛合～三刀屋木次)	▲	一般県道 柿木津和野停車場線 中座工区
▲	地域高規格道路 境港出雲道路 一般国道9号 出雲バイパス	▲	一般県道 熱田インター線 熱田工区
▲	地域高規格道路 境港出雲道路 一般国道431号 東林木バイパス	▲	主要地方道 安来木次線 中久野工区
▲	地域高規格道路 境港出雲道路 一般国道485号 松江第五大橋道路	▲	主要地方道 松江島根線 西川津工区
▲	一般国道9号 松江道路	▲	主要地方道 松江島根線 菅田工区
▲	一般国道9号 出雲・湖陵道路	▲	主要地方道 松江鹿島美保間線 佐陀本郷工区
▲	一般国道9号 多伎・朝山道路	▲	主要地方道 仁摩邑南線 大原工区
▲	一般国道9号 朝山・大田道路	▲	主要地方道 大社日御碕線 中山工区
▲	一般国道9号 静間・仁摩道路	▲	主要地方道 西郷都万郡線 大津久工区
▲	一般国道9号 仁摩・温泉津道路	▲	島根54号トンネル改良(三刀屋トンネル)
▲	一般国道9号 浜田・三隅道路(浜田西～西村)	▲	一般国道9号 大池尻交差点改良
▲	一般国道9号 浜田・三隅道路(西村～三隅)	▲	一般国道9号 西津田電線共同溝
▲	一般国道9号 益田道路(遠田～久城)	▲	一般国道9号 直地防災
▲	一般国道9号 益田道路(久城～高津)	▲	一般国道9号 津和野地区防災
▲	一般国道261号 板江バイパス	▲	一般国道9号 袖師横断地下道整備
▲	一般国道375号 湯泡バイパス	▲	一般国道9号 揖屋歩道整備
▲	一般国道431号 西浜佐陀工区	▲	一般国道9号 出雲自転車道整備
▲	一般国道485号 都バイパス	▲	松江都市圏交通門滑化対策
▲	一般国道485号 別府バイパス	▲	一般県道 斐川出雲大社線 北神立橋
▲	一般国道488号 澄川工区	▲	管内橋梁耐震補強

主要河川整備事業	
凡 例	
番号	事業名
1	河川改修事業 斐伊川 斐伊川放水路(出雲市)
2	河川改修事業 斐伊川 大橋川改修(松江市)
3	河川改修事業 斐伊川 中海湖岸堤整備(松江市など)
4	河川改修事業 平田給川(出雲市)
5	水防災対策特定河川事業 江の川(江津市など)
6	床上浸水対策特別緊急事業 新内藤川(出雲市)
7	砂防事業 砂田川(邑南町)
8	砂防事業 一本杉川(美郷町)
9	特定多目的ダム建設事業 志津見ダム(飯南町)
10	特定多目的ダム建設事業 尾原ダム(雲南市、出雲町)
11	補助多目的ダム建設事業 第二浜田ダム(浜田市)
12	海岸侵食対策事業 和木波子海岸(江津市)
13	河川防災ステーション、水防拠点など 河川防災関連施設(益田市)
14	水環境整備事業 斐伊川(松江市など)

主要都市・住宅整備事業	
凡 例	
番号	事業名
1	病院等のまちなか立地による中心市街地活性化 母衣町地区(松江市)
2	住宅・建築物安全ストック形成事業(県内)
3	下水道の普及促進(益田市)
4	公営住宅の整備 久城団地(益田市)
5	公営住宅の整備 (仮称)原井団地(浜田市)
6	公営住宅の整備 有原団地(出雲市)
7	公営住宅の整備 宮ノ前団地(隠岐の島町)
8	改良住宅等の改善 東朝日町アパート(松江市)
9	中山間地等の居住環境の向上 浜田駅周辺地区(浜田市)
10	中山間地等の居住環境の向上 宍道地区(松江市)
11	中山間地等の居住環境の向上 江津地区(江津市)
12	地域の顔となるシンボルロードの整備 出雲市駅前矢尾線(出雲市)
13	良好な街なみ環境の整備 石見銀山地区(大田市)
14	街路整備による都市交通の円滑化 城山北公園線(松江市)
15	身近なまちづくりを支援する街路整備 今市地区(出雲市)
16	身近なまちづくりを支援する街路整備 大社地区(出雲市)
17	都市公園のバリアフリー化の促進(益田市)

5年後(平成24年度)イメージ  
「主要事業等の整備目標」が全て達成された  
場合の姿となります。

# 将来の姿〔5年後(岡山県<岡山市域を除く>)〕

5年後  
(岡山県)  
(岡山市域を除く)

凡例		
高規格幹線道路	既供用	
	5年以内供用	
	5年後推進中	
地域高規格道	既供用	
	5年以内供用	
	5年後推進中	
上記以外の一般国道 街路事業	既供用	
	5年以内供用	
	5年後推進中	
河川	一級河川(国管理)	
	一級河川・二級河川(県管理)	
	5年以内完成	
5年後推進中		
海岸事業	既供用	
	5年以内完成	
	5年後推進中	
ダム・堰等	既供用	
	5年以内完成	
	5年後推進中	

凡例		
都市・住宅整備事業	5年以内完成	
5年後推進中		
港湾・空港整備事業	5年以内完成	
	5年後推進中	
営繕事業	5年以内完成	
5年後推進中		
砂防関係事業	5年以内完成	
	5年後推進中	
公園事業	5年以内完成	
	5年後推進中	
下水道事業	5年以内完成	
	5年後推進中	
道の駅	5年以内完成	
	5年後推進中	
航路標識	5年以内完成	
5年後推進中		

特定重要港湾	
重要港湾	
空港・飛行場	
直轄砂防	
道の駅	
みなとオアシス	

## 主要道路整備事業

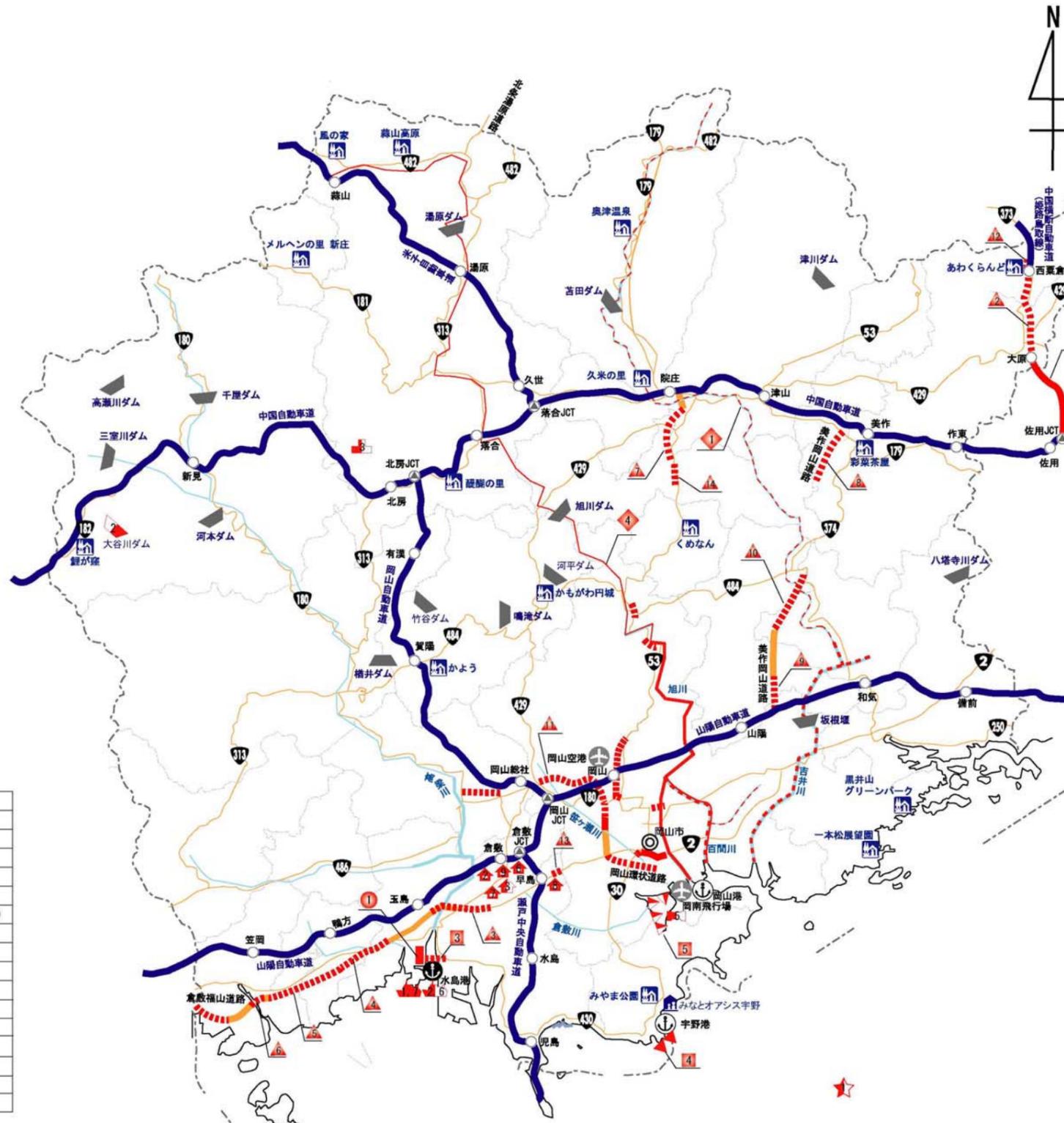
番号	事業名
	中国横断自動車道 姫路鳥取線(佐用~大原)
	中国横断自動車道 姫路鳥取線(大原~西栗倉)
	地域高規格道路 倉敷福山道路 一般国道2号 倉敷立体
	地域高規格道路 倉敷福山道路 一般国道2号 玉島・笠岡道路
	地域高規格道路 倉敷福山道路 一般国道2号 玉島・笠岡道路(Ⅱ期)
	地域高規格道路 倉敷福山道路 一般国道2号 笠岡バイパス
	地域高規格道路 空港津山道路 一般国道53号 津山南道路
	地域高規格道路 美作岡山道路 一般国道374号 湯郷勝央道路
	地域高規格道路 美作岡山道路 主要地方道 佐伯長船線
	地域高規格道路 美作岡山道路 主要地方道 岡山吉井線
	一般国道180号 総社・一宮バイパス
	一般国道373号 志戸坂峠道路
	一般国道2号 早島中交差点改良
	一般国道53号 打穴中歩道整備
	管内橋梁耐震補強

主要港湾・空港整備事業	
凡例	
番号	事業名
	航路整備事業 水島港玉島地区(倉敷市)
	多目的国際ターミナル整備事業 水島港玉島地区(倉敷市)
	臨港道路整備事業 水島港水島 玉島地区(倉敷市)
	海岸高潮対策事業 宇野港海岸(玉野市)
	海岸高潮対策事業 児島七区海岸(岡山市、玉野市)
	耐震強化岸壁の整備 水島港玉島地区(倉敷市)
	廃棄物埋立護岸整備事業 水島港玉島地区(倉敷市)

主要航路標識整備事業	
凡例	
番号	事業名
	航路標識の省エネ・エコロジー化

主要都市・住宅整備事業	
凡例	
番号	事業名
	街路整備による都市交通の円滑化 堀貫線(倉敷市)
	市街地整備による都市の再生 倉敷駅周辺第二地区(倉敷市)
	市街地整備による都市の再生 倉敷市阿知3丁目東地区(倉敷市)
	住宅・建築物安全ストック形成事業(県内)
	湖の水質保全に資する下水道事業(児島湖流域)(県内)
	地域優良賃貸住宅の整備(倉敷市)
	歴史、文化を活かしたまちづくり 倉敷駅周辺地区(倉敷市)
	歴史、文化を活かしたまちづくり 早島の金比羅往来地区(早島町)
	伝統的建造物群の保存改修(倉敷市)

主要河川整備事業	
凡例	
番号	事業名
	河川改修事業 吉井川(津山市など)
	補助多目的ダム建設事業 大谷川ダム(新見市)
	地すべり対策事業 上皆部地区(真庭市)
	地域連携事業 旭川(岡山市など)



5年後(平成24年度)イメージ  
「主要事業等の整備目標」が全て達成された  
場合の姿となります。

# 将来の姿〔5年後(広島県〈広島市域を除く〉)〕

5年後  
(広島県)  
(広島市域を除く)

特定重要港湾	
重要港湾	
空港・飛行場	
直轄砂防	
道の駅	
みなとオアシス	

凡例	
都市・住宅整備事業	5年以内完成
	5年後推進中
港湾・空港整備事業	5年以内完成
	5年後推進中
営繕事業	5年以内完成
	5年後推進中
砂防関係事業	5年以内完成
	5年後推進中
公園事業	5年以内完成
	5年後推進中
下水道事業	5年以内完成
	5年後推進中
道の駅	5年以内完成
	5年後推進中
航路標識	5年以内完成
	5年後推進中

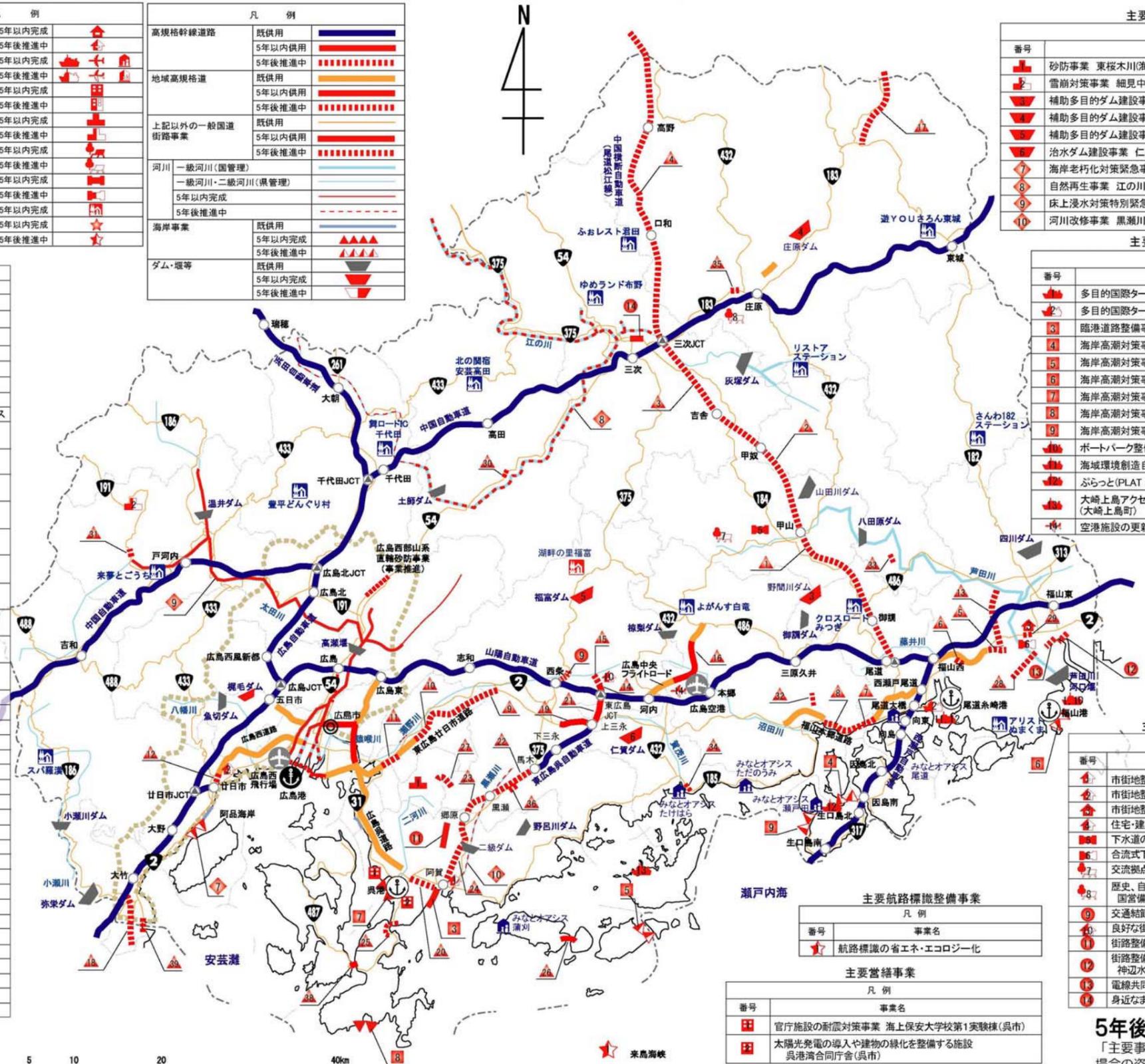
凡例	
高規格幹線道路	既供用
	5年以内供用
	5年後推進中
地域高規格道	既供用
	5年以内供用
	5年後推進中
上記以外の一般国道 街路事業	既供用
	5年以内供用
	5年後推進中
河川	一級河川(国管理)
	一級河川・二級河川(県管理)
	5年以内完成
	5年後推進中
海岸事業	既供用
	5年以内完成
	5年後推進中
ダム・堰等	既供用
	5年以内完成
	5年後推進中

主要道路整備事業	
凡例	
1	中国横断自動車道 尾道松江線(尾道～甲山)
2	中国横断自動車道 尾道松江線(甲山～吉舎)
3	中国横断自動車道 尾道松江線(吉舎～三次)
4	中国横断自動車道 尾道松江線(三次～吉田掛合)
5	地域高規格道路 倉敷福山道路 一般国道2号 福山道路
6	地域高規格道路 倉敷福山道路 一般国道2号 松永道路
7	地域高規格道路 福山本郷道路 一般国道2号 木原道路
8	地域高規格道路 福山本郷道路 一般国道2号 三原バイパス
9	地域高規格道路 東広島廿日市道路 一般国道2号 安芸バイパス
10	地域高規格道路 東広島廿日市道路 一般国道2号 東広島バイパス(中野～瀬野西)
11	地域高規格道路 東広島廿日市道路 一般国道2号 東広島バイパス(海田東～海田西)
12	地域高規格道路 広島西道路 一般国道2号 西広島バイパス(廿日市高架)
13	地域高規格道路 福山環状道路 一般県道 津之郷山守線 福山西環状線
14	地域高規格道路 東広島高田道路 一般国道375号 東広島道路(東広島JCT～溝口)
15	地域高規格道路 東広島高田道路 一般国道375号 東広島道路(溝口～郷)
16	地域高規格道路 広島中央フライトロード 主要地方道 本郷大和線
17	地域高規格道路 岩国大竹道路 一般国道2号 岩国・大竹道路
18	一般国道2号 西条バイパス(現道拡幅部)
19	一般国道185号 休山改良
20	一般国道375号 東広島・呉道路(東広島JCT～上三永)
21	一般国道375号 東広島・呉道路(馬木～黒瀬)
22	一般国道375号 東広島・呉道路(黒瀬～郷原)
23	一般国道375号 東広島・呉道路(郷原～呉)
24	一般国道487号 磐屋音戸バイパス
25	一般県道 豊浜蒲刈線(安芸灘3号橋:豊島大橋)
26	主要地方道 矢野安浦線 萩原工区
27	主要地方道 福山沼隈線 福山沼隈道路
28	一般国道2号 福山市内交差点改良(西桜町一丁目交差点)
29	一般国道54号 青迫交差点改良
30	一般国道191号 法面対策事業(坪野～遊谷)
31	主要地方道 三原東城線 法面対策事業(八坂)
32	主要地方道 府中上下線 法面対策事業(河佐町)
33	一般国道185号 の場自転車歩行者道整備
34	一般国道183号 交通安全事業(山内町～上原町)
35	一般国道375号 交通安全事業(乃美尾)
36	福山都市圏交通円滑化対策
37	一般国道487号 早瀬大橋耐震補強
38	栄橋
39	管内橋梁耐震補強

主要河川整備事業	
凡例	
1	砂防事業 東桜木川(海田町)
2	雷崩対策事業 細見中(北広島町など)
3	補助多目的ダム建設事業 野間川ダム(三原市、尾道市)
4	補助多目的ダム建設事業 庄原ダム(庄原市)
5	補助多目的ダム建設事業 福富ダム(東広島市)
6	治水ダム建設事業 仁賀ダム(竹原市)
7	海岸老朽化対策緊急事業 深江海岸(廿日市市)
8	自然再生事業 江の川上流(三次市など)
9	床上浸水対策特別緊急事業 太田川中・上流部(広島市、安芸太田町)
10	河川改修事業 黒瀬川(東広島市など)

主要港湾・空港整備事業	
凡例	
1	多目的国際ターミナル整備事業 福山港箕沖地区(福山市)
2	多目的国際ターミナル整備事業 尾道糸崎港機織地区(尾道市)
3	臨港道路整備事業 呉港阿賀地区(呉市)
4	海岸高潮対策事業 瀬戸田港海岸(瀬戸田町)
5	海岸高潮対策事業 御手洗港海岸(呉市)
6	海岸高潮対策事業 福山港海岸(福山市)
7	海岸高潮対策事業 呉港海岸(呉市)
8	海岸高潮対策事業 倉橋漁港海岸(呉市)
9	海岸高潮対策事業 瀬戸田海岸(尾道市)
10	ボートパーク整備事業 福山港一文字地区(福山市)
11	海城環境創造自然再生等事業 尾道糸崎港浦崎地区(尾道市)
12	ふらっと(PLAT!) 尾道計画 尾道糸崎港・瀬戸田港(尾道市)
13	大崎上島アクセス快適化計画 大西港・鮎崎港・木江港(大崎上島町)
14	空港施設の更新・改良 広島空港(広島県三原市など)

主要都市・住宅整備事業	
凡例	
1	市街地整備による都市の再生 古新開地区(呉市)
2	市街地整備による都市の再生 廿日市駅北地区(廿日市市)
3	市街地整備による都市の再生 東桜町地区(福山市)
4	住宅・建築物安全ストック形成事業(県内)
5	下水道の普及促進(世羅町)
6	合流式下水道の改善(福山市)
7	交流拠点となる公園整備 せら県民公園(世羅町)
8	歴史、自然を活かした地域の拠点形成 国営備北丘陵公園(庄原市)
9	交通結節点の改善 西条駅地区(東広島市)
10	良好な街なみ環境の整備 白市地区(東広島市)
11	街路整備による都市交通の円滑化 焼山押込線(呉市)
12	街路整備による都市交通の円滑化 神辺水呑線(1期)(福山市)
13	電線共同溝整備街路事業 鷹取奈良津線(福山市)
14	身近なまちづくりを支援する街路整備 三次町地区(三次市)



主要航路標識整備事業	
凡例	
1	航路標識の省エネ・エコロジー化

主要営繕事業	
凡例	
1	官庁施設の耐震対策事業 海上保安大学校第1実験棟(呉市)
2	太陽光発電の導入や建物の緑化を整備する施設 呉港湾合同庁舎(呉市)

**5年後(平成24年度)イメージ**  
「主要事業等の整備目標」が全て達成された場合の姿となります。

# 将来の姿〔5年後(山口県)〕

5年後  
(山口県)

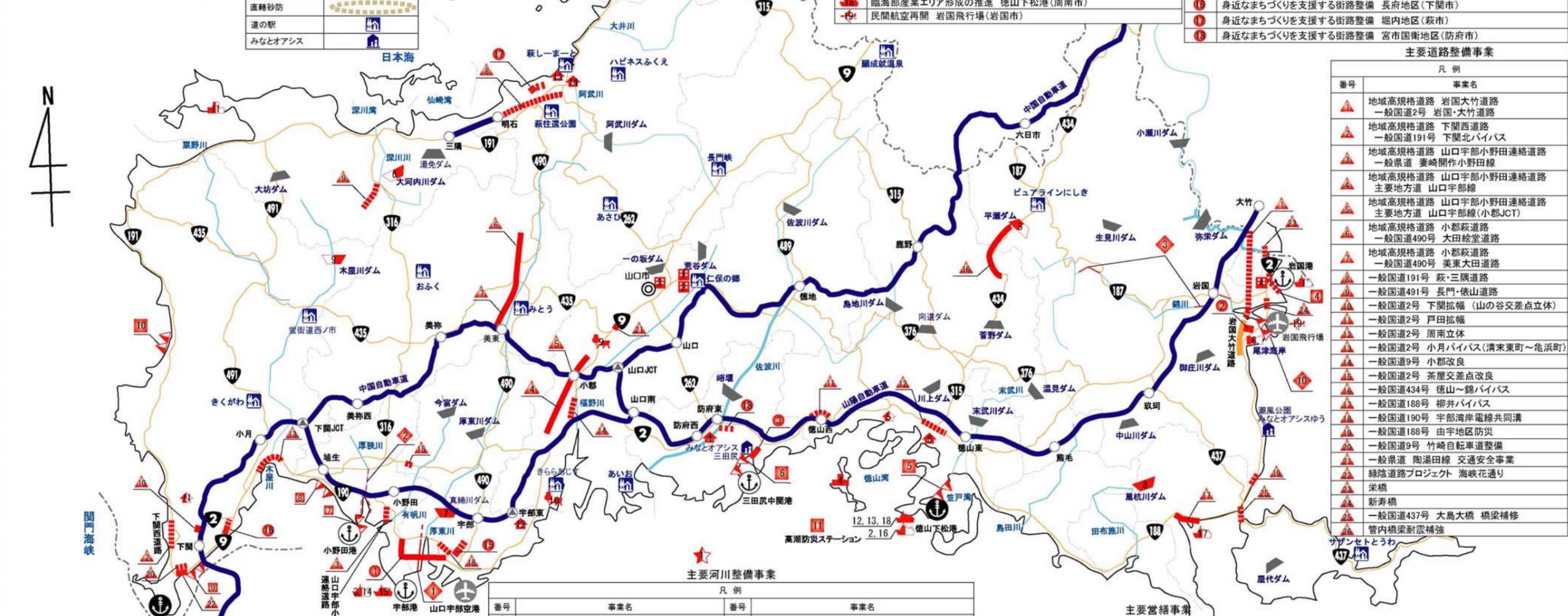
凡例	
高規格幹線道路	既供用
	5年以内供用
	5年後推進中
地域高規格道路	既供用
	5年以内供用
	5年後推進中
上記以外の一般国道 街路事業	既供用
	5年以内供用
	5年後推進中
河川	一級河川(国管理)
	一級河川・二級河川(県管理)
	5年以内完成
	5年後推進中
海岸事業	既供用
	5年以内完成
	5年後推進中
ダム・堰等	既供用
	5年以内完成
	5年後推進中

凡例	
都市・住宅整備事業	5年以内完成
	5年後推進中
港湾・空港整備事業	5年以内完成
	5年後推進中
営繕事業	5年以内完成
	5年後推進中
砂防関係事業	5年以内完成
	5年後推進中
公園事業	5年以内完成
	5年後推進中
下水道事業	5年以内完成
	5年後推進中
道の駅	5年以内完成
	5年後推進中
航路標識	5年以内完成
	5年後推進中
特定重要港湾	
重要港湾	
空港・飛行場	
直轄砂防	
道の駅	
みなとオアシス	

主要航路標識整備事業	
番号	事業名
1	航路標識の省エネ・エコロジー化

主要港湾・空港整備事業	
番号	事業名
1	多目的国際ターミナル整備事業 岩国港室の木地区(岩国市)
2	多目的国際ターミナル整備事業 徳山下松港新南陽地区(周南市)
3	航路整備事業 宇部港本港地区(宇部市)
4	臨港道路整備事業 岩国港装束～室の木地区(岩国市)
5	海岸高潮対策事業 徳山下松港海岸(周南市、下松市、光市)
6	海岸高潮対策事業 三田尻中間港海岸(防府市)
7	海岸高潮対策事業 厚狭港海岸(山陽小野田市)
8	海岸高潮対策事業 埴生港海岸(山陽小野田市)
9	海岸高潮対策事業 下関東港海岸(下関市)
10	海岸高潮対策事業 小串港海岸(下関市)
11	山口県高潮防災ステーション(県内)
12	耐震強化岸壁の整備 徳山下松港徳山地区(周南市)
13	港湾環境整備事業 徳山下松港徳山地区「晴海緑地」(周南市)
14	港湾環境整備事業 宇部港東見初地区(宇部市)
15	廃棄物埋立護岸整備事業 宇部港東見初地区(宇部市)(リサイクルポート)
16	廃棄物埋立護岸整備事業 徳山下松港新南陽地区(周南市)(リサイクルポート)
17	フェリーターミナルの整備 柳井港岸ノ下地区(柳井市)
18	臨海産業エリア形成の推進 徳山下松港(周南市)
19	民間航空再開 岩国飛行場(岩国市)

主要都市・住宅整備事業	
番号	事業名
1	街路整備による都市交通の円滑化 地域高規格道路 山口宇部小野田連絡道路 主要地方道 山口宇部線(中央町～東須恵)(山口県)
2	街路整備による都市交通の円滑化 門前線(岩国市)
3	街路整備による都市交通の円滑化 環状一号线(防府市)
4	市街地整備による都市の再生 防府駅北地区(防府市)
5	市街地整備による都市の再生 富田西部第一地区(周南市)
6	駅周辺・中心市街地の活性化に資するまちづくり 徳山駅周辺地区(周南市)
7	住宅・建築物安全ストック形成事業(県内)
8	下水道の普及促進(岩国市)
9	交流拠点となる公園整備 維新百年記念公園(山口県)
10	交流拠点となる公園整備 山口きらら博記念公園(山口県)
11	公営住宅の整備 神田団地(下関市)
12	公営住宅ストックの改善 東岐波団地(宇部市)
13	歴史、文化を活かしたまちづくり 萩城下町周南地区(萩市)
14	良好な歴史的環境の保全・復元 萩市歴史的風致保存区域(萩市)
15	身近なまちづくりを支援する街路整備 真綿川周辺地区(宇部市)
16	身近なまちづくりを支援する街路整備 長府地区(下関市)
17	身近なまちづくりを支援する街路整備 堀内地区(萩市)
18	身近なまちづくりを支援する街路整備 宮市国衛地区(防府市)



主要河川整備事業			
番号	事業名	番号	事業名
1	河川改修事業 中川(宇部市)	7	治水ダム建設事業 真綿川ダム(宇部市)
2	河川改修事業 周防地区(山陽小野田市など)	8	治水ダム建設事業 黒杭川上流ダム(柳井市)
3	河川激甚災害対策特別緊急事業 錦川(岩国市)	9	治水ダム建設事業 木屋川ダム再開(下関市)
4	砂防事業 本浦小川(周南市)	10	海岸高潮対策事業 尾津海岸(岩国市)
5	補助多目的ダム建設事業 平瀬ダム(岩国市)	11	地すべり対策事業 久原地区(長門市)
6	補助多目的ダム建設事業 大河内川ダム(長門市)		

主要営繕事業	
番号	事業名
1	官庁施設の耐震対策事業 山口県警察機動隊事務所・待機所(山口県)
2	官庁施設の耐震対策事業 山口県警察学校寮舎(山口県)
3	太陽光発電の導入や建物の緑化を整備する施設 山口第2地方合同庁舎(山口県)
4	太陽光発電の導入や建物の緑化を整備する施設 岩国港湾合同庁舎(岩国市)

主要道路整備事業	
番号	事業名
1	地域高規格道路 岩国大竹道路
2	一般国道2号 岩国・大竹道路
3	地域高規格道路 下関西道路
4	一般国道191号 下関北バイパス
5	地域高規格道路 山口宇部小野田連絡道路
6	一般国道 妻崎開作小野田線
7	地域高規格道路 山口宇部小野田連絡道路
8	主要地方道 山口宇部線
9	地域高規格道路 山口宇部小野田連絡道路
10	主要地方道 山口宇部線(小郡JCT)
11	地域高規格道路 山口宇部小野田連絡道路
12	一般国道490号 大田線堂路
13	地域高規格道路 小郡萩道路
14	一般国道490号 美東大田道路
15	一般国道191号 萩・三隅道路
16	一般国道491号 長門・俵山道路
17	一般国道2号 下関幅橋(山の谷交差点立体)
18	一般国道2号 戸田幅橋
19	一般国道2号 周南立体
20	一般国道2号 小月バイパス(清東東町～亀浜町)
21	一般国道9号 小郡改良
22	一般国道2号 茶屋交差点改良
23	一般国道434号 徳山～錦バイパス
24	一般国道188号 柳井バイパス
25	一般国道190号 宇部海岸電線共同溝
26	一般国道188号 由宇地区防災
27	一般国道9号 竹崎自転車道整備
28	一般国道 陶湯田線 交通安全事業
29	緑陰道路プロジェクト 海峽花通り
30	架橋
31	新架橋
32	一般国道437号 大島大橋 橋梁補修
33	管内橋梁耐震補強

5年後  
(平成24年度)イメージ  
「主要事業等の整備目標」が全て  
達成された場合の姿となります。

# 将来の姿〔5年後(岡山市域)〕

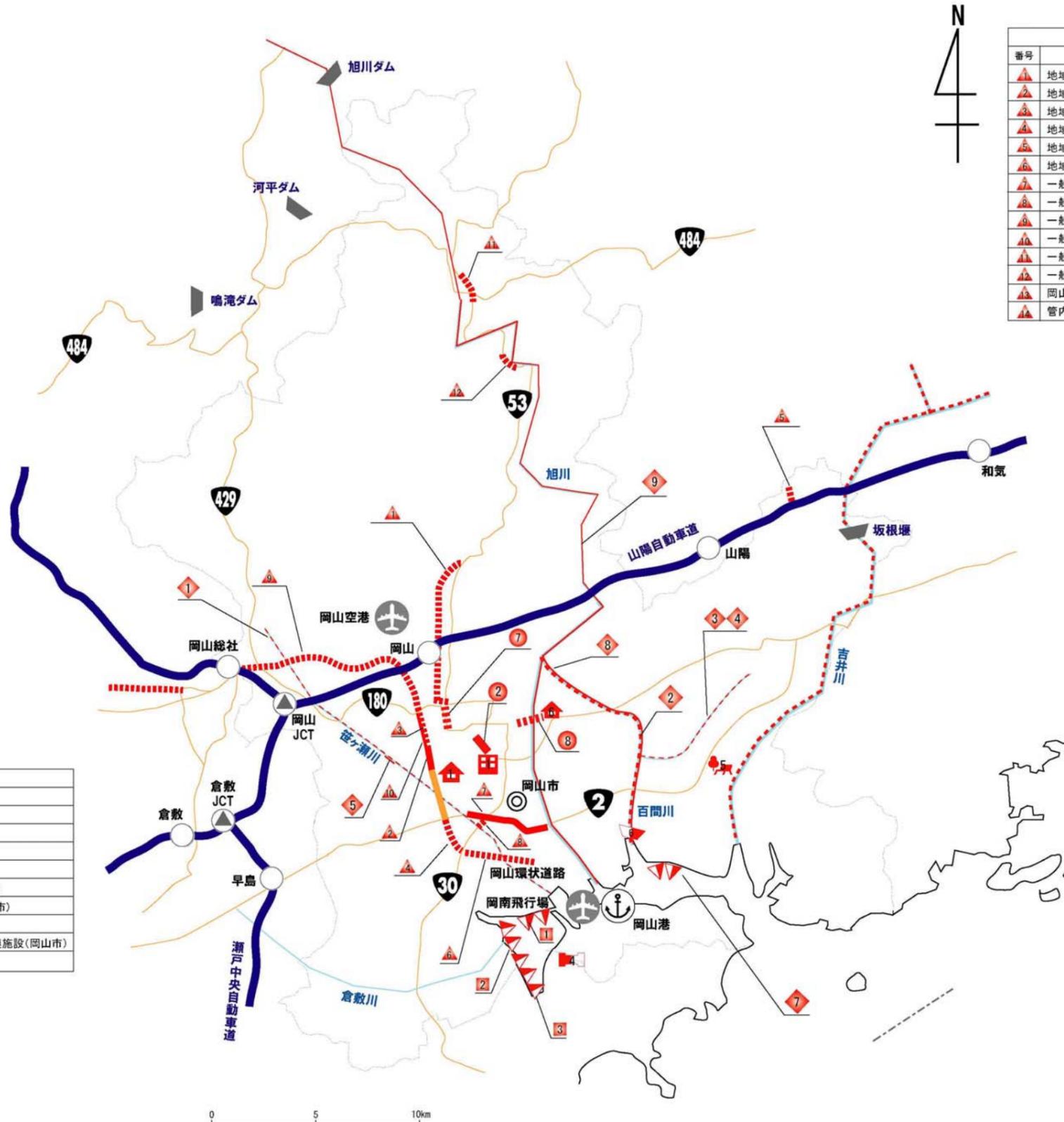
5年後  
(岡山市域)

凡 例	
高規格幹線道路	既供用
	5年以内供用
地域高規格道	既供用
	5年以内供用
上記以外の一般国道 街路事業	既供用
	5年以内供用
河川	一級河川(国管理)
	一級河川・二級河川(県管理)
海岸事業	既供用
	5年以内完成
ダム・堰等	既供用
	5年以内完成

凡 例	
都市・住宅整備事業	5年以内完成
港湾・空港整備事業	5年以内完成
営繕事業	5年以内完成
砂防関係事業	5年以内完成
公園事業	5年以内完成
下水道事業	5年以内完成
道の駅	5年以内完成
航路標識	5年以内完成

特定重要港湾	
重要港湾	
空港・飛行場	
直轄砂防	
道の駅	
みなとオアシス	

主要河川整備事業	
番号	事業名
1	河川改修事業 笹ヶ瀬川(岡山市)
2	河川改修事業 旭川 旭川放水路(岡山市)
3	河川改修事業 砂川(岡山市)
4	河川改修事業 (二)砂川(岡山市)
5	河川改修事業 笹ヶ瀬川(JR笹ヶ瀬川橋梁)(岡山市)
6	特定構造物改築事業 旭川 百間川河口水門(岡山市)
7	海岸高潮対策事業 三幡九幡海岸(岡山市)
8	河川防災ステーション、水防拠点など 河川防災関連施設(岡山市)
9	地域連携事業 旭川(岡山市など)



主要道路整備事業	
番号	事業名
1	地域高規格道路 一般国道53号 岡山西バイパス
2	地域高規格道路 岡山環状道路 一般国道180号 岡山西バイパス(西長瀬～北長瀬)
3	地域高規格道路 岡山環状道路 一般国道180号 岡山西バイパス(北長瀬～楯津)
4	地域高規格道路 岡山環状道路 一般国道180号 岡山環状南道路
5	地域高規格道路 美作岡山道路 主要地方道 佐伯長船線
6	地域高規格道路 岡山環状道路 市道藤田浦安南町線
7	一般国道2号 岡山市内立体
8	一般国道30号 児島・玉野拡幅
9	一般国道180号 総社・一宮バイパス
10	一般国道180号 岡山西電線共同溝
11	一般国道53号 大田防災
12	一般国道53号 御津草生地区防災
13	岡山市圏交通円滑化対策
14	管内橋梁耐震補強

主要都市・住宅整備事業	
番号	事業名
1	市街地整備による都市の再生 岡山市西部第4地区(岡山市)
2	交通結節点の改善 岡山駅地区(岡山市)
3	住宅・建築物安全ストック形成事業(県内)
4	湖の水質保全に資する下水道事業(児島湖流域)(県内)
5	交流拠点となる公園整備 西大寺南ふれあい公園(岡山市)
6	公営住宅の整備 原尾島団地(第1期)(岡山市)
7	街路整備による都市交通の円滑化 米倉津島線(岡山市)
8	街路整備による都市交通の円滑化 下中野平井線(岡山市)

主要港湾・空港整備事業	
番号	事業名
1	海岸高潮対策事業 児島三五区海岸(岡山市)
2	海岸高潮対策事業 児島六区海岸(岡山市)
3	海岸高潮対策事業 児島七区海岸(岡山市、玉野市)

主要営繕事業	
番号	事業名
1	太陽光発電の導入や建物の緑化を整備する施設 岡山第2地方合同庁舎(岡山市)

5年後(平成24年度)イメージ  
「主要事業等の整備目標」が全て達成された  
場合の姿となります。

# 将来の姿〔5年後(広島市域)〕

5年後  
(広島市域)

凡例	
高規格幹線道路	既供用
	5年以内供用
地域高規格道	既供用
	5年以内供用
上記以外の一般国道 街路事業	既供用
	5年以内供用
河川	一級河川(国管理)
	一級河川・二級河川(県管理)
海岸事業	既供用
	5年以内完成
ダム・堰等	既供用
	5年以内完成

凡例	
都市・住宅整備事業	5年以内完成
都市・住宅整備事業	5年後推進中
港湾・空港整備事業	5年以内完成
港湾・空港整備事業	5年後推進中
営繕事業	5年以内完成
営繕事業	5年後推進中
砂防関係事業	5年以内完成
砂防関係事業	5年後推進中
公園事業	5年以内完成
公園事業	5年後推進中
下水道事業	5年以内完成
下水道事業	5年後推進中
道の駅	5年以内完成
道の駅	5年後推進中
航路標識	5年以内完成
航路標識	5年後推進中

特定重要港湾	
重要港湾	
空港・飛行場	
直轄砂防	
道の駅	
みなとオアシス	

## 主要河川整備事業

凡例	
番号	事業名
1	河川改修事業、都市河川改修事業 太田川高潮対策(広島市など)
2	河川改修事業 河川堤防耐震対策 太田川(広島市)
3	河川改修事業 広島地区(広島市)
4	治水ダム建設事業 梶毛ダム(広島市)
5	地域連携事業 太田川マリーナ(広島市)
6	地域連携事業 瀬野川(広島市)
7	床上浸水対策特別緊急事業 太田川中・上流部(広島市、安芸太田町)
8	砂防事業 広島西部山系(広島市など)

## 主要営繕事業

凡例	
番号	事業名
1	官庁施設の耐震対策事業 中国管区警察学校本館(広島市)
2	官庁施設の耐震対策事業 中国管区警察学校生徒寮(広島市)
3	官庁施設の耐震対策事業 広島合同庁舎1号館(広島市)

## 主要都市・住宅整備事業

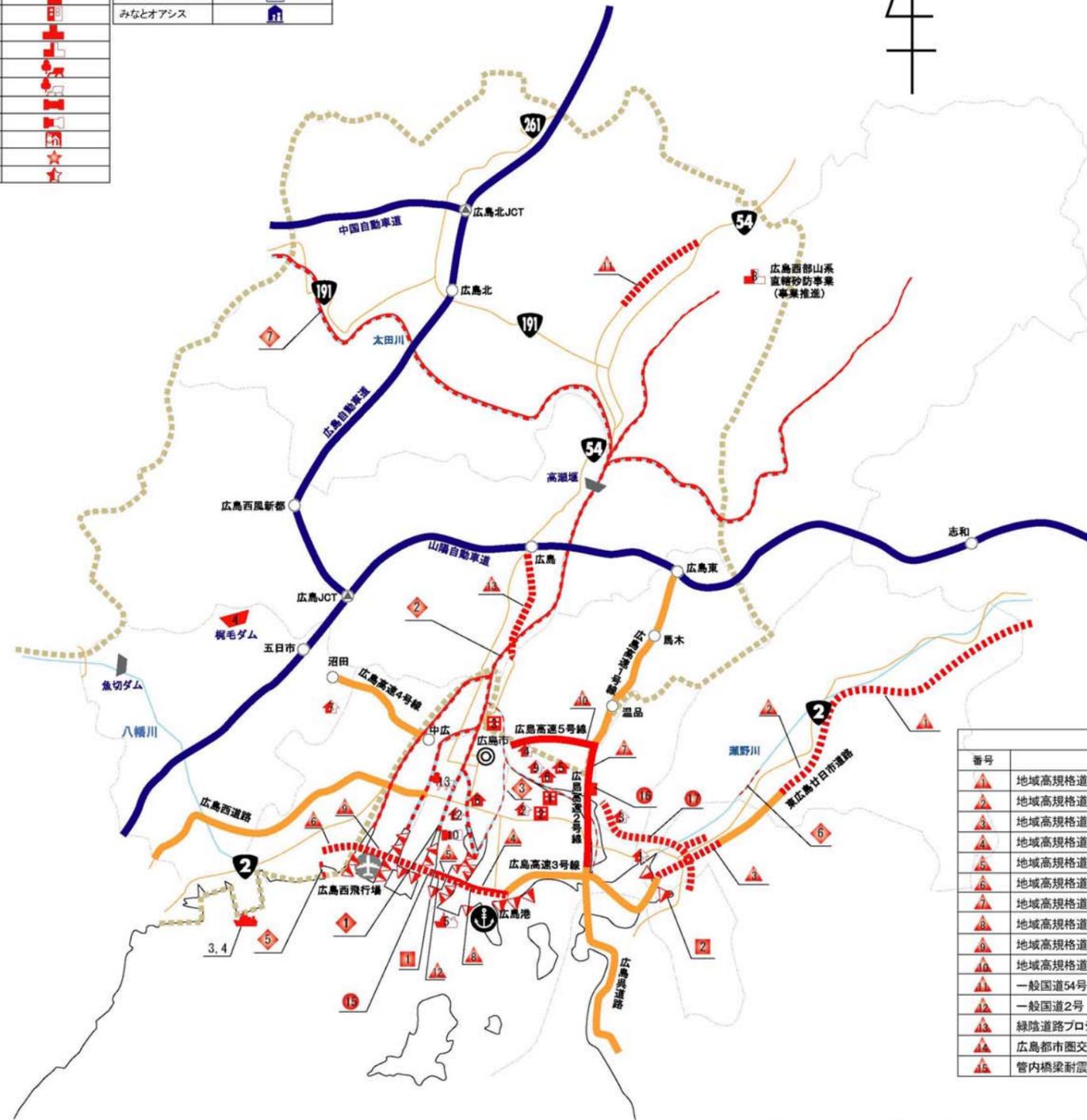
凡例	
番号	事業名
1	市街地整備による都市の再生 向洋駅周辺青崎地区(広島市)
2	市街地整備による都市の再生 段原東部地区(広島市)
3	市街地整備による都市の再生 向洋駅周辺地区(府中町)
4	市街地整備による都市の再生 二葉の里地区(仮称)(広島市)
5	市街地整備による都市の再生 若草町地区(広島市)
6	市街地整備による都市の再生 広島駅南口Bブロック(広島市)
7	住宅市街地の基盤整備 西風新都(広島市)
8	駅周辺・中心市街地の活性化に資するまちづくり 広島都心地区(広島市)
9	交通結節点の改善 広島駅新幹線口地区(仮称)(広島市)
10	浸水被害の軽減に資する下水道事業(千田地区)(広島市)
11	住宅・建築物安全ストック形成事業(市内)
12	公営住宅の整備 吉島住宅(広島市)
13	水と緑のネットワークの形成(広島デルタ地域)(広島市)
14	都市公園のバリアフリー化の促進(広島市)
15	街路整備による都市交通の円滑化 広島南道路(広島市)
16	街路整備による都市交通の円滑化 矢賀大州線(広島市)
17	連続立体交差による都市交通の円滑化 JR広島東部地区(広島県広島市、府中町、海田町)

## 主要港湾・空港整備事業

凡例	
番号	事業名
1	海岸保全施設整備事業 広島港海岸(広島市)
2	海岸高潮対策事業 広島港海岸(広島市、坂町)
3	耐震強化岸壁の整備 広島港五日市地区(広島市)
4	海域環境創造自然再生等事業 広島港五日市地区(広島市)
5	廃棄物埋立護岸整備事業 広島港出島地区(広島市)

## 主要道路整備事業

凡例	
番号	事業名
1	地域高規格道路 東広島廿日市道路 一般国道2号 安芸バイパス
2	地域高規格道路 東広島廿日市道路 一般国道2号 東広島バイパス(中野～瀬野西)
3	地域高規格道路 東広島廿日市道路 一般国道2号 東広島バイパス(海田東～海田西)
4	地域高規格道路 東広島廿日市道路 一般国道2号 広島南道路(出島)
5	地域高規格道路 東広島廿日市道路 一般国道2号 広島南道路(光南)
6	地域高規格道路 東広島廿日市道路 一般国道2号 広島南道路(光南～商工センター)
7	地域高規格道路 広島高速道路 広島高速2号線(県道府中仁保道路)
8	地域高規格道路 広島高速道路 広島高速3号線(市道広島南道路)(宇品～吉島)
9	地域高規格道路 広島高速道路 広島高速3号線(市道広島南道路)(吉島～観音)
10	地域高規格道路 広島高速道路 広島高速5号線(県道温品二葉の里線)
11	一般国道54号 可部バイパス
12	一般国道2号 光南電線共同溝
13	緑陰道路プロジェクト 祇園新道
14	広島都市圏交通円滑化対策
15	管内橋梁耐震補強(広島市)



5年後(平成24年度)イメージ  
「主要事業等の整備目標」が全て達成された  
場合の姿となります。